

【表紙】	
【提出書類】	半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の5第1項の表の第3号
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年9月29日
【中間会計期間】	自 2026年1月1日 至 2026年6月30日
【会社名】	マラヤン・バンキング・ベルハッド (Malayan Banking Berhad)
【代表者の役職氏名】	リー・イー・ホワン (Lee Yih Hwan) グループ企業財務担当者 (Group Corporate Treasurer)
【本店の所在の場所】	マレーシア、連邦直轄領、クアラルンプール50118 プレシン・ムルデカ118 メナラ・ムルデカ・メイバンク、70階 (Level 70, Menara Merdeka Maybank Presint Merdeka 118 50118 Kuala Lumpur, Wilayah Persekutuan, Malaysia)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 吉井 一浩
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03-6775-1061
【事務連絡者氏名】	弁護士 安西 明毅 弁護士 天野 尊仁 弁護士 島 峻 弁護士 高橋 杏奈
【連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03-6775-1581
【縦覧に供する場所】	該当事項なし。

注記：

- (注1) 「ASEAN」とは、東南アジア諸国連合をいう。
- 「マレーシア中央銀行」又は「BNM」とは、マレーシアの中央銀行であるバンク・ネガラ・マレーシアを意味する。
- 「カガマス」とは、「第一部 第6 - 1 中間財務書類」において、以下の通り意味する。
- () カガマスへ売却した貸出金及びその他の債権に関するリコース義務に関する場合にはカガマス・ベルハッドをいう。
- () カガマス債に関する場合にはカガマス・ベルハッド又はカガマス・エムビーエス・ベルハッドが発行した債券をいう。
- 「メイバンク」又は「当行」とは、マレーシアにおいて設立され、マレーシア、連邦直轄領、クアラルンプール50118、プレシン・ムルデカ118、メナラ・ムルデカ・メイバンク、70階にその登記上の事務所を置く会社であるマラヤン・バンキング・ベルハッド(会社登録番号：196001000142)をいう。
- 「メイバンク・グループ」又は「当行グループ」とは、マラヤン・バンキング・ベルハッド及びその子会社全体をいう。
- 「タカフル」とは、シャリアにおける保険概念であり、複数の加入者がタカフルにタバッル(tabar ru)又は寄付の形で資金提供することにより、そのいずれかが確定した損失又は損害により債務を負うことになった場合に互いに保証することを相互間で合意するものである。これにより加入者の結束及び協調が高められる。
- (注2) 別段の記載がある場合を除き、「RM」、「マレーシア・リングgit」及び「セン」(1マレーシア・リングgit = 100セン)はマレーシアの法定通貨を指し、「円」は日本の法定通貨を指す。2026年9月1日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した現地参考為替相場の仲値は、1マレーシア・リングgit = 39.64円であった。
- (注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。
- (注4) 本書には「予定である」、「企図している」、「目指す」、「目指している」、「期待できる」、「起こりうる」、「確信している」、「予測している」、「期待している」、「継続する」、「予想している」、「見積もっている」、「推定している」、「意向である」、「計画している」、「試みる」、「将来」、「目標とする」、「はずである」、「可能性がある」、「あり得る」、「場合がある」及びその他の類似の用語又はその変化形を含む用語又は表現を使用した将来の見通しに関する記述が含まれている。
- 当行又は当行グループの予想される財政状態、事業、戦略、計画、見通し及び目標に関するすべての記述は将来の見通しに関する記述である。実際の結果は、当行のその戦略を成功裏に実行する能力、近年又は将来の合併、又は事業に組込むための取得を行うための能力、不良資産及び再構築資産の将来の水準、その成長と拡大、貸倒損失及び投資損失に対する引当金の適切性、技術的变化、投資収入、新商品を売込む能力、キャッシュ・フロー予測、当事者である又は当事者となる法的、規制上の訴訟の結果、新たな会計基準の将来における影響、配当金支払能力、短期資金源を繰越す能力並びに運用、市場、与信、金利及び通貨リスクのエクスポージャー、インターネット・バンキング・サービスの市場浸透度及び需要(ただしこれらに限られない。)に関する当行の想定に関連した特定のリスク又は不確実性により、将来の見通しに関する記述において記載されたものとは大幅に異なることがある。
- すべての将来の見通しに関する記述は、本書日付現在におけるものである。当行又は当行グループの実際の将来の業績、成績又は実績が、本書の将来の見通しに関する記述において予測、記載又は暗示されたものと大幅に異なる原因となるリスク及び不確実性があることを前提として、本社債への投資を予定する投資家は、これらの記述に過剰に依存しないようにするべきである。当行は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述に関し、記載された当行の予測のいかなる変更又はかかる記述の基盤となった事象、状況又は環境の変化を反映した更新又は修正を公的に行う義務又は保証を有さないことを明示する。
- (注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。
- (注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

当該半期中において、2026年6月26日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 下記は直近の3中間会計期間及び2事業年度における当行グループの主な経営指標等の推移を表したものである。

(別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット)

	2024年6月30日に 終了した期間	2025年6月30日に 終了した期間	2026年6月30日に 終了した期間	2024年12月31日に 終了した 事業年度	2025年12月31日に 終了した 事業年度
営業総収益	35,519,025 (1,407,974,151 千円)	33,953,099 (1,345,900,844 千円)	30,993,176 (1,228,569,497 千円)	68,942,785 (2,732,891,997 千円)	66,369,232 (2,630,876,356 千円)
営業利益	6,746,176 (267,418,417 千円)	6,967,607 (276,195,941 千円)	6,939,798 (275,093,593 千円)	13,465,263 (533,763,025 千円)	14,059,526 (557,319,611 千円)
関連会社及びジョ イント・ベン チャーの利益持分	139,112 (5,514,400 千円)	138,114 (5,474,839 千円)	(6,874) ((272,485) 千円)	236,302 (9,367,011 千円)	274,268 (10,871,984 千円)
包括利益合計	4,499,553 (178,362,281 千円)	4,171,983 (165,377,406 千円)	3,642,557 (144,390,959 千円)	6,961,889 (275,969,280 千円)	7,170,642 (284,244,249 千円)
1株当たり純利益 (基本的)(単位：セ ン)	41.6 (16円)	43.2 (17円)	42.8 (17円)	83.6 (33円)	87.1 (35円)
1株当たり純利益 (希薄化後)(単位： セン)	41.6 (16円)	43.2 (17円)	42.8 (17円)	83.6 (33円)	87.1 (35円)

	2024年 6月30日現在	2025年 6月30日現在	2026年 6月30日現在	2024年 12月31日現在	2025年 12月31日現在
純資産	98,185,558 (3,892,075,519 千円)	97,460,984 (3,863,353,406 千円)	96,536,268 (3,826,697,664 千円)	97,207,137 (3,853,290,911 千円)	96,841,843 (3,838,810,657 千円)
資産合計	1,063,681,791 (42,164,346,195 千円)	1,073,237,563 (42,543,136,997 千円)	1,080,180,751 (42,818,364,970 千円)	1,075,321,956 (42,625,762,336 千円)	1,053,583,593 (41,764,053,627 千円)
株主資本利益率 (%)	11.0	11.5	11.6	11.1	11.7
1株当たり純資産 (単位：マレーシ ア・リングット)	7.9 (313円)	7.8 (309円)	7.7 (305円)	7.8 (309円)	7.7 (305円)
従業員数(名)	43,848	43,763	42,935	44,117	43,372

	2024年6月30日に 終了した期間	2025年6月30日に 終了した期間	2026年6月30日に 終了した期間	2024年12月31日に 終了した 事業年度	2025年12月31日に 終了した 事業年度
--	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------------

営業活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	(7,086,538) ((280,910,366) 千円)	11,811,654 (468,213,965 千円)	(5,184,106) ((205,497,962) 千円)	28,783,976 (1,140,996,809 千円)	(14,950,795) ((592,649,514) 千円)
投資活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	(225,964) ((8,957,213) 千円)	(166,177) ((6,587,256) 千円)	(141,501) ((5,609,100) 千円)	(291,895) ((11,570,718) 千円)	(720,107) ((28,545,041) 千円)
財務活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	2,485,703 (98,533,267 千円)	(7,832,054) ((310,462,621) 千円)	1,522,365 (60,346,549 千円)	(8,007,366) ((317,411,988) 千円)	(3,141,532) ((124,530,328) 千円)
期末現在の現金及び現金同等物	36,575,995 (1,449,872,442 千円)	64,055,051 (2,539,142,222 千円)	36,798,299 (1,458,684,572 千円)	60,775,847 (2,409,154,575 千円)	40,580,832 (1,608,624,180 千円)

（２）下記は直近の３中間会計期間及び２事業年度における当行の主な経営指標等の推移を表したものである。

（別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リンギット）

	2024年６月30日に 終了した期間	2025年６月30日に 終了した期間	2026年６月30日に 終了した期間	2024年12月31日に 終了した 事業年度	2025年12月31日に 終了した 事業年度
営業総収益	18,778,276 (744,370,861 千円)	19,214,402 (761,658,895 千円)	14,410,699 (571,240,108 千円)	36,528,832 (1,448,002,900 千円)	34,208,230 (1,356,014,237 千円)
営業利益	5,402,658 (214,161,363 千円)	6,879,412 (272,699,892 千円)	4,406,160 (174,660,182 千円)	10,088,686 (399,915,513 千円)	11,672,919 (462,714,509 千円)
当期利益	4,597,916 (182,261,390 千円)	6,043,587 (239,567,789 千円)	3,815,477 (151,245,508 千円)	8,653,840 (343,038,218 千円)	10,111,835 (400,833,139 千円)

	2024年 6月30日現在	2025年 6月30日現在	2026年 6月30日現在	2024年 12月31日現在	2025年 12月31日現在
株式資本	54,736,195 (2,169,742,770 千円)	54,882,314 (2,175,534,927 千円)	55,045,741 (2,182,013,173 千円)	54,736,195 (2,169,742,770 千円)	54,882,333 (2,175,535,680 千円)
発行済株式総数	12,066,952	12,081,103	12,095,327	12,066,952	12,081,105
純資産	79,185,022 (3,138,894,272 千円)	80,356,178 (3,185,318,896 千円)	79,156,378 (3,137,758,824 千円)	78,537,805 (3,113,238,590 千円)	79,559,102 (3,153,722,803 千円)
資産合計	590,331,369 (23,400,735,467 千円)	588,637,453 (23,333,588,637 千円)	572,079,330 (22,677,224,641 千円)	589,640,133 (23,373,334,872 千円)	562,590,638 (22,301,092,890 千円)
１株当たり純資産 (単位：マレーシア・リンギット)	6.6 (262円)	6.7 (266円)	6.5 (258円)	6.5 (258円)	6.6 (262円)
従業員数(名)	21,411	21,329	21,034	21,465	21,231

	2024年６月30日に 終了した期間	2025年６月30日に 終了した期間	2026年６月30日に 終了した期間	2024年12月31日に 終了した 事業年度	2025年12月31日に 終了した 事業年度
１株当たり純利益 (基本的)(単位：セン)	38.1 (15円)	50.0 (20円)	31.6 (13円)	71.7 (28円)	83.7 (33円)
１株当たり純利益(希薄化後)(単位：セン)	38.1 (15円)	50.0 (20円)	31.6 (13円)	71.7 (28円)	83.7 (33円)
１株当たり配当(単位：セン)	29.0 (11円)	30.0 (12円)	31.0 (12円)	61.0 (24円)	63.0 (25円)

株主資本利益率(%)	11.9	15.4	10.0	11.6	13.5
営業活動から生じたノ（に使用した）キャッシュ・フロー	(2,441,969) ((96,799,651) 千円)	11,269,980 (446,742,007 千円)	(6,469,104) ((256,435,283) 千円)	23,549,417 (933,498,890 千円)	(11,831,270) ((468,991,543) 千円)
投資活動から生じたノ（に使用した）キャッシュ・フロー	1,699,787 (67,379,557 千円)	2,224,714 (88,187,663 千円)	1,756,706 (69,635,826 千円)	2,819,174 (111,752,057 千円)	3,210,526 (127,265,251 千円)
財務活動から生じたノ（に使用した）キャッシュ・フロー	(2,551,851) ((101,155,374) 千円)	(4,897,053) ((194,119,181) 千円)	(1,558,543) ((61,780,645) 千円)	(12,305,301) ((487,782,132) 千円)	(2,140,758) ((84,859,647) 千円)
期末ノ年末現在の現金及び現金同等物	31,226,859 (1,237,832,691 千円)	56,033,579 (2,221,171,072 千円)	29,734,495 (1,178,675,382 千円)	47,807,240 (1,895,078,994 千円)	35,957,439 (1,425,352,882 千円)

2【事業の内容】

以下の事項を除き、当該半期中において、2026年6月26日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

当行は主に、商業銀行業務及び関連する金融サービスのあらゆる側面に携わっている。当行の子会社は、主に以下の業務に従事している。

- ・ リテール・バンキング及びコーポレート・バンキング業務
- ・ 投資銀行業務（株式仲介を含む。）
- ・ イスラム・バンキング業務
- ・ 保険及びタカフル
- ・ 受託者及びノミニニー・サービス
- ・ 資産運用

シンガポール

当行グループは、その子会社であり、2018年にフルライセンスを持つ適格銀行（QFB）として設立され、国内のシステム上重要な銀行（以下「D-SIB」という。）として認められているメイバンク・シンガポール・リミテッド（MSL）を通じて拠点を置く。メイバンク・シンガポール・リミテッドは、リテール事業及び商業事業を展開している。

当行グループはまた、1960年よりメイバンクのシンガポール支店を通じて拠点を置いており、法人事業及び機関投資家事業を展開している。

当行グループのシンガポール事業は、2026年6月30日に終了した6カ月間において、当行グループの税金及びザカート前利益並びに貸出金総額(*)にそれぞれ21.6%及び25.1%寄与した。

注記：

- * 税金及びザカート前利益並びに貸出金総額の当行グループへの貢献は国別に集計されており、グループ間取引の消去前である。開示されている貸出金総額は、振戻し利息及び実行金利の純額である。

インドネシア

当行グループは、その子会社であり、資産においてインドネシア最大の商業銀行の1つで、かつ、インドネシア証券取引所に上場しているピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー（以下「メイバンク・インドネシア」という。）を通じて拠点を置く。メイバンク・インドネシアは、リテール、非リテール及び法人事業を行っている。当行グループのインドネシア事業は、2026年6月30日に終了した6

カ月間において、当行グループの税金及びザカート前利益並びに貸出金総額(*)にそれぞれ0.8%及び4.5%寄与した。

注記：

- * 税金及びザカート前利益並びに貸出金総額の当行グループへの貢献は国別に集計されており、グループ間取引の消去前であり、銀行業務、投資銀行業務、保険及びタカフル業務並びに資産運用業務を含む。開示されている貸出金総額は、振戻し利息及び実行金利の純額である。

その他の国際拠点

当行グループはマレーシア最大の金融サービスグループであり、ASEAN地域において確立した地位を有している。2025年12月31日現在、当行グループは、ASEAN諸国10カ国を含む18カ国並びにロンドン、ニューヨーク、香港及びドバイ等の国際金融センターにおいて営業している。当行グループの本国市場は、マレーシア、シンガポール及びインドネシアである。当行グループはまた、大中華圏、インド、パキスタン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、英国、米国及びウズベキスタンを含むASEAN非加盟国においても事業を展開している。

グループ地域金融サービス（以下「GCFS」という。）

GCFSは、リテール及び非リテール・バンキングにおいて、個人、零細及び中小企業（SME）に向けてファイナンシャル・サービスを提供している。そのサービスには、資産管理、住宅ローン、個人向けローン及び割賦販売ローン、クレジットカード、バンカシュアランス商品、事業融資及び短期融資並びにデジタル・バンキング・サービス及びモバイル・バンキング・サービスが含まれる。GCFSは、2026年6月30日現在、マレーシアにおいて、インターネット・バンキングの市場シェアの50.9%を、及びモバイル・バンキング取引量シェアの38.1%を占める。

GCFSは、2026年6月30日に終了した6カ月間において当行グループの税引前利益(*)（以下「税引前利益」という。）の41.9%に寄与した。

注記：

- * 税引前利益の当行グループへの貢献は事業別に集計されており、グループ間取引の消去前である。

グループ・グローバル・バンキング（以下「GGB」という。）

GGBは、コーポレート・バンキング、商業銀行及びトランザクション・バンキング、投資銀行、グローバル・マーケット並びに資産運用等のホールセール・バンキング・サービスを提供している。個人、企業、商業銀行の顧客、金融機関及び政府等、様々な顧客にサービスを提供している。GGBは、2026年6月30日に終了した6カ月間において当行グループの税引前利益(*)の52.1%に寄与した。

注記：

- * 税引前利益の当行グループへの貢献は事業別に集計されており、グループ間取引の消去前である。

グループ保険及びタカフル（エティカ）

グループ保険及びタカフルは、ブランド名であるエティカの名の下で個人、法人及び政府に向けてサービスを提供している。エティカは、マレーシアで2社しかない、4つの免許（生命、家族、損害及びジェネラル・タカフル）すべてを保有するマレーシアの保険会社のうちの1社として、保険及びタカフル商品一式、エティカ+モバイル・アプリ、バンカシュアランス及びバンカタカフル仲介会社のためのバンカ・イーズ並びに代理店のためのエージェンシー・イーズを提供している。エティカは、2026年6月30日に終了した6カ月間において当行グループの税引前利益(*)の8.7%に寄与した。

注記：

* 税引前利益の当行グループへの貢献は事業別に集計されており、グループ間取引の消去前である。

メイバンク・グループ・イスラム・バンキング（以下「MGIB」という。）

MGIBは、世界で4番目に大きなイスラム系銀行であり、その総資産規模においてアジア太平洋最大である。受賞歴のあるセンター・オブ・エクセレンス（CoE）及びイスラム金融におけるソート・リーダーとして世界的に認識されているMGIBは、強い相乗効果及び当行グループ全体を通じたイスラム第1主義のアプローチにより支えられ、当行グループの事業の3つの柱にわたってシャリア適格かつ価値に基づく金融ソリューションを提供している。

イスラミック・バンキング事業は、2026年6月30日に終了した6カ月間において当行グループの税引前利益の40.9(*)％に寄与した。

注記：

* ザカートの貢献を含む。

3【関係会社の状況】

当該半期中に新たに関係会社となった、関係会社ではなくなった、又は清算された会社の情報は、以下の通りである。

(a) 新たに関係会社となった会社

該当事項なし。

(b) 関係会社ではなくなった会社

名称	主な事業内容	設立国／事業拠点
ケービービー・プロパティーズ・スンディリアン・ベルハッド	業務終了	マレーシア
メイバンク・グローバル・ストラテジック・グロースI ファンド	エクイティ・ ファンド	マレーシア

(c) 清算された会社

名称	主な事業内容	設立国／事業拠点
ストラテジック・アクイジションズ・ プライベート・リミテッド	登録抹消	シンガポール

4【従業員の状況】

(1) 提出会社の従業員数

2026年6月30日現在の当行グループの従業員数は42,935名である。

(2) 非常勤従業員の割合

非常勤従業員はいない。

(3) 従業員数の変動

2026年6月30日現在の当行グループの従業員数は、2025年12月31日現在の43,372名から減少し、42,935名である。

(4) 労働組合に関する特記事項

2026年6月30日現在、当行グループはすべての組合と快適かつ習熟した関係性を築いている。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

（1）経営方針、経営戦略及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標

上記「第2 - 2 事業の内容」、下記「第3 - 2 事業等のリスク」及び「第3 - 3（3）財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

（2）経営環境

下記「第3 - 2 事業等のリスク」及び「第3 - 3（3）財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

（3）対処すべき課題

下記「第3 - 2 事業等のリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

以下の事項を除き、当該半期中において、2026年6月26日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

当行グループに関する検討事項

当行グループは、その事業活動を行う上で、信用リスク、市場リスク、流動性リスク、非金融リスク及びESGリスクを含む様々なリスクにさらされている。当行グループは、さらされているリスクを効果的に管理及び軽減する上でその頑健性及び有効性を維持できるよう、当行グループのリスク管理の枠組み、実務及びプロセスを引き続き強化する。当行グループは、これらのリスクを管理及び軽減するために適切な方針、体制及びプロセスを整備していると考えているが、投資家は、当行グループがこれらのリスクを十分に管理できないことにより、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性があることに留意すべきである。

当行グループは、当行グループがさらされているリスクを管理するための、主要な基本原則を規定するグループ全体に関する包括的な枠組みである、「メイバンク・グループ企業リスク管理の枠組み」を策定した。かかる枠組みは、明確かつ明解に定義された内部のガバナンス・モデルによる効果的なリスク監視を円滑化する。

信用リスク

信用リスクは、取引相手が合意されたクレジット・ファシリティの条件に沿って債務を履行しないことによるリスクである。信用リスクへのエクスポージャーは片務的であり、貸し手である銀行のみが損失リスクに直面する。

信用リスクは、当行グループの様々な事業に内在している。かかるリスクは、市場動向、業界の傾向及び地政学的事象を含む局部的若しくは世界的な経済状況の一般的な悪化、金融制度におけるシステム・リスク、ESGリスク又は借入人固有の要因により引き起こされる可能性のある、貸出金、前渡金又は取引相手方に対する債権の信用度及び回収可能性の不利な変動から生じる。当行グループの信用エクスポージャーの回収可能性に影響を及ぼすかかる変動により、当行グループのかかるエクスポージャーに対する減損引当金の積増しが必要となる可能性がある。

当行グループは、信用リスクを効果的かつ積極的に管理するために、強固なリスク管理枠組みを実施している。これには特に、「メイバンク・グループ信用リスク枠組み」及び「メイバンク・グループ信用リスク方針」の制定が含まれており、いずれも信用リスクの管理の基本原則を定めている。上記の枠組み及び方針は、当行グループの信用リスク管理が慎重かつ効果的であることを確保し、多様で回復力のある信用ポートフォリオの達成を目的として、その他の信用リスク関連文書によっても支えられている。

当行グループは、健全な信用リスク管理制度の方針及びプロセスを採用していると考えているが、これらは、当行グループのリスク特性、事業戦略及び規制上の要請との継続的な妥当性及び整合性を確保するため、継続的な見直し及び強化が行われている。これらが将来においても有効でありかつ適切であり続けると保証することはできない。当行グループが信用リスクを管理することができない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分又は失敗した内部プロセス、人々及びシステム、若しくは外的事象に起因する損失のリスクである。この定義には法務リスクが含まれるが、戦略リスク及びレピュテーション・リスクは含まれない。これは、各種のオペレーショナル・リスクの管理ツール（リスク・管理の自己評価、業務の中断、不正及び重大事案から金融損失に至る重要リスク指標及びインシデント管理・データ収集）により識別、評価、監視及び報告が行われており、オペレーショナル・リスク及びレジリエンスの包括的な視点を提供するものである。

オペレーショナル・リスクの管理は、全体的な原則及び目的を示す確立されたリスク戦略に基づいている。これに基づき、オペレーショナル損失に対する当行グループの許容度、並びにレジリエンス、オペレーショナル、財務及びコンプライアンスに関する施策を統合し、重要なサービスの継続性を確保するオペレーショナル・レジリエンスへの当行グループのコミットメントを反映した、包括的なリスク選好が確立されている。

当行グループにわたる効果的なオペレーショナル・リスクの管理を推進するためには、3種の防御構造を前提とした健全なリスク・ガバナンス・モデル及び強固なリスク文化が不可欠である。レジリエンスをさらに強化するために、リスク方法論及びツールを導入し、事業プロセスに統合することで、組織を混乱から解決までサポートしている。これらの手法及びツールは、リスク・エクスポージャーの適時の識別、評価及び測定、管理、監視並びに報告が確実に行われるよう連携して機能する。この統合的なアプローチは、当行グループに対する経済的損失、費用の増加及びレピュテーション・リスクを最小限に抑えることを推進する。

テクノロジー・リスクとは、不十分又は失敗したITシステム、プロセス若しくはインフラ、並びに外的事象に起因する損失のリスク又は混乱を指す。システムの停止、インフラ障害、サイバー脅威並びに第三者及びクラウド・サービスのプロバイダーにより生じるリスクを含む、様々なエクスポージャーを含む。テクノロジー・リスクは、非金融リスクの重要な構成要素であり、オペレーショナル・リスクと密接に関連している。

当行グループは、当該技術の状況及びアーキテクチャ全体におけるリスクの識別、評価及び軽減を支援する確立されたテクノロジー・リスク管理の枠組みを有している。この枠組みは、当行グループの既存の統制を支え、重要なシステム、ITインフラ、顧客情報及び金融サービスの提供を保護することを推進している。当行グループのオペレーショナル・レジリエンスに関する枠組みは、混乱時においても重要なサービスの継続性を強化するために確立されている。

同時に当行グループは、サイバー攻撃、ソーシャル・エンジニアリング及びデータの損失又は盗難を含むサイバー・リスクの管理に引続き重点を置く。ITセキュリティ・チームは、防衛を強化するため、進化するサイバー脅威を継続的に監視し、定期的な評価を実施する。当行グループのサイバー・リスクの枠組み及び

方針は、米国国立標準技術研究所（NIST）サイバー・セキュリティ・フレームワーク及びマレーシア中央銀行のテクノロジー・リスク管理（RMiT）方針文書を含む業界の最善の実務及び主要な規則に基づいている。防衛措置は、より強固なエンドポイント・セキュリティ、脅威の看破及び対処の拡大、より厳格なデータ保護管理並びに境界防御の増強によって強化されている。サイバーインシデント対応及びエスカレーションのプロトコルは、適時の封じ込めと復旧を可能とするよう維持され、検証されている。継続的な意識向上プログラムは、従業員及び顧客がサイバーセキュリティの最善の実務について確実に情報を得られるよう支援する。

当行グループは、強固なリスク・コントロール及び損失軽減戦略をもってしても、特にサイバー脅威が進化し続けている状況を踏まえると、非金融リスクを完全に排除できるという保証はないことは認識している。これらのリスクを管理できない場合、当行グループの事業、財務、業務、及び評判に悪影響を及ぼす可能性がある。

ESGリスク

ESGリスクは、重要と見なされる要因を、特定、分析、管理及び監視することができないことによって生じ、事業運営の持続可能性、資産及び負債の価値、並びに当行の評判に悪影響を及ぼす可能性がある。「メイバンク・グループのESGリスク管理の枠組み」にも織り込まれているESGリスク管理の基本原則に基づき、当行グループは、持続可能な事業活動を推進するため、ステークホルダーと協力して当行グループのESGへの取組みの継続的な見直しに努め、かつ強化している。

「メイバンク・グループのESGリスク管理の枠組み」に重点を置いた拡充策として、当行グループの気候リスクを管理するための具体的なアプローチを定める、「メイバンク・グループ気候リスク管理方針」が2024年に策定され、その後2025年に見直された。この方針は、気候リスクの管理が日常の業務及び運営に統合されるよう、最小限の基準及び要件を規定する。これは、気候変動への耐性、すなわち気候変動に伴う課題を克服し、機会を捉えるための能力を実現するための当行グループの目標を強化することを意図している。また、2023年に策定され、2024年に実施された「メイバンク・グループ人権方針」（GHRP）は、国連ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）等の国際的な基準に沿って、当行グループの運営及びバリューチェーン全体にわたり当行グループの人権の尊重のコミットメントの基盤となっている。2026年に更新されたGHRPは、当行グループの人権に関する枠組みを一層強化し、当行グループの人権デュー・ディリジェンス（HRDD）への取組みを段階的に実施するための包括的な方向性を示している。

ESGの取組みの強化の一環として、当行グループは、ESGの考慮事項を顧客評価に統合し、リレーションシップ・マネージャー、リスク・マネージャー及び／又は意思決定者が顧客のサステナビリティ・ジャーニー及び／又はイニシアチブの強みを見極めることができるよう、ESGスクリーニング・ドキュメントを有している。かかるESGのスクリーニングは、当行グループ全体にわたり、行われるすべての取引について実施され、大筋では、取引について行われる商業的評価を補完するために用いられる顧客レベルの評価である。ESGスクリーニング・ドキュメントには、マレーシア中央銀行の気候変動原則に基づく分類要件及びシンガポール銀行協会の環境リスクに関する質問票も組み込まれている。同様に、メイバンクは、当行グループ全体のすべてのサプライヤーについて、オンボーディング、更新及び入札プロセスにおけるサプライヤーのESG評価を完了することを求めている。

さらに、設定されたリスク許容基準（RAC）にはクレジット及びESG両方の考慮事項が加味されているため、当行グループは、ESGリスクの高い特定の業種及び戦略的成長分野に関するESGの考慮事項を分野レベルの評価にも組み込んでいる。これは、当行グループのサステナビリティ部門の支援を受けて、当行グループのリスク部門により管理されており、当行グループのビジネス・チーム、業界関係者や顧客と協力して、ESGの影響に対する理解を促進し、顧客のビジネス慣行に持続可能性を組み込む機会を特定する。

ガバナンスによるESG関連事項の監督はトップダウンで行われており、まず取締役会が意思決定へのサステナビリティ原則の統合の確保及びESG戦略の実施を担当し、当行グループ全体のサステナビリティ戦略を監督し、厳格なガバナンスを通じてESGへの配慮をトータル・リワード管理に組み込む。取締役会は、取締役会のサステナビリティ委員会及びグループ経営委員会のサステナビリティ委員会（以下「ESC」という。）の支援を受けている。ESCでは、気候変動、自然及び生物多様性、事業戦略並びに事業活動からの排出量及びファイナンス・エミッションの管理を含む持続可能性の問題について議論するとともに、気候変動への配慮が意思決定に組み込まれることを確保するための持続可能性イニシアチブの実施について監視及び助言を行う。ESCは、リスク許容基準の範囲を超えた案件又はビジネス・チーム、リスク・チーム及び／又はサステナビリティ・チーム間でスタンスが異なる案件等、ESG関連事項に関わる係争案件の審査及び承認委員会として機能する専門の小委員会を有する。

環境及びエコシステムの進化に伴い、当行グループは、そのリスク管理アプローチ、方針及びプロセスのさらなる強化を続ける。当行グループは、必要に応じて、最善の市場慣行を取り入れるため、その姿勢、立ち位置、文書及び／又はプロセスを積極的に見直すことを約束する。

世界的な経済ショック又は地域的な金融危機又はマレーシア若しくは地域における金融不安は、当行グループの業務、資産価値及び成長に悪影響を与える可能性がある。

最近の様々な重大な事象及び展開は、世界及び当行グループに重大な影響を及ぼしている。まず第一に、2024年11月の再選を経て、トランプ米大統領の現第二期政権下において進められている米国の貿易政策の転換とそれに伴う輸入関税措置が挙げられる。2025年初頭から、米国は相互関税、国別関税及び製品別関税を実施し、その結果、米国による輸入品に対する平均関税率が引き上げられた。これに対し、中国、カナダ及び欧州連合等の特定の国及び経済圏は、米国からの輸入品に対し幅広く報復関税を課した。続いて、米国は、英国、欧州連合、日本、韓国及び特定の東南アジア経済圏（マレーシアを含む。）を含む特定の経済圏と二国間の枠組み及び協定の合意に達した。2026年11月10日までの1年間、中国と貿易は休戦している。2026年に入ってから、2026年2月20日に米国最高裁が、1977年国際緊急経済権限法（IEEPA）は大統領に関税を課す権限を与えていないとして、6対3の判決で、トランプ大統領が課した関税の大部分を無効としたことを受け、米国の貿易政策及び関税に新たな不確実性が生まれている。これに対し米国のトランプ大統領は、これまで適用されていなかった1974年通商法第122条に基づき、2026年2月24日から150日間有効となる10%の新たなグローバル関税で応酬し、その後の関税の引上げを示唆した。2026年7月24日に10%の世界共通関税が失効したことを受け、米国は、1974年通商法第301条に基づき、労働問題について貿易相手国を調査の上、60カ国に対して10%から12.5%の関税を課しており、マレーシアには10%の関税を課している。同時に、米国は同じ法制度の下で、マレーシアを含む16の貿易相手国を対象に製造業の過剰生産能力をめぐる調査を進めている。さらに米国は、中国の貿易迂回を助長し、第三国を経由して対米輸出を行うことで米国の貿易制限や関税を回避する「シャドー・トランシップメント・ネットワーク」の一部であるとして40カ国を名指ししており、そのリストにはマレーシアも含まれている。加えて、米国はブラジル及びカナダとの間で、新たな貿易摩擦及び「報復関税」の応酬も展開している。一方で、米国による最新の関税措置については、法的異議申立ても行われている。関税に関する全体的な状況は依然として不確実かつ流動的であり、さらなる法的動向及び政策の展開によっては、世界貿易に重大な影響を与える可能性がある。

さらに、イスラエル・パレスチナ戦争により引き起こされた中東における紛争の激化及びそれに続き石油価格高騰及び供給の混乱を招いた米国／イスラエル・イラン戦争、長期化しているロシア・ウクライナ紛争並びにインド太平洋地域（特に南シナ海、台湾及び朝鮮半島に関連する）における地政学的リスク等、既存の地政学的紛争地帯における事態の深刻化は、金融市場の変動の拡大及び新興国市場からの資本逃避に伴い、世界経済への停滞リスク及びインフレの進行リスクを助長させる可能性がある。

さらに、米国の貿易政策 / 関税並びに中東紛争による原油並びにその他の炭化水素及びそのデリバティブ（石油化学製品、肥料、及び産業用ガス等）の価格及び供給への影響は世界的なインフレ圧力が再燃するリスクを伴っており、これにより米連邦準備制度理事会及びその他の主要な中央銀行が利上げする可能性もある。これらの要因は、特に、マレーシア等の貿易指向のアジア諸国の主要な輸出市場である米国及び中国等の主要な経済圏の成長見通しに負の波及影響を及ぼす可能性がある。インフレの上昇リスクによる名目金利及び実質金利の上昇はレバレッジの高い政府及び企業の債務返済能力への懸念を高め、債務不履行のリスクも上昇し得る。外貨準備高の急激な減少を背景に、財政赤字及び経常収支の支払に十分な外部からの資金調達の獲得に苦戦する国は、資本の流出を阻止するために厳しい制限を課す方向に傾倒し、公的債務の債務不履行を発表する可能性さえある。経済の見通しに関する不確実性が高まり、消費者信頼感及び消費者信用の要因に世界的に又は地域的に悪影響が及び始めた場合、当行グループの事業、財務状況及び業績に著しい悪影響が及ぶ可能性がある。投資家は、新興経済国及び先進国双方の複数の市場における、近年の金融危機及び好景気のサイクルの歴史が当行グループを含むすべての金融機関にとってのリスクを招いていることを認識すべきである。当行グループは、世界的な信用状況の潜在的な緊縮の間接的な経済的影響を受け続け、その一部は予期できず、その大半は当行グループの管理が及ぶものではない。当行グループはまた、破綻する可能性があるか又はその他当行グループに対する契約上の誓約に基づく義務を履行できない金融機関から生じるカウンターパーティー・リスクにもさらされ続けている。

地理的な観点から、当行グループの業績並びにその資産の質及び成長は、当行グループが事業を展開する管轄区域の経済的健全性に大きく左右される。当行グループの主要な市場において、さらなる世界的な若しくは地域的な経済危機又は深刻な景気後退が生じた場合、当行グループの事業、財務状況又は業績に重大な悪影響を及ぼす可能性が高い。その結果、クレジット商品並びにその他の金融商品及び金融サービスに対する需要が低下し、法人顧客及びリテール顧客の債務不履行が増加し、これにより当行グループの事業、財務実績、株主資本、戦略遂行能力及び社債の価格に悪影響が及ぶ可能性がある。

将来、自己資本比率が低下した場合又は新たな自己資本比率の規制枠組みへの対応のため、新たな自己資本の調達を迫られる可能性がある。

2024年6月14日、マレーシア中央銀行は自己資本比率の規制枠組み（資本構成）（以下「自己資本比率規制枠組み（資本構成）」という。）の改訂版を発行し、会計引当金の規制上の自己資本の処理に関する経過措置の要件を削除した。当行グループを含むすべてのマレーシアの金融機関は、リスクアセットに対する以下の最低自己資本比率を維持することを要求されている。

- (a) 普通株式等Tier1（以下「CET1」という。）自己資本比率4.5%以上
- (b) Tier1自己資本比率6.0%以上
- (c) 自己資本比率8.0%以上

さらにD-SIBに指定された銀行については、CET1資本が資本保全バッファークウンターシクリカル資本バッファーク及び高い損失吸収要件（以下「HLA要件」という。）の形で、上記に記載されている最低CET1自己資本比率、Tier1自己資本比率及び自己資本比率を上回る追加の自己資本バッファークを維持することを要求されている。

マレーシア中央銀行は2020年2月5日、D-SIBの枠組みに関する政策文書を公表し、メイバンクをD-SIBに分類される銀行の1行として選定した。D-SIBの枠組みの下では、メイバンクはHLA要件のバケット2に分類され、2021年1月31日以降、メイバンクは規制上の最低要件に加え、CET1資本比率1.0%を上乗せして維持することが求められている。

銀行がかかる比率を維持することができない場合、マレーシア中央銀行は、かかる銀行に対して罰金から銀行免許の取消しまでの罰則を科す可能性がある。

2026年6月30日現在において、当行グループ及び当行の第1回中間配当控除前CET1自己資本比率はそれぞれ15.657%及び15.686%、第1回中間配当控除前Tier1自己資本比率はそれぞれ16.029%及び15.922%、第1回中間配当控除前自己資本比率は19.413%及び19.613%であった。

当行グループの資本ベース及び自己資本比率は、その経営成績又は財政状態が貸出金の資産の質の悪化による場合を含めて何らかの理由で悪化し、又は当行グループが低リスクの資産に資金の分散を行うことができない場合、将来において減少する可能性がある。当行グループの自己資本比率が低下した場合、適用ある自己資本比率規制ガイドラインを遵守するために、追加のCET1資本、追加のTier1資本又はTier2資本を取得することが求められる可能性がある。ただし、当行グループは、予定した資金調達の時点における市場の状況及び環境によっては、有利な条件で追加の資本を調達することができず、又は資本を一切調達することができない可能性がある。

さらにマレーシア中央銀行がマレーシアの銀行に追加の資本要件を課すような形で、又はマレーシアの銀行に関連する自己資本要件に影響を与えるようなその他の方法により、自己資本比率規制の枠組みの修正を行わないという保証はない。バーゼルのアプローチ及び各国における導入は、適格資本及びリスクアセットの構成に応じて様々な形で当行グループに潜在的な影響を及ぼす可能性のあるマレーシア中央銀行の対応次第である。当行グループは、常に最適な資本構成を確保し、様々なステークホルダーの要求を満たすために確固たる資本基盤を常に維持しているものの、当行グループが将来においてバーゼルの基準及び自己資本枠組みを遵守するために資本に対する圧力の増大に直面することがないと保証することはできず、その場合当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

技術的進歩に対応することができず、又はITへの適切な投資水準を維持することができない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループは技術的進歩に遅れないように尽力しており、当行グループの事業目的を促進し、支援するために、ITに投資してきた。当行グループは、その事業の実績及びリスク管理能力を高めるために、プロセス効率及び有効性の新たな水準を高めるべく投資を継続する予定であるが、ITに関するこれらの投資及び今後の変更により、当行グループは、技術及びシステムが時間の経過と共に進化するにつれ既存のシステム及びインフラの移行又は統合が行われることに伴って生じる技術的リスク若しくはオペレーショナル・リスク又は問題にさらされる可能性がある。当行グループの技術強化施策が円滑に移行し、効果的に実施され、進化するサイバー脅威及び技術的脅威に対して強靱性を維持できると保証することはできない。それでもなお、ファイナンス・テクノロジー能力の強化、近代化又は統合において戦略的又は技術的な誤りがある場合及び当行グループのITに対する適切な投資レベルを維持することができない場合、その事業、財政状態、経営成績、展望及び/又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。当行グループは、確立された技術ガバナンス、リスク管理及びセキュリティ管理を通じてこれらのリスクを管理することを目指しており、これはシステム変更の監視並びにオペレーショナル・リスク及びサイバー・リスクの継続的な監視に支えられている。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績等の概要

下記「第3 - 3(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2) 生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

下記「第 6 - 1 中間財務書類」の中間財務書類への注記B1.を参照のこと。

4 【重要な契約等】

メイバンクは、2026年 9 月 8 日付で、アゲアス・インシュアランス・インターナショナル・エヌバイ（以下「売主」という。）及び売主の最終親会社であるアゲアス・エスエー / エヌバイ（売主の保証人として）との間で、予定された、メイバンクの100%子会社であるエティカ・インターナショナル・ホールディングス・スンディリアン・ベルハッドを通じた、メイバンク・アゲアス・ホールディングス・ベルハッドの残余 30.95%の株式持分の、現金対価4.83十億マレーシア・リングgitでの取得（以下「本取得」という。）に関する株式売買契約を締結した。本取得は2026年 9 月11日に完了した。

5 【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

当該半期中において、2026年6月26日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

2【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

(2026年6月30日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
(注)	12,095,327,095	(注)

注記：会社法上、未発行の授権株式という概念はない。

【発行済株式】

(2026年6月30日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
記名式 無額面	普通株式	12,095,327,095	マレーシア 証券取引所	1株当たり 1議決権
計	-	12,095,327,095	-	-

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	株式資本増減額 (マレーシア・ リングgit)	株式資本残高 (マレーシア・ リングgit)	摘要
2025年12月31日	-	12,081,105,315	-	54,882,332,778.52	-
2026年1月1日- 2026年6月30日	14,221,780	12,095,327,095	163,408,252.20	55,045,741,030.72	従業員株式付与 プラン
2026年6月30日	-	12,095,327,095	-	55,045,741,030.72	-

(4) 【大株主の状況】

(2026年 6 月30日現在)

名称	住所	直接持分		間接持分		合計	
		所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する 所有株式数の 割合(%)	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する 所有株式数の 割合(%)	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する 所有株式数の 割合(%)
アマナラヤ・ トラスティー ズ・ベルハッ ド アマナ・サハ ム・ブミプテ ラ	マレーシア	3,391,690,800	28.04	-	-	3,391,690,800	28.04
シティグルー プ・ノミニー ズ(テンパタ ン)スンディ リアン・ベル ハッド 従業員積立基 金	マレーシア	1,585,892,197	13.11	-	-	1,585,892,197	13.11
パーモダラン・ ナショナル・ベルハッ ド	マレーシア	762,273,400	6.30	-	-	762,273,400	6.30
ヤヤサン・ペ ラブラン・ブ ミプテラ	マレーシア	-	-	762,273,400(*)	6.30(*)	-	-
クムブラン・ ワン・ベルサ ラーン(ディ ベルバダンカ ン)	マレーシア	584,411,587	4.83	50,506,062	0.42	634,917,649	5.25
合計		6,324,267,984	52.28	50,506,062	0.42	6,374,774,046	52.70

注記：

- * ヤヤサン・ペラブラン・ブミプテラ（以下「YPB」という。）の間接持分は、パーモダラン・ナショナル・ベルハッドが保有する株式の総体と同じであるため、所有株式数及び発行済株式総数に対する所有株式数の割合合計の計算から除外されている。YPBは、2016年会社法第8条(4)に基づき、持分100%に相当する株式から1株を差し引いたパーモダラン・ナショナル・ベルハッドの株式を保有することにより、間接持分を有するものとみなされる。

2 【役員の状況】

本書提出日現在、取締役会の委員は以下の通りである。

男性委員：7名

女性委員：5名

(女性委員の割合42%)

本書提出日現在、グループ経営委員会の委員は以下の通りである。

男性委員：11名

女性委員：2名

(女性委員の割合15%)

新任取締役 / 役員

氏名、生年月日、役職	略歴
ダトゥク・ワン・アズハル・ ワン・アフマド (1958年11月9日生) 独立非業務執行取締役 保有株式数(*)： - 2025年度の報酬： - (マレーシア・リングット)	着任： ・2026年7月1日 資格： ・米国カリフォルニア州ストックトン、パシフィック大学経営学(金融学)学士号 ・米国カリフォルニア州サンディエゴ、ナショナル大学MBA(国際ビジネス) 関連性のある職歴： 銀行、ガバナンス及び中小企業向け融資の分野において、30年超にわたる主導的な経験を有する。同氏の際立った経歴には、クレジット・ギャランティー・コーポレーション・マレーシア・ベルハッド(CGC)での17年間の勤務が含まれており、同社の変革を主導してクレジット・ピューロー・マレーシアを設立したほか、アライアンス・バンキング・グループでは取締役として主導的な役割を果たし、信用リスク、再建及び回収の分野においても幅広い専門知識を有する。

注記：

* 2026年8月20日現在。場合により、直接保有及び間接保有分を含む。

上記を除き、2026年6月26日に提出した有価証券報告書に記載された事項について、本書提出日現在まで重要な変更はなかった。

第6【経理の状況】

当行グループ及び当行の2026年6月30日に終了した6カ月間の原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は、マレーシア財務報告基準（Malaysian Financial Reporting Standards、以下「MFRS」という。）及び国際財務報告基準（International Financial Reporting Standards、以下「IFRS」という。）に従って作成されたものである。当該中間財務書類の和訳は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）第328条第1項の適用を受けている。当行が採用する会計原則、慣行、表示方法及び開示要件と日本のそれらとの相違のうち、連結及び個別中間財務書類の作成に関わるもので重要なものは、財務諸表等規則第329条及び第330条第2項の規定に準拠して、「第6 - 3 MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」でその内容を説明している。

原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は監査を受けていない。

当行がマレーシアにおいて発行した原文の半期報告書に含まれる中間財務書類は、マレーシア・リンギットで表示されている。円換算額は、財務諸表等規則第331条の規定に基づいて便宜のため表示されたものであり、1マレーシア・リンギット＝39.64円で換算されている。千円単位未満の端数は四捨五入されている。上記の為替相場は、2026年9月1日現在の株式会社三菱UFJ銀行の公表する現地参考為替相場の仲値に基づいて算定したものである。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

1 【中間財務書類】

要約財務書類
未監査損益計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2026年 6月30日終了	2025年 6月30日終了	2026年 6月30日終了	2025年 6月30日終了
		千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
受取利息	A20	6,383,956	7,505,920	12,806,772	15,245,934
支払利息	A21	(3,288,674)	(4,333,407)	(6,442,420)	(8,851,199)
受取利息純額		3,095,282	3,172,513	6,364,352	6,394,735
イスラム金融業務からの収益	A40a	2,292,631	2,210,435	4,477,811	4,274,789
保険/タカフル事業に係る損益	A22	308,015	394,529	677,868	865,928
その他の営業収益	A24	2,929,142	2,678,922	4,041,359	4,778,762
営業収益合計		8,625,070	8,456,399	15,561,390	16,314,214
保険/タカフル事業による金融/投資に係る純損益	A25	(1,113,690)	(771,978)	(950,508)	(917,634)
純営業収益		7,511,380	7,684,421	14,610,882	15,396,580
一般管理費	A26	(3,689,146)	(3,785,049)	(7,234,683)	(7,527,994)
減損損失前営業利益		3,822,234	3,899,372	7,376,199	7,868,586
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	A27	(313,469)	(423,399)	(798,161)	(807,554)
金融投資に対する減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	A28	62,373	(43,168)	338,058	(65,233)
その他の資産に対する減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	A29	20,360	(8,034)	23,702	(28,192)
営業利益		3,591,498	3,424,771	6,939,798	6,967,607
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益/(損失)持分		50,954	86,793	(6,874)	138,114
税金及びザカート前利益		3,642,452	3,511,564	6,932,924	7,105,721
税金及びザカート	B5	(869,246)	(809,306)	(1,611,764)	(1,760,075)
当期利益		2,773,206	2,702,258	5,321,160	5,345,646
当期利益の帰属:					
当行株主		2,690,362	2,628,029	5,171,020	5,216,886
非支配持分		82,844	74,229	150,140	128,760
		2,773,206	2,702,258	5,321,160	5,345,646
一株当たり利益当行株主帰属分		マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット
基本的/希薄化後(セン)	B12	22.24	21.75	42.78	43.20

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査損益計算書**
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
		2026年 6 月30日終了	2025年 6 月30日終了	2026年 6 月30日終了	2025年 6 月30日終了
		千円	千円	千円	千円
受取利息	A20	253,060,016	297,534,669	507,660,442	604,348,824
支払利息	A21	(130,363,037)	(171,776,253)	(255,377,529)	(350,861,528)
受取利息純額		122,696,978	125,758,415	252,282,913	253,487,295
イスラム金融業務からの収益	A40a	90,879,893	87,621,643	177,500,428	169,452,636
保険/タカフル事業に係る損益	A22	12,209,715	15,639,130	26,870,688	34,325,386
その他の営業収益	A24	116,111,189	106,192,468	160,199,471	189,430,126
営業収益合計		341,897,775	335,211,656	616,853,500	646,695,443
保険/タカフル事業による金融/投資に 係る純損益	A25	(44,146,672)	(30,601,208)	(37,678,137)	(36,375,012)
純営業収益		297,751,103	304,610,448	579,175,362	610,320,431
一般管理費	A26	(146,237,747)	(150,039,342)	(286,782,834)	(298,409,682)
減損損失前営業利益		151,513,356	154,571,106	292,392,528	311,910,749
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A27	(12,425,911)	(16,783,536)	(31,639,102)	(32,011,441)
金融投資に対する減損損失引当金戻入/ (繰入)、純額	A28	2,472,466	(1,711,180)	13,400,619	(2,585,836)
その他の資産に対する減損損失引当金 戻入/(繰入)、純額	A29	807,070	(318,468)	939,547	(1,117,531)
営業利益		142,366,981	135,757,922	275,093,593	276,195,941
関連会社及びジョイント・ベンチャー の利益/(損失)持分		2,019,817	3,440,475	(272,485)	5,474,839
税金及びザカート前利益		144,386,797	139,198,397	274,821,107	281,670,780
税金及びザカート	B5	(34,456,911)	(32,080,890)	(63,890,325)	(69,769,373)
当期利益		109,929,886	107,117,507	210,930,782	211,901,407
当期利益の帰属:					
当行株主		106,645,950	104,175,070	204,979,233	206,797,361
非支配持分		3,283,936	2,942,438	5,951,550	5,104,046
		109,929,886	107,117,507	210,930,782	211,901,407
		円	円	円	円
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	9	9	17	17

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2026年 6 月30日終了	2025年 6 月30日終了	2026年 6 月30日終了	2025年 6 月30日終了
当行グループ	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
当期利益	2,773,206	2,702,258	5,321,160	5,345,646
その他の包括損失:				
後に純損益に振り替えられない項目:				
確定給付制度に係る数理計算上の(損失)/利得	(726)	(723)	(968)	4,748
税効果	134	-	212	(258)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融				
商品の公正価値の変動に係る正味損失	(72,748)	(19,344)	(50,220)	(32,599)
	(73,340)	(20,067)	(50,976)	(28,109)
後に純損益に振り替えられる可能性がある項目:				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融				
商品に係る正味利得/(損失)	295,022	420,396	(1,083,761)	784,231
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	428,359	587,086	(903,624)	884,867
- 予想信用損失の変動	(48,843)	(39,748)	(378,590)	78,510
- 税効果	(84,494)	(126,942)	198,453	(179,146)
外国為替換算に係る正味損失	(175,737)	(1,090,636)	(632,043)	(1,760,715)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	(1,425)	764	808	3,295
資本準備金に係る正味利得/(損失)	2,670	(56)	(5,221)	(254)
再評価準備金に係る正味(損失)/利得	(1,099)	1	(1,099)	1
関連会社準備金の変動に係る持分	(116,150)	(125,742)	(22,341)	(52,783)
保険事業による金融/投資に係る純損益	38,209	(75,179)	116,030	(119,329)
	41,490	(870,452)	(1,627,627)	(1,145,554)
税引後当期のその他の包括損失	(31,850)	(890,519)	(1,678,603)	(1,173,663)
当期の包括利益合計	2,741,356	1,811,739	3,642,557	4,171,983
当期のその他の包括利益/(損失)の帰属:				
当行株主	986	(895,713)	(1,632,896)	(1,183,360)
非支配持分	(32,836)	5,194	(45,707)	9,697
	(31,850)	(890,519)	(1,678,603)	(1,173,663)
当期の包括利益合計の帰属:				
当行株主	2,691,348	1,732,316	3,538,124	4,033,526
非支配持分	50,008	79,423	104,433	138,457
	2,741,356	1,811,739	3,642,557	4,171,983

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2026年 6 月30日終了	2025年 6 月30日終了	2026年 6 月30日終了	2025年 6 月30日終了
当行グループ	千円	千円	千円	千円
当期利益	109,929,886	107,117,507	210,930,782	211,901,407
その他の包括損失:				
後に純損益に振り替えられない項目:				
確定給付制度に係る数理計算上の(損失)/利得	(28,779)	(28,660)	(38,372)	188,211
税効果	5,312	-	8,404	(10,227)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融				
商品の公正価値の変動に係る正味損失	(2,883,731)	(766,796)	(1,990,721)	(1,292,224)
	<u>(2,907,198)</u>	<u>(795,456)</u>	<u>(2,020,689)</u>	<u>(1,114,241)</u>
後に純損益に振り替えられる可能性がある項目:				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融				
商品に係る正味利得/(損失)	11,694,672	16,664,497	(42,960,286)	31,086,917
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	16,980,151	23,272,089	(35,819,655)	35,076,128
- 予想信用損失の変動	(1,936,137)	(1,575,611)	(15,007,308)	3,112,136
- 税効果	(3,349,342)	(5,031,981)	7,866,677	(7,101,347)
外国為替換算に係る正味損失	(6,966,215)	(43,232,811)	(25,054,185)	(69,794,743)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	(56,487)	30,285	32,029	130,614
資本準備金に係る正味利得/(損失)	105,839	(2,220)	(206,960)	(10,069)
再評価準備金に係る正味(損失)/利得	(43,564)	40	(43,564)	40
関連会社準備金の変動に係る持分	(4,604,186)	(4,984,413)	(885,597)	(2,092,318)
保険事業による金融/投資に係る純損益	1,514,605	(2,980,096)	4,599,429	(4,730,202)
	<u>1,644,664</u>	<u>(34,504,717)</u>	<u>(64,519,134)</u>	<u>(45,409,761)</u>
税引後当期のその他の包括損失	<u>(1,262,534)</u>	<u>(35,300,173)</u>	<u>(66,539,823)</u>	<u>(46,524,001)</u>
当期の包括利益合計	108,667,352	71,817,334	144,390,959	165,377,406
当期のその他の包括利益/(損失)の帰属:				
当行株主	39,085	(35,506,063)	(64,727,997)	(46,908,390)
非支配持分	(1,301,619)	205,890	(1,811,825)	384,389
	<u>(1,262,534)</u>	<u>(35,300,173)</u>	<u>(66,539,823)</u>	<u>(46,524,001)</u>
当期の包括利益合計の帰属:				
当行株主	106,685,035	68,669,006	140,251,235	159,888,971
非支配持分	1,982,317	3,148,328	4,139,724	5,488,435
	<u>108,667,352</u>	<u>71,817,334</u>	<u>144,390,959</u>	<u>165,377,406</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査損益計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行	注記	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
		2026年	2025年	2026年	2025年
		6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
受取利息	A20	4,414,351	5,165,390	8,770,149	10,486,982
支払利息	A21	(2,641,738)	(3,430,015)	(5,208,318)	(6,993,100)
受取利息純額		1,772,613	1,735,375	3,561,831	3,493,882
子会社及び関連会社からの配当金	A23	758,929	1,155,816	1,875,648	3,732,308
その他の営業収益	A24	1,275,873	1,745,612	2,320,024	3,613,639
		2,034,802	2,901,428	4,195,672	7,345,947
純営業収益		3,807,415	4,636,803	7,757,503	10,839,829
一般管理費	A26	(1,868,029)	(1,879,774)	(3,546,949)	(3,555,016)
減損損失前営業利益		1,939,386	2,757,029	4,210,554	7,284,813
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金戻入/(繰入)、純額	A27	286,695	(47,425)	194,905	(218,736)
金融投資に対する減損損失引当金戻入/ (繰入)、純額	A28	4,965	(17,790)	3,310	(18,542)
その他の資産及び子会社への投資に対 する減損損失引当金戻入/(繰入)、純 額	A29	209	(159,385)	(2,609)	(168,123)
税金及びザカート前利益		2,231,255	2,532,429	4,406,160	6,879,412
税金及びザカート	B5	(323,689)	(396,976)	(590,683)	(835,825)
当期利益		1,907,566	2,135,453	3,815,477	6,043,587

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査損益計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行	注記	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
		2026年 6 月30日終了 千円	2025年 6 月30日終了 千円	2026年 6 月30日終了 千円	2025年 6 月30日終了 千円
受取利息	A20	174,984,874	204,756,060	347,648,706	415,703,966
支払利息	A21	(104,718,494)	(135,965,795)	(206,457,726)	(277,206,484)
受取利息純額		70,266,379	68,790,265	141,190,981	138,497,482
子会社及び関連会社からの配当金	A23	30,083,946	45,816,546	74,350,687	147,948,689
その他の営業収益	A24	50,575,606	69,196,060	91,965,751	143,244,650
		80,659,551	115,012,606	166,316,438	291,193,339
純営業収益		150,925,931	183,802,871	307,507,419	429,690,822
一般管理費	A26	(74,048,670)	(74,514,241)	(140,601,058)	(140,920,834)
減損損失前営業利益		76,877,261	109,288,630	166,906,361	288,769,987
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金戻入/(繰入)、純額	A27	11,364,590	(1,879,927)	7,726,034	(8,670,695)
金融投資に対する減損損失引当金戻 入/(繰入)、純額	A28	196,813	(705,196)	131,208	(735,005)
その他の資産及び子会社への投資に対 する減損損失引当金戻入/(繰入)、純 額	A29	8,285	(6,318,021)	(103,421)	(6,664,396)
税金及びザカート前利益		88,446,948	100,385,486	174,660,182	272,699,892
税金及びザカート	B5	(12,831,032)	(15,736,129)	(23,414,674)	(33,132,103)
当期利益		75,615,916	84,649,357	151,245,508	239,567,789

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
当期利益	1,907,566	2,135,453	3,815,477	6,043,587
その他の包括利益/(損失)：				
後に純損益に振り替えられない項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融 商品の公正価値の変動に係る正味(損失)/利得	(54,815)	(373)	(41,016)	14,845
後に純損益に振り替えられる可能性がある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融 商品に係る正味利得/(損失)	318,902	138,125	(287,556)	357,483
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	418,307	235,523	(323,687)	362,428
- 予想信用損失の変動	(12,186)	(40,904)	(52,307)	82,006
- 税効果	(87,219)	(56,494)	88,438	(86,951)
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	148,396	(457,353)	46,874	(769,600)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	(1,398)	764	835	3,295
	465,900	(318,464)	(239,847)	(408,822)
税引後当期のその他の包括利益/(損失)	411,085	(318,837)	(280,863)	(393,977)
当期の包括利益合計	2,318,651	1,816,616	3,534,614	5,649,610

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

当行	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千円	2025年 6月30日終了 千円	2026年 6月30日終了 千円	2025年 6月30日終了 千円
当期利益	<u>75,615,916</u>	<u>84,649,357</u>	<u>151,245,508</u>	<u>239,567,789</u>
その他の包括利益/(損失)：				
後に純損益に振り替えられない項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融 商品の公正価値の変動に係る正味(損失)/利得	<u>(2,172,867)</u>	<u>(14,786)</u>	<u>(1,625,874)</u>	<u>588,456</u>
後に純損益に振り替えられる可能性がある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融 商品に係る正味利得/(損失)	<u>12,641,275</u>	<u>5,475,275</u>	<u>(11,398,720)</u>	<u>14,170,626</u>
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	<u>16,581,689</u>	<u>9,336,132</u>	<u>(12,830,953)</u>	<u>14,366,646</u>
- 予想信用損失の変動	<u>(483,053)</u>	<u>(1,621,435)</u>	<u>(2,073,449)</u>	<u>3,250,718</u>
- 税効果	<u>(3,457,361)</u>	<u>(2,239,422)</u>	<u>3,505,682</u>	<u>(3,446,738)</u>
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	<u>5,882,417</u>	<u>(18,129,473)</u>	<u>1,858,085</u>	<u>(30,506,944)</u>
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	<u>(55,417)</u>	<u>30,285</u>	<u>33,099</u>	<u>130,614</u>
	<u>18,468,276</u>	<u>(12,623,913)</u>	<u>(9,507,535)</u>	<u>(16,205,704)</u>
税引後当期のその他の包括利益/(損失)	<u>16,295,409</u>	<u>(12,638,699)</u>	<u>(11,133,409)</u>	<u>(15,617,248)</u>
当期の包括利益合計	<u>91,911,326</u>	<u>72,010,658</u>	<u>140,112,099</u>	<u>223,950,540</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書2026年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2026年 6 月30日現在	2025年 12月31日現在	2026年 6 月30日現在	2025年 12月31日現在
	注記	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
資産					
現金及び短期資金		31,197,522	28,328,140	25,326,660	23,860,757
金融機関預け金		7,567,674	14,030,366	26,350,031	29,613,139
売戻条件付買入金融資産		9,125,319	8,812,426	11,584,996	9,736,966
当初認識時に純損益を通じて公正価値 で測定するものとして指定された金融 資産	A10()	12,306,721	12,905,693	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金 融投資	A10()	45,991,787	46,066,479	21,150,777	21,483,165
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融投資	A10()	113,882,819	116,964,234	62,874,002	65,619,846
償却原価で測定する金融投資	A10()	93,657,893	80,786,440	80,025,095	67,965,825
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11()	552,384	907,213	43,057,333	49,564,603
顧客向貸出金及びその他の債権	A11()	686,393,882	676,981,380	222,878,229	221,415,399
デリバティブ資産	A36	21,033,029	17,640,228	19,657,959	17,405,045
保険契約資産/タカフル証書資産	A12()	88,640	103,165	-	-
再保険契約資産/再タカフル証書資産	A12()	4,891,557	5,274,445	-	-
その他の資産	A13	26,110,167	17,316,342	14,341,308	11,827,919
投資不動産		1,045,498	1,042,622	-	-
中央銀行への法定預け金		12,167,463	11,958,915	3,650,591	3,051,218
子会社への投資		-	-	37,130,020	37,133,790
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する持分		1,800,056	1,832,384	438,859	438,859
有形固定資産		2,486,228	2,458,303	1,065,467	987,923
使用権資産		1,816,533	1,924,027	1,321,370	1,285,210
無形資産		6,333,345	6,532,573	875,709	815,001
繰延税金資産		1,732,234	1,718,218	350,924	385,973
資産合計		1,080,180,751	1,053,583,593	572,079,330	562,590,638
負債					
顧客の資金：					
-顧客預金	A14	700,920,073	698,210,227	304,687,639	300,346,778
-顧客の投資口座 ¹	A40g	33,600,275	32,782,974	-	-
金融機関預り金	A15	48,896,613	42,587,329	72,274,021	69,888,618
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		29,386,927	25,899,425	35,587,467	33,949,068
デリバティブ負債	A36	22,732,084	24,535,876	22,227,302	24,156,646
純損益を通じて公正価値で測定する金 融負債	A16	10,576,424	9,583,737	7,649,669	6,748,860
支払手形及び銀行引受手形		1,863,769	1,452,395	682,923	608,709
保険契約負債/タカフル証書負債	A12()	48,523,169	47,093,930	-	-
再保険契約負債/再タカフル証書負債	A12()	10,066	32,762	-	-
その他の負債	A18	36,123,155	29,115,493	14,760,388	14,814,278
税金及びザカート引当金		444,938	395,791	-	-
繰延税金負債		709,257	814,707	-	-
借入金	A17()	34,356,875	28,207,145	19,866,987	16,802,922
劣後債務	A17()	13,923,612	14,452,872	13,609,310	14,138,570
資本性証券	A17()	1,577,246	1,577,087	1,577,246	1,577,087
負債合計		983,644,483	956,741,750	492,922,952	483,031,536

¹ 顧客の投資口座は、注記A40eに開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書2026年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2026年 6 月30日現在	2025年 12月31日現在	2026年 6 月30日現在	2025年 12月31日現在
	注記	千円	千円	千円	千円
資産					
現金及び短期資金		1,236,669,772	1,122,927,470	1,003,948,802	945,840,407
金融機関預け金		299,982,597	556,163,708	1,044,515,229	1,173,864,830
売戻条件付買入金融資産		361,727,645	349,324,567	459,229,241	385,973,332
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	A10()	487,838,420	511,581,671	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	A10()	1,823,114,437	1,826,075,228	838,416,800	851,592,661
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	A10()	4,514,314,945	4,636,462,236	2,492,325,439	2,601,170,695
償却原価で測定する金融投資	A10()	3,712,598,879	3,202,374,482	3,172,194,766	2,694,165,303
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11()	21,896,502	35,961,923	1,706,792,680	1,964,740,863
顧客向貸出金及びその他の債権	A11()	27,208,653,482	26,835,541,903	8,834,892,998	8,776,906,416
デリバティブ資産	A36	833,749,270	699,258,638	779,241,495	689,935,984
保険契約資産/タカフル証書資産	A12()	3,513,690	4,089,461	-	-
再保険契約資産/再タカフル証書資産	A12()	193,901,319	209,079,000	-	-
その他の資産	A13	1,035,007,020	686,419,797	568,489,449	468,858,709
投資不動産		41,443,541	41,329,536	-	-
中央銀行への法定預け金		482,318,233	474,051,391	144,709,427	120,950,282
子会社への投資		-	-	1,471,833,993	1,471,983,436
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する持分		71,354,220	72,635,702	17,396,371	17,396,371
有形固定資産		98,554,078	97,447,131	42,235,112	39,161,268
使用権資産		72,007,368	76,268,430	52,379,107	50,945,724
無形資産		251,053,796	258,951,194	34,713,105	32,306,640
繰延税金資産		68,665,756	68,110,162	13,910,627	15,299,970
資産合計		42,818,364,970	41,764,053,627	22,677,224,641	22,301,092,890
負債					
顧客の資金：					
-顧客預金	A14	27,784,471,694	27,677,053,398	12,077,818,010	11,905,746,280
-顧客の投資口座 ¹	A40g	1,331,914,901	1,299,517,089	-	-
金融機関預り金	A15	1,938,261,739	1,688,161,722	2,864,942,192	2,770,384,818
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		1,164,897,786	1,026,653,207	1,410,687,192	1,345,741,056
デリバティブ負債	A36	901,099,810	972,602,125	881,090,251	957,569,447
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	A16	419,249,447	379,899,335	303,232,879	267,524,810
支払手形及び銀行引受手形		73,879,803	57,572,938	27,071,068	24,129,225
保険契約負債/タカフル証書負債	A12()	1,923,458,419	1,866,803,385	-	-
再保険契約負債/再タカフル証書負債	A12()	399,016	1,298,686	-	-
その他の負債	A18	1,431,921,864	1,154,138,143	585,101,780	587,237,980
税金及びザカート引当金		17,637,342	15,689,155	-	-
繰延税金負債		28,114,947	32,294,985	-	-
借入金	A17()	1,361,906,525	1,118,131,228	787,527,365	666,067,828
劣後債務	A17()	551,931,980	572,911,846	539,473,048	560,452,915
資本性証券	A17()	62,522,031	62,515,729	62,522,031	62,515,729
負債合計		38,991,667,306	37,925,242,970	19,539,465,817	19,147,370,087

¹ 顧客の投資口座は、注記A40eに開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書2026年 6 月30日現在

当行グループ			当行	
	2026年 6月30日現在	2025年 12月31日現在	2026年 6月30日現在	2025年 12月31日現在
注記	千マレーシア・ リングット	千マレーシア・ リングット	千マレーシア・ リングット	千マレーシア・ リングット
当行株主に帰属する資本				
株式資本	55,045,741	54,882,333	55,045,741	54,882,333
信託保有株式	(78)	(78)	(78)	(78)
利益剰余金	38,392,617	37,756,235	19,392,253	20,053,014
準備金	(392,867)	806,137	4,718,462	4,623,833
	93,045,413	93,444,627	79,156,378	79,559,102
非支配持分	3,490,855	3,397,216	-	-
	96,536,268	96,841,843	79,156,378	79,559,102
負債及び株主資本合計	1,080,180,751	1,053,583,593	572,079,330	562,590,638
コミットメント及び偶発事象	A34 2,025,597,752	2,069,301,088	1,892,953,690	1,965,141,573
自己資本充実度	A35			
当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。				
普通株式等Tier1自己資本比率	15.657%	16.041%	15.686%	15.558%
Tier1自己資本比率	16.029%	16.419%	15.922%	15.787%
総自己資本比率	19.413%	19.960%	19.613%	19.599%
	マレーシア・ リングット	マレーシア・ リングット	マレーシア・ リングット	マレーシア・ リングット
当行株主に帰属する一株当たり純資産	7.69	7.73	6.54	6.59

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書2026年 6 月30日現在

	注記	当行グループ		当行	
		2026年 6 月30日現在	2025年 12月31日現在	2026年 6 月30日現在	2025年 12月31日現在
		千円	千円	千円	千円
当行株主に帰属する資本					
株式資本		2,182,013,173	2,175,535,680	2,182,013,173	2,175,535,680
信託保有株式		(3,092)	(3,092)	(3,092)	(3,092)
利益剰余金		1,521,883,338	1,496,657,155	768,708,909	794,901,475
準備金		(15,573,248)	31,955,271	187,039,834	183,288,740
		<u>3,688,320,171</u>	<u>3,704,145,014</u>	<u>3,137,758,824</u>	<u>3,153,722,803</u>
非支配持分		138,377,492	134,665,642	-	-
		<u>3,826,697,664</u>	<u>3,838,810,657</u>	<u>3,137,758,824</u>	<u>3,153,722,803</u>
負債及び株主資本合計		<u>42,818,364,970</u>	<u>41,764,053,627</u>	<u>22,677,224,641</u>	<u>22,301,092,890</u>
コミットメント及び偶発事象	A34	<u>80,294,694,889</u>	<u>82,027,095,128</u>	<u>75,036,684,272</u>	<u>77,898,211,954</u>
自己資本充実度					
	A35				
当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。					
普通株式等Tier1自己資本比率		15.657%	16.041%	15.686%	15.558%
Tier1自己資本比率		16.029%	16.419%	15.922%	15.787%
総自己資本比率		<u>19.413%</u>	<u>19.960%</u>	<u>19.613%</u>	<u>19.599%</u>
		円	円	円	円
当行株主に帰属する一株当たり純資産		<u>305</u>	<u>306</u>	<u>259</u>	<u>261</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====

<=====分配不能部分=====

	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金	外国為替 換算準備金
当行グループ	千マレーシア・リ ンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・千マレーシア・リ ンギット	ンギット
2026年 1 月 1 日現在	54,882,333	(78)	517,166	2,091,415	3,280,958	(4,753,996)
当期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(1,140,786)	(565,955)
確定給付制度に係る数理計算上の (損失)/利得	-	-	-	-	-	-
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	-	(47,565)	25,224
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	-	-	(591,179)
その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融投資に係る正味 損失	-	-	-	-	(1,093,221)	-
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-
再評価準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-
保険事業による金融/投資に係る純 損益	-	-	-	-	-	-
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(1,140,786)	(565,955)
次頁への繰越額	54,882,333	(78)	517,166	2,091,415	2,140,172	(5,319,951)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属=====>

====分配不能部分=====>

当行グループ	その他の		利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
	ESGP準備金	準備金 ¹				
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2026年1月1日現在	124,988	(454,394)	37,756,235	93,444,627	3,397,216	96,841,843
当期利益	-	-	5,171,020	5,171,020	150,140	5,321,160
その他の包括(損失)/利益	-	73,845	-	(1,632,896)	(45,707)	(1,678,603)
確定給付制度に係る数理計算上の (損失)/利得	-	(1,011)	-	(1,011)	255	(756)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(22,341)	-	(22,341)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(591,179)	(40,864)	(632,043)
その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融投資に係る正 味損失	-	-	-	(1,093,221)	(40,760)	(1,133,981)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	808	-	808	-	808
資本準備金に係る正味損失	-	(4,975)	-	(4,975)	(246)	(5,221)
再評価準備金に係る正味損失	-	(1,099)	-	(1,099)	-	(1,099)
保険事業による金融/投資に係る 純損益	-	80,122	-	80,122	35,908	116,030
当期包括(損失)/利益合計	-	73,845	5,171,020	3,538,124	104,433	3,642,557
次頁への繰越額	124,988	(380,549)	42,927,255	96,982,751	3,501,649	100,484,400

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====

<=====分配不能部分=====

<u>当行グループ</u>	株式資本 千円	信託保有株式 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価 差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円
2026年1月1日現在	2,175,535,680	(3,092)	20,500,460	82,903,691	130,057,175	(188,448,401)
当期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(45,220,757)	(22,434,456)
確定給付制度に係る数理計算上の (損失)/利得	-	-	-	-	-	-
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	-	(1,885,477)	999,879
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	-	-	(23,434,336)
その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融投資に係る正味 損失	-	-	-	-	(43,335,280)	-
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-
再評価準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-
保険事業による金融/投資に係る純 損益	-	-	-	-	-	-
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(45,220,757)	(22,434,456)
次頁への繰越額	2,175,535,680	(3,092)	20,500,460	82,903,691	84,836,418	(210,882,858)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >

====分配不能部分===== >

当行グループ	その他の					
	ESGP準備金	準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2026年 1 月 1 日現在	4,954,524	(18,012,178)	1,496,657,155	3,704,145,014	134,665,642	3,838,810,657
当期利益	-	-	204,979,233	204,979,233	5,951,550	210,930,782
その他の包括(損失)/利益	-	2,927,216	-	(64,727,997)	(1,811,825)	(66,539,823)
確定給付制度に係る数理計算上の (損失)/利得	-	(40,076)	-	(40,076)	10,108	(29,968)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(885,597)	-	(885,597)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(23,434,336)	(1,619,849)	(25,054,185)
その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融投資に係る正味 損失	-	-	-	(43,335,280)	(1,615,726)	(44,951,007)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	32,029	-	32,029	-	32,029
資本準備金に係る正味損失	-	(197,209)	-	(197,209)	(9,751)	(206,960)
再評価準備金に係る正味損失	-	(43,564)	-	(43,564)	-	(43,564)
保険事業による金融/投資に係る純 損益	-	3,176,036	-	3,176,036	1,423,393	4,599,429
当期包括(損失)/利益合計	-	2,927,216	204,979,233	140,251,235	4,139,724	144,390,959
次頁への繰越額	4,954,524	(15,084,962)	1,701,636,388	3,844,396,250	138,805,366	3,983,201,616

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====						
<=====分配不能部分=====						
	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金	外国為替 換算準備金
当行グループ(続き)	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
前頁からの繰越額	54,882,333	(78)	517,166	2,091,415	2,140,172	(5,319,951)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	-	(3,842)	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-
非支配持分からの取得/への売却による正味の影響	-	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	31,279	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	-	520,436	-	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行(注記A8(i)(a))	163,408	-	-	-	-	-
支払配当金(注記A9)	-	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動合計	163,408	-	31,279	520,436	(3,842)	-
2026年6月30日現在	55,045,741	(78)	548,445	2,611,851	2,136,330	(5,319,951)

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金968.1百万マレーシア・リンギット(税引後)が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法(2013年)に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >

====分配不能部分===== >

	その他の					
	ESGP準備金	準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
当行グループ（続き）	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
前頁からの繰越額	124,988	(380,549)	42,927,255	96,982,751	3,501,649	100,484,400
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融投資の処分 に係る正味利得	-	-	3,842	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株 式付与制度（「ESGP」）に基づ く株式報酬	49,427	-	-	49,427	-	49,427
非支配持分からの取得/への売却 による正味の影響	-	-	-	-	(3,730)	(3,730)
法定準備金への振替	-	-	(31,279)	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	(520,436)	-	-	-
メイバンク・グループESGPに基づ く株式の発行（注記A8(i)(a)）	(163,408)	-	-	-	-	-
支払配当金（注記A9）	-	-	(3,986,765)	(3,986,765)	(7,064)	(3,993,829)
株主との取引/その他の持分変動						
合計	(113,981)	-	(4,534,638)	(3,937,338)	(10,794)	(3,948,132)
2026年6月30日現在	11,007	(380,549)	38,392,617	93,045,413	3,490,855	96,536,268

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金968.1百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ（続き）	<=====当行株主に帰属=====					
	<=====分配不能部分=====					
	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金	外国為替 換算準備金
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
前頁からの繰越額	2,175,535,680	(3,092)	20,500,460	82,903,691	84,836,418	(210,882,858)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	-	(152,297)	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度（「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-
非支配持分からの取得/への売却による正味の影響	-	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	1,239,900	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	-	20,630,083	-	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行（注記A8(i)(a)）	6,477,493	-	-	-	-	-
支払配当金（注記A9）	-	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動						
合計	6,477,493	-	1,239,900	20,630,083	(152,297)	-
2026年6月30日現在	2,182,013,173	(3,092)	21,740,360	103,533,774	84,684,121	(210,882,858)

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金38,375百万円（税引後）が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >						
====分配不能部分===== >						
	ESGP準備金	その他の 準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
当行グループ（続き）	千円	千円	千円	千円	千円	千円
前頁からの繰越額	4,954,524	(15,084,962)	1,701,636,388	3,844,396,250	138,805,366	3,983,201,616
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	152,297	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度（「ESGP」）に基づく株式報酬	1,959,286	-	-	1,959,286	-	1,959,286
非支配持分からの取得/への売却による正味の影響	-	-	-	-	(147,857)	(147,857)
法定準備金への振替	-	-	(1,239,900)	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	(20,630,083)	-	-	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行（注記A8(i)(a)）	(6,477,493)	-	-	-	-	-
支払配当金（注記A9）	-	-	(158,035,365)	(158,035,365)	(280,017)	(158,315,382)
株主との取引/その他の持分変動						
合計	(4,518,207)	-	(179,753,050)	(156,076,078)	(427,874)	(156,503,952)
2026年6月30日現在	436,317	(15,084,962)	1,521,883,338	3,688,320,171	138,377,492	3,826,697,664

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金38,375百万円（税引後）が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====

<=====分配不能部分=====

	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金	外国為替 換算準備金
	千マレーシア・リ ンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
当行グループ						
2025年1月1日現在	54,736,195	(1,764)	502,436	2,846,576	2,731,389	(532,658)
当期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益/(損失)	-	-	-	-	718,157	(1,826,514)
確定給付制度に係る数理計算上の 利得	-	-	-	-	-	-
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	-	19,346	(72,129)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	-	-	(1,754,385)
その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融投資に係る正味 利得	-	-	-	-	698,811	-
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-
再評価準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-
保険事業による金融/投資に係る純 損益	-	-	-	-	-	-
当期包括利益/(損失)合計	-	-	-	-	718,157	(1,826,514)
次頁への繰越額	54,736,195	(1,764)	502,436	2,846,576	3,449,546	(2,359,172)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属=====>

====分配不能部分=====>

<u>当行グループ</u>	その他の		利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
	ESGP準備金	準備金 ¹				
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2025年1月1日現在	110,928	(450,832)	34,028,358	93,970,628	3,236,509	97,207,137
当期利益	-	-	5,216,886	5,216,886	128,760	5,345,646
その他の包括利益/(損失)	-	(75,003)	-	(1,183,360)	9,697	(1,173,663)
確定給付制度に係る数理計算上の						
利得	-	4,342	-	4,342	148	4,490
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(52,783)	-	(52,783)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(1,754,385)	(6,330)	(1,760,715)
その他の包括利益を通じて公正価						
値で測定する金融投資に係る正						
味利得	-	-	-	698,811	52,821	751,632
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	3,295	-	3,295	-	3,295
資本準備金に係る正味損失	-	(243)	-	(243)	(11)	(254)
再評価準備金に係る正味利得	-	-	-	-	1	1
保険事業による金融/投資に係る						
純損益	-	(82,397)	-	(82,397)	(36,932)	(119,329)
当期包括利益/(損失)合計	-	(75,003)	5,216,886	4,033,526	138,457	4,171,983
次頁への繰越額	110,928	(525,835)	39,245,244	98,004,154	3,374,966	101,379,120

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====

<=====分配不能部分=====

<u>当行グループ</u>	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVT0CI評価 差額準備金	外国為替 換算準備金
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2025年 1 月 1 日現在	2,169,742,770	(69,925)	19,916,563	112,838,273	108,272,260	(21,114,563)
当期利益	-	-	-	-	-	-
その他の包括利益/(損失)	-	-	-	-	28,467,743	(72,403,015)
確定給付制度に係る数理計算上の 利得	-	-	-	-	-	-
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	-	766,875	(2,859,194)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	-	-	(69,543,821)
その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融投資に係る正味 利得	-	-	-	-	27,700,868	-
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-
資本準備金に係る正味損失	-	-	-	-	-	-
再評価準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-
保険事業による金融/投資に係る純 損益	-	-	-	-	-	-
当期包括利益/(損失)合計	-	-	-	-	28,467,743	(72,403,015)
次頁への繰越額	2,169,742,770	(69,925)	19,916,563	112,838,273	136,740,003	(93,517,578)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >

====分配不能部分===== >

当行グループ	その他の					
	ESGP準備金	準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2025年1月1日現在	4,397,186	(17,870,980)	1,348,884,111	3,724,995,694	128,295,217	3,853,290,911
当期利益	-	-	206,797,361	206,797,361	5,104,046	211,901,407
その他の包括利益/(損失)	-	(2,973,119)	-	(46,908,390)	384,389	(46,524,001)
確定給付制度に係る数理計算上の						
利得	-	172,117	-	172,117	5,867	177,984
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(2,092,318)	-	(2,092,318)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(69,543,821)	(250,921)	(69,794,743)
その他の包括利益を通じて公正価						
値で測定する金融投資に係る正味						
利得	-	-	-	27,700,868	2,093,824	29,794,692
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	130,614	-	130,614	-	130,614
資本準備金に係る正味損失	-	(9,633)	-	(9,633)	(436)	(10,069)
再評価準備金に係る正味利得	-	-	-	-	40	40
保険事業による金融/投資に係る純						
損益	-	(3,266,217)	-	(3,266,217)	(1,463,984)	(4,730,202)
当期包括利益/(損失)合計	-	(2,973,119)	206,797,361	159,888,971	5,488,435	165,377,406
次頁への繰越額	4,397,186	(20,844,099)	1,555,681,472	3,884,884,665	133,783,652	4,018,668,317

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ(続き)	<=====当行株主に帰属=====					
	<=====分配不能部分=====					
	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金	外国為替 換算準備金
	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
前頁からの繰越額	54,736,195	(1,764)	502,436	2,846,576	3,449,546	(2,359,172)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	-	(146)	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-
当行グループの組織体制の変更に よる影響	-	-	-	-	-	-
非支配持分からの取得/への売却 による正味の影響	-	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	9,758	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	-	(214,605)	-	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	146,119	-	-	-	-	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動 合計	146,119	-	9,758	(214,605)	(146)	-
2025年6月30日現在	54,882,314	(1,764)	512,194	2,631,971	3,449,400	(2,359,172)

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金973.6百万マレーシア・リンギット(税引後)が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法(2013年)に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >						
====分配不能部分===== >						
	その他の					
	ESGP準備金	準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
当行グループ（続き）	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
前頁からの繰越額	110,928	(525,835)	39,245,244	98,004,154	3,374,966	101,379,120
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融投資の処分 に係る正味利得	-	-	146	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株 式付与制度（「ESGP」）に基づ く株式報酬	30,188	-	-	30,188	-	30,188
当行グループの組織体制の変更 による影響	-	-	-	-	(25,312)	(25,312)
非支配持分からの取得/への売却 による正味の影響	-	-	-	-	34,099	34,099
法定準備金への振替	-	-	(9,758)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	214,605	-	-	-
メイバンク・グループESGPに基づ く株式の発行	(88,491)	-	(57,628)	-	-	-
支払配当金	-	-	(3,861,425)	(3,861,425)	(95,686)	(3,957,111)
株主との取引/その他の持分変動						
合計	(58,303)	-	(3,714,060)	(3,831,237)	(86,899)	(3,918,136)
2025年6月30日現在	52,625	(525,835)	35,531,184	94,172,917	3,288,067	97,460,984

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金973.6百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ（続き）	<=====当行株主に帰属=====					
	<=====分配不能部分=====					外国為替 換算準備金
	株式資本 千円	信託保有株式 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価 差額準備金 千円	
前頁からの繰越額	2,169,742,770	(69,925)	19,916,563	112,838,273	136,740,003	(93,517,578)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	-	(5,787)	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度（「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-
当行グループの組織体制の変更に よる影響	-	-	-	-	-	-
非支配持分からの取得/への売却 による正味の影響	-	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	386,807	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	-	(8,506,942)	-	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	5,792,157	-	-	-	-	-
支払配当金	-	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動 合計	5,792,157	-	386,807	(8,506,942)	(5,787)	-
2025年6月30日現在	2,175,534,927	(69,925)	20,303,370	104,331,330	136,734,216	(93,517,578)

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金38,594百万円（税引後）が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >

====分配不能部分===== >

当行グループ(続き)	その他の					
	ESGP準備金	準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
前頁からの繰越額	4,397,186	(20,844,099)	1,555,681,472	3,884,884,665	133,783,652	4,018,668,317
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	5,787	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	1,196,652	-	-	1,196,652	-	1,196,652
当行グループの組織体制の変更に よる影響	-	-	-	-	(1,003,368)	(1,003,368)
非支配持分からの取得/への売却 による正味の影響	-	-	-	-	1,351,684	1,351,684
法定準備金への振替	-	-	(386,807)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	8,506,942	-	-	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	(3,507,783)	-	(2,284,374)	-	-	-
支払配当金	-	-	(153,066,887)	(153,066,887)	(3,792,993)	(156,859,880)
株主との取引/その他の持分変動						
合計	(2,311,131)	-	(147,225,338)	(151,870,235)	(3,444,676)	(155,314,911)
2025年6月30日現在	2,086,055	(20,844,099)	1,408,456,134	3,733,014,430	130,338,976	3,863,353,406

1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A19に開示されている。

2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な生命保険ファンド剰余金38,594百万円(税引後)が含まれる。この分配不能な生命保険ファンド剰余金は、金融サービス法(2013年)に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	<=====当行株主に帰属=====				
	<=====分配不能部分=====				
					FVTOCI評価
当行	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	差額準備金
	千マレーシア・リ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	ンギット	リングット	リングット	リングット	リングット
2026年1月1日現在	54,882,333	(78)	107,451	1,554,671	1,594,548
当期利益	-	-	-	-	-
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(328,572)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金					
融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(328,572)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(328,572)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金					
融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	-	(3,798)
メイバンク・グループ従業員株式付与制度					
(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	27,774	-	-
規制準備金への振替	-	-	-	465,497	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行					
(注記A8(i)(a))	163,408	-	-	-	-
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動合計	163,408	-	27,774	465,497	(3,798)
2026年6月30日現在	55,045,741	(78)	135,225	2,020,168	1,262,178

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	=====当行株主に帰属===== >				
	=====分配不能部分===== >				
	外国為替 換算準備金	ESGP準備金	公正価値 ヘッジ準備金	分配可能な 利益剰余金	資本合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
当行					
2026年1月1日現在	1,248,162	124,988	(5,987)	20,053,014	79,559,102
当期利益	-	-	-	3,815,477	3,815,477
その他の包括(損失)/利益	46,874	-	835	-	(280,863)
外国為替換算に係る正味利得	46,874	-	-	-	46,874
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金					
融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(328,572)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	835	-	835
当期包括(損失)/利益合計	46,874	-	835	3,815,477	3,534,614
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金					
融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	3,798	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	49,427	-	-	49,427
法定準備金への振替	-	-	-	(27,774)	-
規制準備金への振替	-	-	-	(465,497)	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行 (注記A8(i)(a))	-	(163,408)	-	-	-
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	(3,986,765)	(3,986,765)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	(113,981)	-	(4,476,238)	(3,937,338)
2026年6月30日現在	1,295,036	11,007	(5,152)	19,392,253	79,156,378

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行	<=====当行株主に帰属=====				
	<=====分配不能部分=====				
	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金
	千円	千円	千円	千円	千円
2026年 1 月 1 日現在	2,175,535,680	(3,092)	4,259,358	61,627,158	63,207,883
当期利益	-	-	-	-	-
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(13,024,594)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金	-	-	-	-	-
融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(13,024,594)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(13,024,594)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金	-	-	-	-	-
融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	-	(150,553)
メイバンク・グループ従業員株式付与制度	-	-	-	-	-
(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	1,100,961	-	-
規制準備金への振替	-	-	-	18,452,301	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	-	-	-	-	-
(注記A8(i)(a))	6,477,493	-	-	-	-
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動合計	6,477,493	-	1,100,961	18,452,301	(150,553)
2026年 6 月30日現在	2,182,013,173	(3,092)	5,360,319	80,079,460	50,032,736

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >					
=====分配不能部分===== >					
当行	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値 ヘッジ準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2026年1月1日現在	49,477,142	4,954,524	(237,325)	794,901,475	3,153,722,803
当期利益	-	-	-	151,245,508	151,245,508
その他の包括(損失)/利益	1,858,085	-	33,099	-	(11,133,409)
外国為替換算に係る正味利得	1,858,085	-	-	-	1,858,085
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金					
融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(13,024,594)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	33,099	-	33,099
当期包括(損失)/利益合計	1,858,085	-	33,099	151,245,508	140,112,099
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金					
融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	150,553	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度					
(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	1,959,286	-	-	1,959,286
法定準備金への振替	-	-	-	(1,100,961)	-
規制準備金への振替	-	-	-	(18,452,301)	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行					
(注記A8(i)(a))	-	(6,477,493)	-	-	-
支払配当金(注記A9(a))	-	-	-	(158,035,365)	(158,035,365)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	(4,518,207)	-	(177,438,074)	(156,076,078)
2026年6月30日現在	51,335,227	436,317	(204,225)	768,708,909	3,137,758,824

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====

<=====分配不能部分=====

	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金
当行	千マレーシア・リ ンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2025年1月1日現在	54,736,195	(1,764)	98,094	2,230,452	1,763,015
当期利益	-	-	-	-	-
その他の包括利益/(損失)	-	-	-	-	372,328
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融投資に係る正味利得	-	-	-	-	372,328
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-
当期包括利益/(損失)合計	-	-	-	-	372,328
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	9,758	-	-
規制準備金からの振替	-	-	-	(80,135)	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	146,119	-	-	-	-
支払配当金	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動合計	146,119	-	9,758	(80,135)	-
2025年6月30日現在	54,882,314	(1,764)	107,852	2,150,317	2,135,343

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	=====当行株主に帰属===== >				
	=====分配不能部分===== >				
	外国為替 換算準備金	ESGP準備金	公正価値 ヘッジ準備金	分配可能な 利益剰余金	資本合計
当行	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・リ ンギット
2025年1月1日現在	2,790,276	110,928	(12,132)	16,822,741	78,537,805
当期利益	-	-	-	6,043,587	6,043,587
その他の包括利益/(損失)	(769,600)	-	3,295	-	(393,977)
外国為替換算に係る正味損失	(769,600)	-	-	-	(769,600)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融投資に係る正味利得	-	-	-	-	372,328
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	3,295	-	3,295
当期包括利益/(損失)合計	(769,600)	-	3,295	6,043,587	5,649,610
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	30,188	-	-	30,188
法定準備金への振替	-	-	-	(9,758)	-
規制準備金からの振替	-	-	-	80,135	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	-	(88,491)	-	(57,628)	-
支払配当金	-	-	-	(3,861,425)	(3,861,425)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	(58,303)	-	(3,848,676)	(3,831,237)
2025年6月30日現在	2,020,676	52,625	(8,837)	19,017,652	80,356,178

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行	<=====当行株主に帰属=====				
	<=====分配不能部分=====				
	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金
	千円	千円	千円	千円	千円
2025年 1 月 1 日現在	2,169,742,770	(69,925)	3,888,446	88,415,117	69,885,915
当期利益	-	-	-	-	-
その他の包括利益/(損失)	-	-	-	-	14,759,082
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金	-	-	-	-	-
融投資に係る正味利得	-	-	-	-	14,759,082
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-
当期包括利益/(損失)合計	-	-	-	-	14,759,082
メイバンク・グループ従業員株式付与制度					
(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-
法定準備金への振替	-	-	386,807	-	-
規制準備金からの振替	-	-	-	(3,176,551)	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	5,792,157	-	-	-	-
支払配当金	-	-	-	-	-
株主との取引/その他の持分変動合計	5,792,157	-	386,807	(3,176,551)	-
2025年 6 月30日現在	2,175,534,927	(69,925)	4,275,253	85,238,566	84,644,997

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

=====当行株主に帰属===== >					
=====分配不能部分===== >					
当行	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値 ヘッジ準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2025年1月1日現在	110,606,541	4,397,186	(480,912)	666,853,453	3,113,238,590
当期利益	-	-	-	239,567,789	239,567,789
その他の包括利益/(損失)	(30,506,944)	-	130,614	-	(15,617,248)
外国為替換算に係る正味損失	(30,506,944)	-	-	-	(30,506,944)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金 融投資に係る正味利得	-	-	-	-	14,759,082
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	130,614	-	130,614
当期包括利益/(損失)合計	(30,506,944)	-	130,614	239,567,789	223,950,540
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	1,196,652	-	-	1,196,652
法定準備金への振替	-	-	-	(386,807)	-
規制準備金からの振替	-	-	-	3,176,551	-
メイバンク・グループESGPに基づく株式の発行	-	(3,507,783)	-	(2,284,374)	-
支払配当金	-	-	-	(153,066,887)	(153,066,887)
株主との取引/その他の持分変動合計	-	(2,311,131)	-	(152,561,517)	(151,870,235)
2025年6月30日現在	80,099,597	2,086,055	(350,299)	753,859,725	3,185,318,896

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2026年 6 月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2026年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	6,932,924	7,105,721	4,406,160	6,879,412
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの損失/(利益)持分	6,874	(138,114)	-	-
有形固定資産の減価償却費	162,581	158,007	36,583	34,820
使用権資産の減価償却費	252,642	253,496	64,311	56,581
無形資産の償却費	149,722	133,833	57,476	40,623
有形固定資産の処分益	(1,011)	(729)	(569)	(203)
子会社の資本返還に係る超過	-	-	(3,317)	-
みなし支配ストラクチャード・エンティティのストラクチャー変更/処分に係る正味利得	(420)	(4,781)	(1,115)	(1,667)
関連会社持分の希薄化/処分に係る正味損失	-	270	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に係る正味利得	(907,750)	(179,562)	(261,469)	(281,247)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	(261,636)	(983,870)	(282,332)	(700,946)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリバティブの再評価に係る未実現損失/(利得)	148,466	625,386	(174,801)	608,131
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価に係る未実現損失/(利得)	78,411	(298,186)	78,411	(298,186)
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	1,203,841	1,128,917	(5,759)	395,805
その他の債務に対する減損損失引当金繰入	3,557	3,899	2,385	1,063
金融投資に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額	(338,058)	65,233	(3,310)	18,542
その他の資産及び子会社への投資に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額	(23,702)	28,192	2,609	168,123
受取配当金	(257,930)	(154,281)	(1,919,578)	(3,738,438)
ESGP費用	93,659	56,165	55,867	32,482
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	89,745	83,284	(46,871)	(113,363)
運転資本増減前営業利益	7,331,915	7,882,880	2,004,681	3,101,532
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金の増減	(4,421)	(487,057)	(3,342,226)	(1,061,452)
当初の満期が3カ月超となる預金及び金融機関預け金の増減	(176,122)	862,275	(1,081,678)	(799,250)
金融投資ポートフォリオの増減	(11,780,981)	5,915,814	(11,000,273)	5,248,932
貸出金及びその他の債権の増減	(11,904,406)	(9,677,533)	5,505,566	1,672,128
保険/再保険契約資産及びタカフル/再タカフル証書資産の増減	395,355	299,066	-	-
中央銀行への法定預け金の増減	(208,745)	5,191,528	(599,374)	612,752
顧客預金の増減	4,402,893	9,895,786	4,498,296	156,343
顧客の投資口座の増減	817,301	1,809,805	-	-
金融機関預り金の増減	6,309,285	2,178,096	2,385,403	7,198,376
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	548,887	(505,334)	457,010	(13,703)
保険/再保険契約負債及びタカフル/再タカフル証書負債の増減	1,396,478	886,664	-	-
その他営業活動に係る増減	(763,446)	(10,893,991)	(4,610,496)	(4,115,848)
営業活動(に使用した)/から生じたキャッシュ	(3,636,007)	13,357,999	(5,783,091)	11,999,810
税金及びザカート支払額	(1,548,099)	(1,546,345)	(686,013)	(729,830)
営業活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ	(5,184,106)	11,811,654	(6,469,104)	11,269,980

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日終了 千円	2025年 6月30日終了 千円	2026年 6月30日終了 千円	2025年 6月30日終了 千円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	274,821,107	281,670,780	174,660,182	272,699,892
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの損失/(利益)持分	272,485	(5,474,839)	-	-
有形固定資産の減価償却費	6,444,711	6,263,397	1,450,150	1,380,265
使用権資産の減価償却費	10,014,729	10,048,581	2,549,288	2,242,871
無形資産の償却費	5,934,980	5,305,140	2,278,349	1,610,296
有形固定資産の処分益	(40,076)	(28,898)	(22,555)	(8,047)
子会社の資本返還に係る超過	-	-	(131,486)	-
みなし支配ストラクチャード・エンティティのストラクチャー変更/処分に係る正味利得	(16,649)	(189,519)	(44,199)	(66,080)
関連会社持分の希薄化/処分に係る正味損失	-	10,703	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に係る正味利得	(35,983,210)	(7,117,838)	(10,364,631)	(11,148,631)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	(10,371,251)	(39,000,607)	(11,191,640)	(27,785,499)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリバティブの再評価に係る未実現損失/(利得)	5,885,192	24,790,301	(6,929,112)	24,106,313
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価に係る未実現損失/(利得)	3,108,212	(11,820,093)	3,108,212	(11,820,093)
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	47,720,257	44,750,270	(228,287)	15,689,710
その他の債務に対する減損損失引当金繰入	140,999	154,556	94,541	42,137
金融投資に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額	(13,400,619)	2,585,836	(131,208)	735,005
その他の資産及び子会社への投資に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額	(939,547)	1,117,531	103,421	6,664,396
受取配当金	(10,224,345)	(6,115,699)	(76,092,072)	(148,191,682)
ESGP費用	3,712,643	2,226,381	2,214,568	1,287,586
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	3,557,492	3,301,378	(1,857,966)	(4,493,709)
運転資本増減前営業利益	290,637,111	312,477,363	79,465,555	122,944,728
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金の増減	(175,248)	(19,306,939)	(132,485,839)	(42,075,957)
当初の満期が3カ月超となる預金及び金融機関預け金の増減	(6,981,476)	34,180,581	(42,877,716)	(31,682,270)
金融投資ポートフォリオの増減	(466,998,087)	234,502,867	(436,050,822)	208,067,664
貸出金及びその他の債権の増減	(471,890,654)	(383,617,408)	218,240,636	66,283,154
保険/再保険契約資産及びタカフル/再タカフル証書資産の増減	15,671,872	11,854,976	-	-
中央銀行への法定預け金の増減	(8,274,652)	205,792,170	(23,759,185)	24,289,489
顧客預金の増減	174,530,679	392,268,957	178,312,453	6,197,437
顧客の投資口座の増減	32,397,812	71,740,670	-	-
金融機関預り金の増減	250,100,057	86,339,725	94,557,375	285,343,625
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	21,757,881	(20,031,440)	18,115,876	(543,187)
保険/再保険契約負債及びタカフル/再タカフル証書負債の増減	55,356,388	35,147,361	-	-
その他営業活動に係る増減	(30,262,999)	(431,837,803)	(182,760,061)	(163,152,215)
営業活動(に使用した)/から生じたキャッシュ	(144,131,317)	529,511,080	(229,241,727)	475,672,468
税金及びザカート支払額	(61,366,644)	(61,297,116)	(27,193,555)	(28,930,461)
営業活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ	(205,497,962)	468,213,965	(256,435,283)	446,742,007

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
-金融投資ポートフォリオ	257,930	154,281	43,930	6,130
-子会社	-	-	1,875,648	3,731,564
-関連会社	-	-	-	744
有形固定資産の購入	(211,256)	(217,013)	(114,803)	(47,787)
無形資産の購入	(190,823)	(113,471)	(46,175)	(71,112)
投資不動産の購入	(68)	(287)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(16,519)	(1,372,894)
有形固定資産の処分による収入	2,716	5,532	1,019	219
みなし支配ストラクチャード・エンティティの株式の購入	-	-	-	(22,150)
非支配持分との取引による正味影響額	-	4,781	-	-
子会社の資本返還による正味影響額	-	-	10,289	-
子会社の清算/処分による正味影響額	-	-	3,317	-
投資活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ・フロー	<u>(141,501)</u>	<u>(166,177)</u>	<u>1,756,706</u>	<u>2,224,714</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入の実行/(返済)、純額	6,179,614	(4,438,586)	2,958,243	(1,754,186)
劣後債務の発行	1,200,000	750,000	1,200,000	750,000
劣後債務の償還	(1,700,000)	-	(1,700,000)	-
リース負債の返済	(163,420)	(186,357)	(30,021)	(31,442)
支払配当金	(3,986,765)	(3,861,425)	(3,986,765)	(3,861,425)
非支配持分への支払配当金	(7,064)	(95,686)	-	-
財務活動から生じた/(に使用した)正味キャッシュ・フロー	<u>1,522,365</u>	<u>(7,832,054)</u>	<u>(1,558,543)</u>	<u>(4,897,053)</u>
現金及び現金同等物の正味(減少)/増加額	(3,803,242)	3,813,423	(6,270,941)	8,597,641
期首現在の現金及び現金同等物	40,580,822	60,775,848	35,957,446	47,807,243
外国為替換算レートの変動による影響	20,719	(534,220)	47,990	(371,305)
期末現在の現金及び現金同等物	<u>36,798,299</u>	<u>64,055,051</u>	<u>29,734,495</u>	<u>56,033,579</u>
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	31,208,805	45,958,510	25,330,579	39,482,428
金融機関預け金	<u>7,577,921</u>	<u>19,778,573</u>	<u>26,358,468</u>	<u>36,140,294</u>
	38,786,726	65,737,083	51,689,047	75,622,722
控除:				
現金並びに当初の満期が3カ月超となる短期資金及び金融機関預け金	(1,927,287)	(1,618,814)	(21,893,412)	(19,525,925)
拘束性預金及び金融機関預け金	<u>(61,140)</u>	<u>(63,218)</u>	<u>(61,140)</u>	<u>(63,218)</u>
期末現在の現金及び現金同等物	<u>36,798,299</u>	<u>64,055,051</u>	<u>29,734,495</u>	<u>56,033,579</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2026年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日終了 千円	2025年 6月30日終了 千円	2026年 6月30日終了 千円	2025年 6月30日終了 千円
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
-金融投資ポートフォリオ	10,224,345	6,115,699	1,741,385	242,993
-子会社	-	-	74,350,687	147,919,197
-関連会社	-	-	-	29,492
有形固定資産の購入	(8,374,188)	(8,602,395)	(4,550,791)	(1,894,277)
無形資産の購入	(7,564,224)	(4,497,990)	(1,830,377)	(2,818,880)
投資不動産の購入	(2,696)	(11,377)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(654,813)	(54,421,518)
有形固定資産の処分による収入	107,662	219,288	40,393	8,681
みなし支配ストラクチャード・エンティティの株式の購入	-	-	-	(878,026)
非支配持分との取引による正味影響額	-	189,519	-	-
子会社の資本返還による正味影響額	-	-	407,856	-
子会社の清算/処分による正味影響額	-	-	131,486	-
投資活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ・フロー	(5,609,100)	(6,587,256)	69,635,826	88,187,663
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入の実行/(返済)、純額	244,959,899	(175,945,549)	117,264,753	(69,535,933)
劣後債務の発行	47,568,000	29,730,000	47,568,000	29,730,000
劣後債務の償還	(67,388,000)	-	(67,388,000)	-
リース負債の返済	(6,477,969)	(7,387,191)	(1,190,032)	(1,246,361)
支払配当金	(158,035,365)	(153,066,887)	(158,035,365)	(153,066,887)
非支配持分への支払配当金	(280,017)	(3,792,993)	-	-
財務活動から生じた/(に使用した)正味キャッシュ・フロー	60,346,549	(310,462,621)	(61,780,645)	(194,119,181)
現金及び現金同等物の正味(減少)/増加額	(150,760,513)	151,164,088	(248,580,101)	340,810,489
期首現在の現金及び現金同等物	1,608,623,784	2,409,154,615	1,425,353,159	1,895,079,113
外国為替換算レートの変動による影響	821,301	(21,176,481)	1,902,324	(14,718,530)
期末現在の現金及び現金同等物	1,458,684,572	2,539,142,222	1,178,675,382	2,221,171,072
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	1,237,117,030	1,821,795,336	1,004,104,152	1,565,083,446
金融機関預け金	300,388,788	784,022,634	1,044,849,672	1,432,601,254
	1,537,505,819	2,605,817,970	2,048,953,823	2,997,684,700
控除:				
現金並びに当初の満期が3カ月超となる短期資金及び金融機 関預け金	(76,397,657)	(64,169,787)	(867,854,852)	(774,007,667)
拘束性預金及び金融機関預け金	(2,423,590)	(2,505,962)	(2,423,590)	(2,505,962)
期末現在の現金及び現金同等物	1,458,684,572	2,539,142,222	1,178,675,382	2,221,171,072

(これらの未監査要約期中財務書類は、2025年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び同財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

パートA: マレーシア財務報告基準第134号（「MFRS第134号」）期中財務報告に準拠した注記**A1. 作成の基礎**

当行グループ及び当行の未監査要約期中財務書類は、取得原価主義で作成される。ただし、公正価値で計上される資産及び負債であるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債、デリバティブ金融商品及び投資不動産を除く。

未監査要約期中財務書類はブルサ・マレーシア証券取引所の上場基準第9章パートK、MFRS第134号「期中財務報告」及びIAS第34号「期中財務報告」の要求事項に準拠して作成されている。

未監査要約期中財務書類は、監査済年次財務書類に必要とされるすべての情報や開示を含んでいないため、2025年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類と併せて読まれるべきである。未監査要約期中財務書類に添付される注記は、2025年12月31日に終了した会計年度以降の当行グループ及び当行の財政状態及び経営成績の変動の理解にとって重要な事象や取引の説明を与えるものである。

当行グループの未監査要約期中財務書類は、イスラム銀行業務及び保険事業の業務を含んでいる。イスラム銀行業務は、一般にシャリア原則に基づく預金の受入れ、貸付及びイスラム証券の取引を指している。保険事業の業務は、損害保険及び生命保険事業の引受け、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業の管理や投資関連業務を指している。

当行グループ及び当行が採用する重要性がある会計方針及び計算方法は、2026年1月1日以降に開始される会計年度に適用される以下のMFRS会計基準の改訂の適用を除き、直近の2025年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用したものと一貫している。

- ・ MFRS第9号「金融商品」およびMFRS第7号「金融商品：開示 - 金融商品の分類および測定」の改訂
- ・ MFRS第9号「金融商品」およびMFRS第7号「金融商品：開示 - 自然依存電力を参照する契約」の改訂

下記に開示の通り、上記のMFRSの改訂の適用による、当行グループ及び当行の財務書類に与える重要な財務上の影響はない。

MFRS第9号「金融商品」およびMFRS第7号「金融商品：開示 - 金融商品の分類および測定」の改訂

本改訂は、以下について明確化している。

- ・ 金融負債は、決済日、すなわち関連する債務が履行される、取り消される又は失効する時点、あるいは当該負債がその他の理由により認識の中止の要件を満たす時点で認識が中止される。また、電子決済システム（Electronic Payment System「EPS」）を通じて決済される金融負債について、一定の要件が満たされる場合には、決済日前に認識を中止する会計方針の選択も導入している。
- ・ 環境・社会・ガバナンス（Environmental, Social and Governance「ESG」）連動要素及びその他の類似の偶発的特性を含む金融資産の契約上のキャッシュ・フローの特性の評価。
- ・ ノンリコース資産及び契約上リンクしている金融商品（Contractually Linked Instruments「CLI」）の取扱い。

本改訂では、偶発的事象を参照する契約条件（ESG連動要素を含む）を伴う金融資産及び金融負債、並びにその他の包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類される資本性金融商品（FVOCI）について、MFRS第7号において追加の開示を要求している。

新たな要求事項は、期首利益剰余金の修正を通じて遡及適用することができる。過年度の修正再表示は要求されないが、修正再表示する場合は事後的判断を用いてはならない。企業は、本改訂により測定のカテゴリ区分が変更された当該金融資産に関する情報を開示しなければならない。

本改訂は、当行グループ及び当行の財務書類の作成に重要な影響を与えるものではない。

MFRS第9号「金融商品」およびMFRS第7号「金融商品：開示 - 自然依存電力を参照する契約」の改訂

本改訂は、以下について明確化している。

- ・ 自己使用の例外規定（own-use exemption）の要件を満たす自然依存電力契約（電力購入契約（Power Purchase Agreements「PPA」）等）については、MFRS第9号に基づく金融商品会計の適用対象から除外することが認められる。この場合、PPAは通常の営業費用の一部として非金融契約として取り扱われる。自己使用の例外規定は、当該電力が転売又は売買目的で保有されるのではなく、企業自身の営業上の需要を満たす目的で購入される場合に適用される。企業は、購入契約を締結した電力量が予想される電力消費量と整合すると見込まれ、かつ実際に購入した電力を使用する必要がある。
- ・ 一方、自己使用の例外規定の要件を満たさないPPAについては、当該契約はデリバティブとして認識され、純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）。ヘッジ会計を適用することで、将来の電力購入又は販売に係る価格変動リスクを当該PPAによりヘッジする経済的実態に会計処理を整合させ、将来の電力購入又は売却に係る価格変動のヘッジ効果を会計上適切に反映させることで、純損益の変動を軽減することが可能となる。

本改訂の下では、企業は一定のPPAについて自己使用の例外規定を適用することができ、その場合、当該契約は財政状態計算書に認識されない。この場合、企業は以下に関する追加の開示を行うことが求められる。

- ・ 電力量の変動性及び供給過剰電力の購入リスクに晒される契約上の特徴。
- ・ 未認識の契約上のコミットメントについて適切な期間区分による契約に基づく電力の購入による見積将来キャッシュ・フロー。
- ・ 契約が、不利な契約（onerous contract）となる可能性があるか否かを事業体がどのように評価するのかに関する定性的情報。
- ・ 「正味の購入者（net-purchaser）」であったかどうかを評価するために用いた情報に基づく、電力の購入及び売却に関連するコスト及び収入に関する定性的及び定量的情報。

本改訂は、当行グループ及び当行の財務書類の作成に重要な影響を与えるものではない。

A2. 会計方針

当行グループ及び当行の2025年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類は、MFRS会計基準、IFRS会計基準及び2016年マレーシア会社法の要件に従って作成された。当未監査要約期中財務書類の作成において採用された重要な会計方針は、注記A1に開示の通り、2026年1月1日以降に開始する事業年度から適用されるMFRS会計基準の改訂を除き、2025年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用された重要な会計方針と一致している。

A3. 重要な会計上の見積り及び判断

未監査要約期中財務書類を作成するに当たり、経営者には会計方針の適用並びに収益、費用、資産、負債の報告金額及びその開示、並びに偶発債務の開示の報告金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求される。これらの見積りや判断は、現在の事象や活動に関して経営者が知る限りの知識に基づいているが、実際の結果は異なる可能性がある。

当末監査要約期中財務書類の作成に当たり、当行グループ及び当行の会計方針の適用のために経営者が行った重要な判断及びその見積りの不確実性の主要な要素は、2025年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に適用されたものと一貫していた。

A4. 前期の監査済年次財務書類に関する監査人の報告書

2025年12月31日に終了した監査済年次財務書類に関する監査人の報告書は無限定適正意見であった。

A5. 季節的又は周期的要素

当行グループ及び当行の業務に対し、2026年6月30日に終了した中間会計期間において、季節的要素と周期的要素のどちらによる重要な影響もなかった。

A6. 性質、規模又は発生による異常項目

2026年6月30日に終了した中間会計期間においては、下記の注記A8に開示したものを除いて、当行グループ及び当行の資産、負債、資本、純利益及びキャッシュ・フローに影響を与える異常な項目はなかった。

A7. 見積りの変更

2026年6月30日に終了した中間会計期間において、重要性のある見積りの変更はなかった。

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動

(i) 2026年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動は以下の通りである。

(a) 株式資本

当行の株式資本は、2025年12月31日現在の54,882,332,779マレーシア・リングットから、2026年6月30日現在の55,045,741,031マレーシア・リングットに増加した。これは、従業員株式付与制度(「ESGP」)により14,221,780株の普通株式(総額163,408,252マレーシア・リングット)が新規に発行されたことによるものである。

2026年6月30日現在の当行の発行済普通株式数は12,095,327,095株(2025年12月31日現在: 12,081,105,315株)である。

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- (i) 2026年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動は以下の通りである。（続き）

(b) 借入金

当行によるメディアム・ターム・ノートの発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
メディアム・ターム・ノートの発行		
香港ドル	固定利付債	200.0百万香港ドル
米ドル	変動利付債	600.0百万米ドル
メディアム・ターム・ノートの償還		
香港ドル	ゼロクーポン債	375.0百万香港ドル
香港ドル	固定利付債	205.0百万香港ドル
米ドル	固定利付債	130.0百万米ドル

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
インドネシア・ルピア	固定利付債	3,766,200.0百万インドネシア・ルピア
債券の償還		
インドネシア・ルピア	固定利付債	779,000.0百万インドネシア・ルピア

当行によるコマーシャル・ペーパーの発行

2026年6月30日現在の、当行が発行したコマーシャル・ペーパーの額面ベースの発行残高総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リングgit	ゼロクーポン債	2,000.0百万マレーシア・リングgit
マレーシア・リングgit	固定利付債	3,505.0百万マレーシア・リングgit
香港ドル	ゼロクーポン債	260.0百万香港ドル
シンガポール・ドル	固定利付債*	261.4百万シンガポール・ドル
米ドル	固定利付債*	7.1百万米ドル

* 延長可能なマネーマーケット証券

メイバンク・シンガポール・リミテッドによるコマーシャル・ペーパーの発行

2026年6月30日現在の、メイバンク・シンガポール・リミテッドが発行したコマーシャル・ペーパーの額面ベースの発行残高総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
米ドル	ゼロクーポン債	16.0百万米ドル

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- (i) 2026年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動は以下の通りである。（続き）

(b) 借入金（続き）

メイバンク・イスラミック・ベルハッドによるイスラム・ミディアム・ターム・ノートの発行

2026年6月30日現在の、メイバンク・イスラミック・ベルハッドが発行したイスラム・ミディアム・ターム・ノートの額面ベースの発行残高総額は以下のとおりである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リングgit	固定利付債	3,000.0百万マレーシア・リングgit

当行による借入金の返済

2026年6月30日現在の、当行が返済した借入金の額面ベースの総額は以下のとおりである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リングgit	政府融資制度	1,798.0百万マレーシア・リングgit

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による借入金の実行/返済

2026年6月30日現在の、ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社が実行及び返済した借入金の額面ベースの総額は以下のとおりである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
借入金		
インドネシア・ルピア	借入金	2,507,709,231.0百万インドネシア・ルピア
米ドル	借入金	158,994.6百万米ドル
インド・ルピー	借入金	250,000.0百万インド・ルピー
借入金の返済		
インドネシア・ルピア	借入金	2,637,174.8百万インドネシア・ルピア

メイバンクIBGホールディングス・リミテッド及びその子会社による借入金の実行/返済

2026年6月30日現在の、メイバンクIBGホールディングス・リミテッドが実行及び返済した借入金の額面ベースの総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
借入金		
インドネシア・ルピア	借入金	550,000.0百万インドネシア・ルピア
ベトナム・ドン	借入金	63,000.0百万ベトナム・ドン
シンガポール・ドル	借入金	226.0百万シンガポール・ドル
米ドル	借入金	25.0百万米ドル
借入金の返済		
タイ・バーツ	借入金	1,426.7百万タイ・バーツ
香港ドル	借入金	27.0百万香港ドル

(c) 劣後債務

当行の30.0十億マレーシア・リングットのスクーク・プログラムに基づくTier 2 劣後スクーク・ムラバハの発行

発行	発行日	第1回繰上償還日	満期日	額面価額	内容	期間
発行	2026年5月13日	2031年5月13日	2036年5月13日	240.0百万マレーシア・リングット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(10ノンコール5)	10年
発行	2026年5月13日	2033年5月13日	2038年5月13日	310.0百万マレーシア・リングット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(12ノンコール7)	12年
発行	2026年5月13日	2036年5月13日	2041年5月13日	650.0百万マレーシア・リングット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(15ノンコール10)	15年

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- (i) 2026年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動は以下の通りである。（続き）

(c) 劣後債務（続き）

当行の30.0十億マレーシア・リングットのスクーク・プログラムに基づく1.7十億マレーシア・リングットのTier 2 劣後スクーク・ムラバハの償還¹

償還	第1回繰上償還日	満期日	額面価額	内容	期間
償還	2026年1月30日	2031年1月30日	1.7十億マレーシア・リングット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ（12ノンコール7）	12年

¹ 当該劣後スクークは、第1回繰上償還日に全額償還された。

- () 2026年6月30日に終了した中間会計期間の財務書類に反映されなかった、2026年6月30日に終了した中間会計期間後の当行グループ及び当行の負債性証券の変動は以下の通りである。

(a) 借入金

当行によるミディアム・ターム・ノートの発行

通貨	債券の種類	額面価額総額
米ドル	固定利付債	20.0百万米ドル

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
インドネシア・ルピア	固定利付債	595,000.0百万インドネシア・ルピア

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による借入金の返済

通貨	債券の種類	額面価額総額
インドネシア・ルピア	借入金	1,659,583.0百万インドネシア・ルピア
インド・ルピー	借入金	250.0百万インド・ルピー

メイバンクIBGホールディングス・リミテッド及びその子会社による借入金の返済

通貨	債券の種類	額面価額総額
インドネシア・ルピア	借入金	1,395,000.0百万インドネシア・ルピア
ベトナム・ドン	借入金	303,000.0百万ベトナム・ドン
タイ・バーツ	借入金	249.6百万タイ・バーツ
シンガポール・ドル	借入金	226.0百万シンガポール・ドル
香港ドル	借入金	56.0百万香港ドル
米ドル	借入金	77.4百万米ドル

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- () 2026年6月30日に終了した中間会計期間の財務書類に反映されなかった、2026年6月30日に終了した中間会計期間後の当行グループ及び当行の負債性証券の変動は以下の通りである。（続き）

(b) 劣後債務

当行の30.0十億マレーシア・リンギットのスクーク・プログラムに基づくTier 2 劣後スクーク・ムラバハの償還¹

償還	第1回繰上償還日	満期日	額面価額	内容	期間
償還	2026年8月5日	2031年8月5日	3.0十億マレーシア・リンギット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(10ノンコール5)	10年

¹ 当該劣後スクークは、第1回繰上償還日に全額償還された。

当行の30.0十億マレーシア・リンギットのスクーク・プログラムに基づくTier 2 劣後スクーク・ムラバハの発行

発行	発行日	第1回繰上償還日	満期日	額面価額	内容	期間
発行	2026年8月11日	2031年8月11日	2036年8月11日	400.0百万マレーシア・リンギット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(10ノンコール5)	10年
発行	2026年8月11日	2033年8月11日	2038年8月11日	1,800.0百万マレーシア・リンギット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(12ノンコール7)	12年
発行	2026年8月11日	2036年8月11日	2041年8月11日	1,200.0百万マレーシア・リンギット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(15ノンコール10)	15年
発行	2026年8月11日	2038年8月11日	2043年8月11日	1,400.0百万マレーシア・リンギット	Tier 2 劣後スクーク・ムラバハ(17ノンコール12)	17年

A9. 支払配当金

2026年6月30日に終了した中間会計期間の支払配当金は以下の通りである。

- (a) 2026年2月26日に当行は、2025年12月31日に終了した会計年度に係る、普通株式一株当たり33.0マレーシア・センの第2回シングルTier中間現金配当を宣言した。

33.0マレーシア・センの第2回シングルTier中間現金配当金（3,986,764,754マレーシア・リンギット）は2026年3月26日に支払われた。

- (b) 2026年6月30日に終了した中間会計期間において、メイバンクの子会社から非支配持分へ7,064,000マレーシア・リンギットの配当金が支払われた。

A10. 金融投資ポートフォリオ

注記	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当初認識時に純損益を通じて 公正価値で測定するものと して指定された金融資産	() 12,306,721	12,905,693	-	-
純損益を通じて公正価値で測 定する金融投資	() 45,991,787	46,066,479	21,150,777	21,483,165
その他の包括利益を通じて公 正価値で測定する金融投資	() 113,882,819	116,964,234	62,874,002	65,619,846
償却原価で測定する金融投資	() 93,657,893	80,786,440	80,025,095	67,965,825
	<u>265,839,220</u>	<u>256,722,846</u>	<u>164,049,874</u>	<u>155,068,836</u>

注記 (iii) 及び (iv) には、2025年12月31日に終了した会計年度に、グループ投資管理フレームワーク (「GIMF」) が導入され、MFRS第9号「金融商品」に基づく金融資産を管理する事業モデルが変更されたことによる影響が含まれている。

() 当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定する(FVTPL)ものとして指定された金融資産

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	407,189	260,936	-	-
マレーシア政府投資証券	660,965	859,069	-	-
譲渡性イスラム預金証書	127,096	20,161	-	-
	<u>1,195,250</u>	<u>1,140,166</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
上場証券:				
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ローン・ストック	-	13,952	-	-
	<u>-</u>	<u>13,952</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
社債及びスクーク	10,881,618	11,485,186	-	-
マレーシア国外:				
社債及びスクーク	229,853	266,389	-	-
	<u>11,111,471</u>	<u>11,751,575</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
当初認識時にFVTPLとして指定され た金融資産合計	<u>12,306,721</u>	<u>12,905,693</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

()純損益を通じて公正価値で測定する(「FVTPL」)金融投資

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	1,254,811	2,528,403	1,234,633	2,507,234
マレーシア政府投資証券	1,253,385	1,493,517	957,975	1,264,664
カガマス債	140,634	130,592	-	-
外国政府証券	3,649,376	4,870,749	2,930,238	3,766,203
マレーシア政府短期証券	3,392,063	3,320,854	2,498,061	2,469,262
マレーシア中央銀行手形	161,963	-	161,963	-
	<u>9,852,232</u>	<u>12,344,115</u>	<u>7,782,870</u>	<u>10,007,363</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、投資信託、ロー ン・ストック	5,422,582	6,160,492	761,135	820,950
ユニット・トラスト	857,662	459,531	722,671	348,815
マレーシア国外:				
株式、ワラント、投資信託、ロー ン・ストック	9,511,026	11,588,139	2,287,242	3,954,763
ユニット・トラスト	1,581,280	1,927,215	-	324,802
社債及びスクーク	2,688,586	2,586,485	-	-
政府債	144,740	100,564	-	-
政府短期証券	6,290	22,101	-	-
	<u>20,212,166</u>	<u>22,844,527</u>	<u>3,771,048</u>	<u>5,449,330</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式	1,057,925	1,057,925	832,443	832,443
ユニット・トラスト	3,306,770	2,495,629	-	-
社債及びスクーク	2,237,756	2,577,825	984,787	1,217,334
仕組預金	196,018	131,566	-	-
マレーシア国外:				
株式	698	12,966	-	-
ユニット・トラスト	249,112	179,824	-	-
投資信託	660,995	253,477	-	-
社債及びスクーク	739,490	319,460	301,004	127,530
政府債	7,478,625	3,849,165	7,478,625	3,849,165
	<u>15,927,389</u>	<u>10,877,837</u>	<u>9,596,859</u>	<u>6,026,472</u>
FVTPL金融投資合計	<u>45,991,787</u>	<u>46,066,479</u>	<u>21,150,777</u>	<u>21,483,165</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(「FVOCI」)金融投資

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	9,100,658	10,848,647	8,853,532	10,545,981
マレーシア政府投資証券	15,857,205	17,973,658	6,098,078	7,270,308
譲渡性預金商品	772,101	204,813	330,174	-
外国政府証券	10,409,920	11,013,717	2,877,592	2,711,057
外国政府短期証券	2,870,779	4,799,020	155,579	1,279,699
カガマス債	622,742	571,186	622,742	571,186
	<u>39,633,405</u>	<u>45,411,041</u>	<u>18,937,697</u>	<u>22,378,231</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ローン・スツ ク	753,972	715,093	301,935	349,900
社債及びスクーク	-	17,796	-	21,377
マレーシア国外:				
社債及びスクーク	4,025,979	3,840,637	-	-
政府債	1,395,466	1,238,310	-	-
	<u>6,175,417</u>	<u>5,811,836</u>	<u>301,935</u>	<u>371,277</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式及びローン・ストック	431,066	433,457	423,879	423,778
政府債	156,504	219,173	156,504	219,173
社債及びスクーク	35,906,942	37,634,336	15,260,367	17,903,127
マレーシア国外:				
株式	3,928	4,075	-	-
投資信託	-	2,668	-	-
政府債	15,541,265	13,127,235	15,089,553	12,715,765
社債及びスクーク	16,034,292	14,320,413	12,704,067	11,608,495
	<u>68,073,997</u>	<u>65,741,357</u>	<u>43,634,370</u>	<u>42,870,338</u>
FVOCI金融投資合計	<u>113,882,819</u>	<u>116,964,234</u>	<u>62,874,002</u>	<u>65,619,846</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(「FVOCI」)金融投資(続き)

(a) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2026年 6 月30日現在				千マレーシア・ リンギット
2026年 1 月 1 日現在	60,918	300,882	-	361,800
引当金の再測定純額	2,207	(297,733)	-	(295,526)
新たに組成又は購入した金融資産	2,346	3,772	-	6,118
認識が中止された金融資産	(2,286)	(1,999)	-	(4,285)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(678)	(563)	-	(1,241)
為替換算差額	(2,012)	-	-	(2,012)
2026年 6 月30日現在	60,495	4,359	-	64,854

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2025年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2025年 1 月 1 日現在	55,001	7,862	-	62,863
引当金の再測定純額	(4,096)	293,414	-	289,318
新たに組成又は購入した金融資産	18,440	-	-	18,440
認識が中止された金融資産	(11,015)	(396)	-	(11,411)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(383)	-	-	(383)
為替換算差額	2,971	2	-	2,973
2025年12月31日現在	60,918	300,882	-	361,800

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(「FVOCI」)金融投資(続き)

(a) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	13,206	2,460	-	15,666
引当金の再測定純額	956	-	-	956
新たに組成又は購入した金融資産	789	-	-	789
認識が中止された金融資産	(1,616)	(2)	-	(1,618)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(113)	(563)	-	(676)
為替換算差額	(76)	-	-	(76)
2026年 6 月30日現在	13,146	1,895	-	15,041

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2025年12月31日現在				
2025年 1 月 1 日現在	12,488	6,221	-	18,709
引当金の再測定純額	(5,156)	(3,748)	-	(8,904)
新たに組成又は購入した金融資産	6,026	-	-	6,026
認識が中止された金融資産	(5,174)	(14)	-	(5,188)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(57)	-	-	(57)
為替換算差額	5,079	1	-	5,080
2025年12月31日現在	13,206	2,460	-	15,666

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 償却原価で測定する金融投資

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
償却原価で測定（減損損失控除後）				
マネーマーケット商品：				
マレーシア政府証券	12,124,985	9,698,036	12,124,885	9,697,936
マレーシア政府投資証券	19,254,043	15,423,604	6,890,435	5,826,837
外国政府証券	19,330,392	17,074,965	10,677,652	9,792,640
カザナ債	76,709	75,104	76,709	75,104
カガマス債	25,253	25,323	25,253	25,323
外国政府短期証券	82,580	111,693	82,580	111,693
譲渡性預金商品	-	-	10,377,006	-
	<u>50,893,962</u>	<u>42,408,725</u>	<u>40,254,520</u>	<u>25,529,533</u>
非上場証券：				
マレーシア国内：				
社債及びスクーク	22,553,246	21,486,637	20,860,452	26,033,823
政府債	143,284	169,244	143,284	169,244
マレーシア国外：				
社債及びスクーク	6,621,470	5,459,396	6,655,732	5,496,717
政府債	13,520,230	11,380,037	12,142,778	10,770,984
	<u>42,838,230</u>	<u>38,495,314</u>	<u>39,802,246</u>	<u>42,470,768</u>
減損損失引当金	(74,299)	(117,599)	(31,671)	(34,476)
償却原価で測定する金融投資合計	<u>93,657,893</u>	<u>80,786,440</u>	<u>80,025,095</u>	<u>67,965,825</u>

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2026年 6月30日現在				
2026年 1月 1日現在	43,092	65,278	9,229	117,599
ステージ 3 への移動	-	(53,231)	53,231	-
引当金の再測定純額	679	(7,044)	(33,605)	(39,970)
新たに組成又は購入した金融資産	10,826	-	-	10,826
認識が中止された金融資産	(11,778)	-	-	(11,778)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(2,202)	-	-	(2,202)
為替換算差額	(176)	-	-	(176)
2026年 6月30日現在	<u>40,441</u>	<u>5,003</u>	<u>28,855</u>	<u>74,299</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 償却原価で測定する金融投資 (続き)

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2025年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2025年 1 月 1 日現在	34,225	15,962	1,080,950	1,131,137
引当金の再測定純額	20,124	49,926	486,470	556,520
新たに組成又は購入した金融資産	12,147	-	-	12,147
認識が中止された金融資産	(17,141)	(105)	-	(17,246)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(143)	-	-	(143)
貸倒償却額	-	-	(1,558,191)	(1,558,191)
為替換算差額	(6,120)	(505)	-	(6,625)
2025年12月31日現在	43,092	65,278	9,229	117,599

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2026年 6 月30日現在				千マレーシア・ リンギット
2026年 1 月 1 日現在	22,428	12,048	-	34,476
引当金の再測定純額	7,621	(7,044)	-	577
新たに組成又は購入した金融資産	9,516	-	-	9,516
認識が中止された金融資産	(11,066)	-	-	(11,066)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(1,788)	-	-	(1,788)
為替換算差額	(44)	-	-	(44)
2026年 6 月30日現在	26,667	5,004	-	31,671

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2025年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2025年 1 月 1 日現在	19,771	10,504	-	30,275
引当金の再測定純額	11,447	2,049	-	13,496
新たに組成又は購入した金融資産	9,715	-	-	9,715
認識が中止された金融資産	(12,540)	-	-	(12,540)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(143)	-	-	(143)
為替換算差額	(5,822)	(505)	-	(6,327)
2025年12月31日現在	22,428	12,048	-	34,476

A11. 貸出金及びその他の債権

	注記	当行グループ		当行	
		2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
金融機関向貸出金及びその他の債権	()	552,384	907,213	43,057,333	49,564,603
顧客向貸出金及びその他の債権	()	686,393,882	676,981,380	222,878,229	221,415,399
		<u>686,946,266</u>	<u>677,888,593</u>	<u>265,935,562</u>	<u>270,980,002</u>
() 金融機関向貸出金及びその他の債権 [△] :					
(A) 償却原価で測定する金融機関向 貸出金及びその他の債権		553,671	908,905	43,191,587	49,713,728
(B) その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融機関向貸出金及 びその他の債権		-	-	-	-
金融機関向貸出金及びその他の債権総 額		<u>553,671</u>	<u>908,905</u>	<u>43,191,587</u>	<u>49,713,728</u>
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金:					
- ステージ 1 -12カ月ECL		(1,250)	(1,661)	(26,550)	(36,072)
- ステージ 2 -全期間ECL(信用減損 なし)		(37)	(31)	(9,149)	(13,267)
- ステージ 3 -全期間ECL(信用減損 あり)		-	-	(98,555)	(99,786)
金融機関向貸出金及びその他の債権純 額		<u>552,384</u>	<u>907,213</u>	<u>43,057,333</u>	<u>49,564,603</u>
() 顧客向貸出金及びその他の債権:					
(A) その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する顧客向貸出金及びそ の他の債権		31,609,880	30,288,409	35,096,550	35,715,653
(B) 償却原価で測定する顧客向貸出金 及びその他の債権		737,857,911	732,415,098	191,524,469	189,702,261
		<u>769,467,791</u>	<u>762,703,507</u>	<u>226,621,019</u>	<u>225,417,914</u>
前受利息及び前受収益		<u>(74,080,603)</u>	<u>(77,063,623)</u>	<u>(964,639)</u>	<u>(1,082,328)</u>
顧客向貸出金及びその他の債権総額		<u>695,387,188</u>	<u>685,639,884</u>	<u>225,656,380</u>	<u>224,335,586</u>
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金:					
- ステージ 1 -12カ月ECL		(1,923,317)	(2,099,634)	(755,150)	(864,368)
- ステージ 2 -全期間ECL(信用減損 なし)		(3,526,882)	(3,412,665)	(1,215,515)	(1,363,852)
- ステージ 3 -全期間ECL(信用減損 あり)		(3,543,107)	(3,146,205)	(807,486)	(691,967)
顧客向貸出金及びその他の債権純額		<u>686,393,882</u>	<u>676,981,380</u>	<u>222,878,229</u>	<u>221,415,399</u>
() 及び					
貸出金及びその他の債権純額	()	<u>686,946,266</u>	<u>677,888,593</u>	<u>265,935,562</u>	<u>270,980,002</u>

△ 当行の金融機関向貸出金及び債権には、当行の子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッド（「MIB」）に対する制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）に基づく融資が、予想信用損失控除後で43,057.3百万マレーシア・リンギット含まれている（2025年12月31日現在：48,341.8百万マレーシア・リンギット）。RPSIAはムダラバの原則に基づき融資を行うために二者間で締結される契約であり、当該契約において、当行はMIBに資本を提供する投資家としてのみ、その役割を果たし、MIBの経営は事業者としてのMIBが行う。当該事業の利益は事前に合意した割合に基づき両者間で分配される。損失が発生した場合は当行が負担する。一方、当行は、COVID-19パンデミックへの対応として導入された政府支援策の一環である政府融資制度に基づき資金を受領していた。当該資金は、適格な中小企業への優遇金利による融資及びCOVID-19関連の救済措置の支援を目的として提供された。当該融資枠の満期は6年であり、2026年6月の満期日に全額返済された（2025年12月31日現在：1,099.7百万マレーシア・リンギット）。

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

() 金融機関及び顧客向貸出金及びその他の債権 :

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
金融機関向貸出金及び債権	553,671	908,905	43,191,587	49,713,728
当座貸越/キャッシングローン	19,144,328	19,393,409	5,909,311	5,913,068
タームローン :				
-住宅ローン	247,036,218	235,771,850	48,828,850	48,516,581
-シンジケートローン	46,568,583	45,637,526	41,357,700	40,561,192
-分割払債権	102,663,318	102,074,012	10,123,861	10,848,046
-リース債権	3,903,056	3,949,474	-	-
-その他の貸出金及び債権	234,312,079	241,844,337	58,295,636	60,322,897
クレジットカード債権	13,367,469	13,561,977	8,382,765	8,530,282
受取手形	9,977,869	9,912,717	9,283,390	9,144,471
貨物貸渡	2,462,505	1,862,059	1,805,540	1,196,612
為替引受信用状	13,072,643	12,930,321	5,080,994	4,982,459
リボルビングクレジット	63,954,278	62,831,381	34,414,440	32,180,318
株式信用取引	8,298,843	8,187,210	2,679,880	2,740,331
従業員向貸出	4,645,471	4,683,474	457,727	480,575
貸出金 :				
-当行役員向貸出	3,543	3,373	842	809
-子会社役員向貸出	3,028	4,419	62	262
その他	54,560	55,968	21	11
	770,021,462	763,612,412	269,812,606	275,131,642
前受利息及び前受収益	(74,080,603)	(77,063,623)	(964,639)	(1,082,328)
貸出金及びその他の債権総額	695,940,859	686,548,789	268,847,967	274,049,314
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金 :				
-ステージ 1 -12カ月ECL	(1,924,567)	(2,101,295)	(781,700)	(900,440)
-ステージ 2 -全期間ECL(信用減損なし)	(3,526,919)	(3,412,696)	(1,224,664)	(1,377,119)
-ステージ 3 -全期間ECL(信用減損あり)	(3,543,107)	(3,146,205)	(906,041)	(791,753)
貸出金及びその他の債権純額	686,946,266	677,888,593	265,935,562	270,980,002

() 顧客種類別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
国内金融機関	747,643	1,245,362	47,496,838	53,232,023
国内ノンバンク金融機関	30,291,619	28,155,487	15,270,121	14,160,580
国内事業会社 :				
-中小企業	112,051,739	118,877,716	31,787,025	34,966,800
-その他	115,425,985	109,074,448	60,872,209	61,289,675
政府及び特殊法人	16,779,792	17,232,937	41,013	39,517
個人	354,091,212	349,880,587	64,292,048	65,249,954
その他の国内企業	16,852,384	18,121,616	4,500,512	5,768,630
外国企業	49,700,485	43,960,636	44,588,201	39,342,135
貸出金及びその他の債権総額	695,940,859	686,548,789	268,847,967	274,049,314

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()地域別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リングギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リングギット
マレーシア	451,684,128	444,308,574	168,753,514	175,161,507
シンガポール	174,951,096	174,287,704	72,200,409	73,665,168
インドネシア	30,750,212	31,377,014	-	-
ラプアン オフショア	8,467,344	8,783,544	8,466,903	8,783,096
香港	11,685,182	9,201,515	11,219,205	8,745,970
米国	779,710	770,438	779,710	770,438
中国	5,441,875	5,322,382	5,441,875	5,322,382
ベトナム	1,465,456	1,084,554	681,006	262,665
英国	889,214	916,907	889,152	916,872
ブルネイ	375,789	388,428	375,789	388,428
カンボジア	4,685,393	4,829,805	-	-
フィリピン	3,647,590	3,857,668	-	-
タイ	1,077,466	1,387,468	-	-
ラオス	11,686	12,402	11,686	12,402
ミャンマー	28,718	20,386	28,718	20,386
貸出金及びその他の債権総額	<u>695,940,859</u>	<u>686,548,789</u>	<u>268,847,967</u>	<u>274,049,314</u>

()金利/利益率感応度別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リングギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リングギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リングギット
固定金利:				
-住宅ローン	38,694,836	42,531,257	262,512	264,133
-分割払債権	79,902,701	79,792,831	8,458,667	8,776,508
-その他の固定金利貸出金及び債権	90,714,335	92,297,904	69,896,578	78,631,270
変動金利:				
-基準金利型貸出	290,643,209	276,386,830	77,002,236	73,605,885
-スプレッド型貸出	33,763,401	33,111,130	12,079,455	11,473,072
-その他の変動利率	162,222,377	162,428,837	101,148,519	101,298,446
貸出金及びその他の債権総額	<u>695,940,859</u>	<u>686,548,789</u>	<u>268,847,967</u>	<u>274,049,314</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()経済目的別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
証券の購入	33,001,206	32,993,791	6,151,328	6,290,962
輸送車両の購入	90,288,532	89,495,635	7,152,838	7,906,852
不動産の購入:				
-住宅	217,755,175	214,538,549	48,992,381	49,099,710
-住宅以外	60,873,194	58,646,502	17,022,601	17,685,976
固定資産の購入(不動産を除く)	2,869,236	2,727,049	1,436,036	1,339,660
個人	17,915,342	14,382,790	3,395,767	3,335,420
クレジットカード	10,450,748	13,625,672	8,368,992	8,524,211
耐久消費財の購入	9,624	11,146	8,121	9,679
建設	14,754,164	14,231,327	7,190,987	7,377,080
合併・買収	2,863,397	2,990,470	2,159,452	2,248,708
運転資金	199,149,137	195,254,217	133,174,038	134,113,686
その他	46,011,104	47,651,641	33,795,426	36,117,370
貸出金及びその他の債権総額	<u>695,940,859</u>	<u>686,548,789</u>	<u>268,847,967</u>	<u>274,049,314</u>

()貸出金及びその他の債権の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
1年以内	172,836,168	149,492,683	110,475,084	88,520,945
1年超3年以内	83,101,580	75,452,732	58,692,906	52,184,599
3年超5年以内	78,319,402	87,474,810	47,247,959	56,590,447
5年超	361,683,709	374,128,564	52,432,018	76,753,323
貸出金及びその他の債権総額	<u>695,940,859</u>	<u>686,548,789</u>	<u>268,847,967</u>	<u>274,049,314</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

() 減損した貸出金及びその他の債権(「減損貸出金等」)の変動は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
1月1日現在	8,810,197	8,325,759	2,860,602	5,619,460
期中減損額	2,626,129	5,168,291	673,442	1,475,848
非減損に分類変更された金額	(395,049)	(456,192)	(91,322)	(116,389)
回収額	(810,481)	(1,653,415)	(283,104)	(1,740,264)
貸倒償却額	(806,571)	(2,233,722)	(156,837)	(2,304,430)
為替換算差額	(62,009)	(340,524)	6,514	(73,623)
2026年6月30日/2025年12月31日現在の減損貸出金等総額	9,362,216	8,810,197	3,009,295	2,860,602
控除：ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)	(4,109,296)	(3,728,727)	(1,192,008)	(1,091,018)
2026年6月30日/2025年12月31日現在の減損貸出金等純額	5,252,920	5,081,470	1,817,287	1,769,584

減損貸出金等純額の割合の算出:

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
2026年6月30日/2025年12月31日現在の減損貸出金等総額				
(投資口座による調達 [*] を除く)	9,362,216	8,810,197	3,009,295	2,860,602
控除：ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)	(4,109,296)	(3,728,727)	(1,192,008)	(1,091,018)
減損貸出金等純額	5,252,920	5,081,470	1,817,287	1,769,584
貸出金及びその他の債権総額	695,940,859	686,548,789	268,847,967	274,049,314
控除：投資口座による調達 [*]	(33,600,275)	(32,782,974)	-	-
控除：償却原価で測定するその他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権に対する引当金	(9,652,295)	(9,399,542)	(3,291,173)	(3,499,762)
貸出金及びその他の債権純額	652,688,289	644,366,273	265,556,794	270,549,552
減損貸出金等純額の割合	0.80%	0.79%	0.68%	0.65%

^{*} 当行の完全子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッドの帳簿上、2026年6月30日現在の制限のない投資口座(グループ企業間債権債務残高控除後)は33,600.3百万マレーシア・リンギット(2025年12月31日現在：32,783.0百万マレーシア・リンギット)であった。

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()経済目的別の減損貸出金等前は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
証券の購入	105,324	111,082	1,729	3,468
輸送車両の購入	763,367	683,801	104,031	91,746
不動産の購入:				
-住宅	1,532,200	1,342,574	424,535	373,486
-住宅以外	970,862	830,270	229,776	224,302
固定資産の購入(不動産を除く)	74,679	74,824	53,411	55,143
個人	223,999	220,713	40,599	41,755
クレジットカード	89,423	88,391	43,428	43,775
耐久消費財の購入	23	133	22	132
建設	398,820	418,678	214,520	239,410
運転資金	4,598,096	4,472,104	1,497,831	1,390,499
その他	605,423	567,627	399,413	396,886
減損貸出金等総額	<u>9,362,216</u>	<u>8,810,197</u>	<u>3,009,295</u>	<u>2,860,602</u>

(xi)地域別の減損貸出金等は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マレーシア	6,062,717	5,561,631	1,988,603	1,858,276
シンガポール	560,471	499,312	60,344	62,004
インドネシア	1,125,927	1,185,107	-	-
ラブアンオフショア	465,122	445,625	465,122	445,625
香港	369,681	366,239	369,672	366,230
中国	121,332	119,477	121,332	119,477
ベトナム	1,190	1,114	-	-
ブルネイ	3,486	8,233	3,486	8,233
カンボジア	416,421	361,007	-	-
フィリピン	204,340	229,301	-	-
タイ	30,793	32,394	-	-
ラオス	96	159	96	159
ミャンマー	640	598	640	598
減損貸出金等総額	<u>9,362,216</u>	<u>8,810,197</u>	<u>3,009,295</u>	<u>2,860,602</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(x) 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	92,540	64,284	582,522	739,346
ステージ 1 への移動	169	(169)	-	-
ステージ 2 への移動	(236)	236	-	-
引当金の再測定純額	(7,846)	(3,467)	(16,559)	(27,872)
新たに組成又は購入した金融資産	13,857	79	-	13,936
認識が中止された金融資産	(12,133)	(43,280)	-	(55,413)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(11,997)	-	-	(11,997)
為替換算差額	(226)	(298)	226	(298)
2026年 6 月30日現在	74,128	17,385	566,189	657,702

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2025年12月31日現在				
2025年 1 月 1 日現在	108,959	40,849	222,406	372,214
ステージ 2 への移動	(15,408)	15,408	-	-
ステージ 3 への移動	-	(7,927)	7,927	-
引当金の再測定純額	(12,061)	3,974	430,999	422,912
新たに組成又は購入した金融資産	42,696	20,038	-	62,734
認識が中止された金融資産	(27,449)	(229)	-	(27,678)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(957)	(7,658)	-	(8,615)
貸倒償却額	-	-	(68,231)	(68,231)
為替換算差額	(3,240)	(171)	(10,579)	(13,990)
2025年12月31日現在	92,540	64,284	582,522	739,346

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	98,103	33,082	299,265	430,450
ステージ 1 への移動	169	(169)	-	-
ステージ 2 への移動	(236)	236	-	-
引当金の再測定純額	(8,066)	(3,467)	(13,524)	(25,057)
新たに組成又は購入した金融資産	13,747	79	-	13,826
認識が中止された金融資産	(16,442)	(12,078)	-	(28,520)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(11,630)	-	-	(11,630)
為替換算差額	(229)	(298)	226	(301)
2026年 6 月30日現在	75,416	17,385	285,967	378,768

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(x) 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

その他の包括利益を通じて公正価値で測定(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2025年12月31日現在				
2025年1月1日現在	109,468	15,078	222,406	346,952
ステージ2への移動	(15,408)	15,408	-	-
ステージ3への移動	-	(7,927)	7,927	-
引当金の再測定純額	(9,342)	3,944	147,742	142,344
新たに組成又は購入した金融資産	38,278	6,737	-	45,015
認識が中止された金融資産	(21,973)	-	-	(21,973)
モデル/リスク・パラメーターの変動	282	-	-	282
貸倒償却額	-	-	(68,231)	(68,231)
為替換算差額	(3,202)	(158)	(10,579)	(13,939)
2025年12月31日現在	98,103	33,082	299,265	430,450

償却原価で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2026年6月30日現在				
2026年1月1日現在	2,101,295	3,412,696	3,146,205	8,660,196
ステージ1への移動	289,332	(225,612)	(63,720)	-
ステージ2への移動	(61,277)	151,720	(90,443)	-
ステージ3への移動	(56,545)	(199,840)	256,385	-
引当金の再測定純額	(389,912)	521,966	1,199,603	1,331,657
新たに組成又は購入した金融資産	311,817	94,930	-	406,747
認識が中止された金融資産	(198,132)	(172,499)	(45,974)	(416,605)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(61,895)	(44,057)	(16,064)	(122,016)
貸倒償却額	-	-	(806,571)	(806,571)
為替換算差額	(10,116)	(12,385)	(36,314)	(58,815)
2026年6月30日現在	1,924,567	3,526,919	3,543,107	8,994,593

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2025年12月31日現在				
2025年1月1日現在	1,874,360	3,448,452	4,872,075	10,194,887
ステージ1への移動	418,071	(384,289)	(33,782)	-
ステージ2への移動	(107,223)	192,817	(85,594)	-
ステージ3への移動	(35,536)	(339,858)	375,394	-
引当金の再測定純額	116,068	724,159	576,868	1,417,095
新たに組成又は購入した金融資産	495,868	197,442	-	693,310
認識が中止された金融資産	(349,881)	(259,178)	(136,157)	(745,216)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(253,269)	(117,794)	(28,321)	(399,384)
貸倒償却額	-	-	(2,165,491)	(2,165,491)
為替換算差額	(57,163)	(49,055)	(228,787)	(335,005)
2025年12月31日現在	2,101,295	3,412,696	3,146,205	8,660,196

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(x) 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定(続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	900,440	1,377,119	791,753	3,069,312
ステージ 1 への移動	114,668	(59,774)	(54,894)	-
ステージ 2 への移動	(16,041)	42,528	(26,487)	-
ステージ 3 への移動	(43,773)	(74,603)	118,376	-
引当金の再測定純額	(179,031)	(45,881)	219,786	(5,126)
新たに組成又は購入した金融資産	107,558	41,734	-	149,292
認識が中止された金融資産	(96,540)	(53,423)	(11,264)	(161,227)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(11,370)	(3,340)	21,771	7,061
貸倒償却額	-	-	(156,837)	(156,837)
為替換算差額	5,789	304	3,837	9,930
2026年 6 月30日現在	781,700	1,224,664	906,041	2,912,405

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	
2025年12月31日現在				
2025年 1 月 1 日現在	902,507	999,939	3,443,904	5,346,350
ステージ 1 への移動	133,349	(122,367)	(10,982)	-
ステージ 2 への移動	(31,697)	49,683	(17,986)	-
ステージ 3 への移動	(8,413)	(97,208)	105,621	-
引当金の再測定純額	92,765	608,879	(397,151)	304,493
新たに組成又は購入した金融資産	165,394	52,153	-	217,547
認識が中止された金融資産	(179,676)	(53,509)	(51,219)	(284,404)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(163,673)	(52,653)	(24)	(216,350)
貸倒償却額	-	-	(2,236,198)	(2,236,198)
為替換算差額	(10,116)	(7,798)	(44,212)	(62,126)
2025年12月31日現在	900,440	1,377,119	791,753	3,069,312

A12. 保険契約/タカフル証書の資産/負債及び再保険契約/再タカフル証書の資産/負債

	当行グループ	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
保険契約資産/タカフル証書資産	88,640	103,165
保険契約負債/タカフル証書負債	(48,523,169)	(47,093,930)
保険契約負債/タカフル証書負債、純額	() (48,434,529)	(46,990,765)
再保険契約資産/再タカフル証書資産	4,891,557	5,274,445
再保険契約負債/再タカフル証書負債	(10,066)	(32,762)
再保険契約資産/再タカフル証書資産、純額	() 4,881,491	5,241,683

() 保険契約/タカフル証書

	当行グループ	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
残存カバー	(35,331,309)	(34,167,352)
- 損失要素以外	(34,264,769)	(33,131,977)
- 損失要素	(1,066,540)	(1,035,375)
発生保険金	(13,103,220)	(12,823,413)
	(48,434,529)	(46,990,765)

() 再保険契約/再タカフル証書

	当行グループ	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
残存カバー	1,413,453	1,605,300
- 損失要素以外	1,327,506	1,509,728
- 損失要素	85,947	95,572
発生保険金の回収可能額	3,468,038	3,636,383
	4,881,491	5,241,683

A13. その他の資産

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
その他の債務者からの未収金、減損損失引当				
金控除後	16,074,997	13,216,093	13,894,261	11,498,420
ブローカー及び顧客からの未収金	8,188,396	2,412,808	-	-
前払金及び保証金	1,093,458	907,635	200,381	178,163
未収還付税	482,355	496,872	246,666	151,336
差押不動産、減損損失引当金控除後	270,961	282,934	-	-
	26,110,167	17,316,342	14,341,308	11,827,919

A14. 顧客預金

(i)預金種類別

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
定期預金及び譲渡性預金商品				
- 1年以内	322,218,382	328,452,721	150,516,719	153,739,657
- 1年超	5,514,909	6,352,598	1,797,788	2,246,265
	327,733,291	334,805,319	152,314,507	155,985,922
市場金利連動型預金	96,539,334	95,492,538	27,129,878	22,419,200
貯蓄預金	106,199,329	104,407,413	35,110,937	33,971,802
要求払預金	170,448,119	163,504,957	90,132,317	87,969,854
	700,920,073	698,210,227	304,687,639	300,346,778

()顧客種類別

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
事業会社	309,369,744	381,059,650	171,650,578	164,707,110
個人	266,653,662	178,892,999	83,137,447	84,351,940
政府及び特殊法人	47,480,102	73,255,845	18,924,012	20,098,106
その他	77,416,565	65,001,733	30,975,602	31,189,622
	700,920,073	698,210,227	304,687,639	300,346,778

()定期預金及び譲渡性預金商品の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
6カ月以内	252,541,873	274,106,522	125,976,586	131,655,895
6カ月超1年以内	69,676,509	54,346,199	24,540,133	22,083,762
1年超3年以内	4,742,350	5,570,560	1,227,656	1,679,783
3年超5年以内	345,913	299,529	143,486	83,973
5年超	426,646	482,509	426,646	482,509
	327,733,291	334,805,319	152,314,507	155,985,922

A15. 金融機関預り金

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
認可銀行	45,804,544	39,413,542	70,023,411	67,431,002
認可金融会社	387,000	1,274,849	387,000	1,274,849
認可投資銀行	1,308,141	749,158	1,308,141	749,157
その他の金融機関	1,396,928	1,149,780	555,469	433,610
	<u>48,896,613</u>	<u>42,587,329</u>	<u>72,274,021</u>	<u>69,888,618</u>

金融機関からの預り金及び満期に関する情報は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
1年以内	44,882,803	38,796,349	68,980,497	66,784,084
1年超	4,013,810	3,790,980	3,293,524	3,104,534
	<u>48,896,613</u>	<u>42,587,329</u>	<u>72,274,021</u>	<u>69,888,618</u>

A16. 純損益を通じて公正価値で測定する（「FVTPL」）金融負債

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
仕組預金	<u>3,585,764</u>	<u>3,046,858</u>	<u>659,009</u>	<u>211,981</u>
借入金				
無担保				
ミディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-米ドル	<u>6,990,660</u>	<u>6,536,879</u>	<u>6,990,660</u>	<u>6,536,879</u>
FVTPL金融負債合計	<u>10,576,424</u>	<u>9,583,737</u>	<u>7,649,669</u>	<u>6,748,860</u>

当行グループ及び当行のFVTPLに指定された仕組預金の契約上の帳簿価額は、2026年6月30日現在、それぞれ3,581,048,000マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：3,026,392,000マレーシア・リンギット）及び671,824,000マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：214,814,000マレーシア・リンギット）であった一方で、当行グループ及び当行のFVTPLに指定された借入金の契約上の帳簿価額は、2026年6月30日現在、14,409,038,000マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：14,023,081,000マレーシア・リンギット）であった。自己の信用リスクの変動に起因する、FVTPL金融負債の公正価値の変動は軽微である。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()借入金				
有担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-ユーロ	2,315,203	-	-	-
-インドネシア・ルピア	662,605	515,928	-	-
-ベトナム・ドン	70,746	70,388	-	-
	<u>3,048,554</u>	<u>586,316</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-ユーロ	2,330,802	4,821,840	-	-
-インドネシア・ルピア	1,527,152	1,671,730	-	-
	<u>3,857,954</u>	<u>6,493,570</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
有担保借入金合計	<u>6,906,508</u>	<u>7,079,886</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
無担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-米ドル	1,067,354	752,428	35,092	34,314
-人民元	1,202,418	1,162,442	1,202,418	1,162,442
-シンガポール・ドル	1,638,732	783,309	927,076	783,309
-タイ・バーツ	512,548	723,727	-	-
-香港ドル	163,430	43,308	134,350	-
-インドネシア・ルピア	913,498	1,160,243	-	-
-ベトナム・ドン	87,454	77,337	-	-
-インド・ルピー	10,784	-	-	-
-マレーシア・リンギット(注記 (a))	<u>5,551,439</u>	<u>5,063,353</u>	<u>5,551,439</u>	<u>4,516,350</u>
	<u>11,147,657</u>	<u>9,766,147</u>	<u>7,850,375</u>	<u>6,496,415</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-米ドル	818,492	810,875	-	-
-インドネシア・ルピア	425,152	243,730	-	-
-マレーシア・リンギット(注記 (a))	<u>806,711</u>	<u>806,711</u>	<u>806,711</u>	<u>806,711</u>
	<u>2,050,355</u>	<u>1,861,316</u>	<u>806,711</u>	<u>806,711</u>

(注記(a))：借入金には、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、市中金利よりも低率の中小企業向け融資に充てるために、政府融資制度に基づいて当行グループ及び当行が受領した金額のうち、期間6年で2026年10月6日を期限としたものが43,220,000マレーシア・リンギット(2025年12月31日現在：42,679,000マレーシア・リンギット)含まれている。この政府制度による資金調達は、中小企業向けの優遇利率での貸出と、COVID-19関連の救済措置を目的としたものである。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
()借入金（続き）				
無担保（続き）				
(b)ミディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-米ドル	-	528,324	-	528,324
-香港ドル	105,191	300,862	105,191	300,862
-日本円	512,305	515,174	512,305	515,174
	<u>617,496</u>	<u>1,344,360</u>	<u>617,496</u>	<u>1,344,360</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-米ドル	8,448,365	5,964,820	8,448,365	5,964,820
-香港ドル	1,071,596	1,104,490	1,071,596	1,104,490
-日本円	455,382	484,484	455,382	484,484
-豪ドル	365,335	355,282	365,335	355,282
-オフショア人民元	131,549	126,175	131,549	126,175
-マレーシア・リングgit	3,162,632	120,185	120,178	120,185
	<u>13,634,859</u>	<u>8,155,436</u>	<u>10,592,405</u>	<u>8,155,436</u>
無担保借入金合計	<u>27,450,367</u>	<u>21,127,259</u>	<u>19,866,987</u>	<u>16,802,922</u>
借入金合計	<u>34,356,875</u>	<u>28,207,145</u>	<u>19,866,987</u>	<u>16,802,922</u>

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
()劣後債務				
無担保				
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-マレーシア・リングgit	13,923,612	14,452,872	13,609,310	14,138,570
	<u>13,923,612</u>	<u>14,452,872</u>	<u>13,609,310</u>	<u>14,138,570</u>

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
()資本性証券				
無担保				
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-マレーシア・リングgit	1,577,246	1,577,087	1,577,246	1,577,087
	<u>1,577,246</u>	<u>1,577,087</u>	<u>1,577,246</u>	<u>1,577,087</u>

A18. その他の負債

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
注記	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
ブローカー及び顧客に対する債務 預り金、その他の債権者に対する債 務及び未払費用	12,087,008	6,655,834	-	-
確定給付年金制度	21,010,490	19,434,901	12,998,112	13,095,212
コミットメント及び偶発事象に対す る引当金	430,175	439,216	-	-
ローン・コミットメント及び金融保 証契約に対する減損損失引当金 ()	21,235	21,236	21,078	21,078
リース負債	276,930	246,718	144,235	129,185
仕組預金	1,879,550	1,925,147	1,378,255	1,309,732
	417,767	392,441	218,708	259,071
	<u>36,123,155</u>	<u>29,115,493</u>	<u>14,760,388</u>	<u>14,814,278</u>

() ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2026年 6月30日現在				
2026年 1月 1 日現在	150,003	33,171	63,544	246,718
ステージ 1 への移動	7,681	(7,492)	(189)	-
ステージ 2 への移動	(3,917)	5,275	(1,358)	-
ステージ 3 への移動	(48)	(659)	707	-
引当金の再測定純額	(20,745)	1,053	69,272	49,580
新たに組成又は購入した信用エク スポージャー	49,907	13,850	-	63,757
認識が中止された信用エクスポ ージャー	(46,705)	(14,610)	(11,806)	(73,121)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(8,377)	(273)	(3)	(8,653)
為替換算差額	(1,215)	(130)	(6)	(1,351)
2026年 6月30日現在	<u>126,584</u>	<u>30,185</u>	<u>120,161</u>	<u>276,930</u>
当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2025年12月31日現在				
2025年 1月 1 日現在	167,452	99,546	130,799	397,797
ステージ 1 への移動	6,478	(5,966)	(512)	-
ステージ 2 への移動	(9,001)	9,548	(547)	-
ステージ 3 への移動	(91)	(303)	394	-
引当金の再測定純額	(11,999)	(3,945)	(53,902)	(69,846)
新たに組成又は購入した信用エク スポージャー	90,754	18,401	-	109,155
認識が中止された信用エクスポ ージャー	(73,878)	(81,496)	(20,578)	(175,952)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(10,584)	(1,475)	7,904	(4,155)
為替換算差額	(9,128)	(1,139)	(14)	(10,281)
2025年12月31日現在	<u>150,003</u>	<u>33,171</u>	<u>63,544</u>	<u>246,718</u>

A18. その他の負債（続き）

（ ）ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングット	
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	70,982	14,093	44,110	129,185
ステージ 1 への移動	2,346	(2,171)	(175)	-
ステージ 2 への移動	(1,840)	3,198	(1,358)	-
ステージ 3 への移動	(3)	(337)	340	-
引当金の再測定純額	(19,775)	(778)	54,119	33,566
新たに組成又は購入した信用エクスポージャー	20,050	9,873	-	29,923
認識が中止された信用エクスポージャー	(26,083)	(7,422)	(11,803)	(45,308)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(3,234)	-	-	(3,234)
為替換算差額	34	70	(1)	103
2026年 6 月30日現在	42,477	16,526	85,232	144,235

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングット	
2025年12月31日現在				
2025年 1 月 1 日現在	71,192	84,267	74,055	229,514
ステージ 1 への移動	2,643	(2,135)	(508)	-
ステージ 2 への移動	(2,903)	3,126	(223)	-
ステージ 3 への移動	(15)	(8)	23	-
引当金の再測定純額	(2,519)	(4,588)	(17,234)	(24,341)
新たに組成又は購入した信用エクスポージャー	52,078	9,375	-	61,453
認識が中止された信用エクスポージャー	(42,995)	(74,049)	(19,966)	(137,010)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(2,941)	(1,257)	7,934	3,736
為替換算差額	(3,558)	(638)	29	(4,167)
2025年12月31日現在	70,982	14,093	44,110	129,185

[次へ](#)

A19. その他の準備金

その他の準備金の内訳及び変動は以下の通りである。

	分配不能部分					
	資本準備金 千マレーシ ア・ リングット	再評価準備金 千マレーシ ア・ リングット	確定給付準備金 千マレーシ ア・ リングット	ヘッジ準備金 千マレーシ ア・ リングット	保険準備金 千マレーシ ア・ リングット	その他の準備金 千マレーシ ア・ リングット 合計
当行グループ						
2026年 1 月 1 日現在	12,311	(2,688)	143,233	(373,729)	(233,521)	(454,394)
その他の包括(損失)/利益	(4,975)	(1,099)	(1,011)	808	80,122	73,845
確定給付制度の数理計算上の損失	-	-	(1,011)	-	-	(1,011)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	808	-	808
保険事業による金融投資に係る純損益	-	-	-	-	80,122	80,122
資本準備金に係る正味損失	(4,975)	-	-	-	-	(4,975)
再評価準備金に係る正味損失	-	(1,099)	-	-	-	(1,099)
当期包括(損失)/利益合計	(4,975)	(1,099)	(1,011)	808	80,122	73,845
2026年 6 月30日現在	7,336	(3,787)	142,222	(372,921)	(153,399)	(380,549)
	分配不能部分					
	資本準備金 千マレーシ ア・ リングット	再評価準備金 千マレーシ ア・ リングット	確定給付準備金 千マレーシ ア・ リングット	ヘッジ準備金 千マレーシ ア・ リングット	保険準備金 千マレーシ ア・ リングット	その他の準備金 千マレーシ ア・ リングット 合計
当行グループ						
2025年 1 月 1 日現在	12,837	(2,688)	115,055	(379,874)	(196,162)	(450,832)
その他の包括(損失)/利益	(243)	-	4,342	3,295	(82,397)	(75,003)
確定給付制度の数理計算上の利得	-	-	4,342	-	-	4,342
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	3,295	-	3,295
保険事業による金融投資に係る純損益	-	-	-	-	(82,397)	(82,397)
資本準備金に係る正味損失	(243)	-	-	-	-	(243)
当期包括(損失)/利益合計	(243)	-	4,342	3,295	(82,397)	(75,003)
2025年 6 月30日現在	12,594	(2,688)	119,397	(376,579)	(278,559)	(525,835)

[次へ](#)

A20. 受取利息

当行グループ	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
貸出金及びその他の債権	4,364,946	5,091,267	8,794,083	10,375,674
コールローン及び金融機関預け金	173,402	362,668	361,863	748,244
売戻条件付買入金融資産	66,736	119,144	130,569	283,702
FVTPL金融資産	225,843	245,398	464,464	491,446
FVOCI金融投資	985,827	1,110,018	1,975,645	2,242,452
償却原価で測定する金融投資	604,824	574,767	1,161,416	1,108,436
	<u>6,421,578</u>	<u>7,503,262</u>	<u>12,888,040</u>	<u>15,249,954</u>
(プレミアムの償却)/ディスカウントに係る増価、純額	(37,622)	2,658	(81,268)	(4,020)
	<u>6,383,956</u>	<u>7,505,920</u>	<u>12,806,772</u>	<u>15,245,934</u>

当行	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
貸出金及びその他の債権	2,762,579	3,225,952	5,487,405	6,587,227
コールローン及び金融機関預け金	331,088	519,805	682,919	1,052,309
売戻条件付買入金融資産	78,512	134,845	156,467	311,474
FVTPL金融資産	35,964	47,129	77,239	102,339
FVOCI金融投資	636,193	700,235	1,280,656	1,404,288
償却原価で測定する金融投資	525,110	463,663	1,013,002	892,272
	<u>4,369,446</u>	<u>5,091,629</u>	<u>8,697,688</u>	<u>10,349,909</u>
ディスカウントに係る増価、純額	44,905	73,761	72,461	137,073
	<u>4,414,351</u>	<u>5,165,390</u>	<u>8,770,149</u>	<u>10,486,982</u>

2026年6月30日に終了した中間会計期間の受取利息に含まれる減損資産に係る利息は、当行グループにおいては、約144,024,000マレーシア・リンギット（2025年6月30日に終了した期間：132,343,660マレーシア・リンギット）であり、当行においては、約53,990,000マレーシア・リンギット（2025年6月30日に終了した期間：52,099,863マレーシア・リンギット）であった。

A21. 支払利息

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
金融機関預り金	396,269	471,200	740,178	951,889
顧客預金	2,060,471	2,974,187	4,075,244	6,087,034
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	209,467	267,613	415,210	545,042
借入金	283,476	251,813	540,324	521,787
劣後債務	138,795	118,439	276,465	234,558
資本性証券	16,142	16,142	32,108	32,108
仕組預金	8,624	15,021	16,878	28,700
FVTPL金融負債	175,430	218,992	346,013	450,081
	<u>3,288,674</u>	<u>4,333,407</u>	<u>6,442,420</u>	<u>8,851,199</u>

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
金融機関預り金	551,297	755,926	1,089,687	1,489,785
顧客預金	1,359,066	1,880,214	2,678,972	3,848,093
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	244,878	333,126	502,305	726,437
借入金	175,525	140,145	323,162	286,183
劣後債務	121,496	100,625	241,816	197,572
資本性証券	16,142	16,142	32,108	32,108
仕組預金	6,558	11,101	13,122	22,312
FVTPL金融負債	166,776	192,736	327,146	390,610
	<u>2,641,738</u>	<u>3,430,015</u>	<u>5,208,318</u>	<u>6,993,100</u>

A22. 保険/タカフル業務に係る損益

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
保険/タカフル業務に係る収益	2,053,688	2,191,262	4,119,433	4,400,184
保険/タカフル業務に係る費用	(1,402,984)	(1,366,641)	(3,075,671)	(2,714,800)
保有再保険契約/再タカフル証書からの 正味費用	<u>(342,689)</u>	<u>(430,092)</u>	<u>(365,894)</u>	<u>(819,456)</u>
	<u>308,015</u>	<u>394,529</u>	<u>677,868</u>	<u>865,928</u>

A23. 子会社及び関連会社からの配当金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
受取配当金総額:				
子会社	758,929	1,155,072	1,875,648	3,731,564
関連会社	-	744	-	744
	<u>758,929</u>	<u>1,155,816</u>	<u>1,875,648</u>	<u>3,732,308</u>

A24. その他の営業収益

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) 手数料収益:				
コミッション	394,661	303,530	762,176	654,860
サービス料及び手数料	540,748	503,291	1,030,888	937,220
引受手数料	18,474	14,959	33,417	31,379
仲介業務収益	81,572	66,625	173,336	145,317
貸出金及びその他の債権に係る手数料	63,014	69,811	120,396	128,536
	<u>1,098,469</u>	<u>958,216</u>	<u>2,120,213</u>	<u>1,897,312</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味利得	706,715	76,278	949,276	155,538
FVOCI金融投資の処分に係る正味利得	100,130	533,442	323,558	737,265
関連会社持分の希薄化/処分に係る正味損失	-	(1)	-	(270)
みなし支配ストラクチャード・エンティティのストラクチャーの変更に係る正味利得/(損失)	420	(1,178)	420	4,781
	<u>807,265</u>	<u>608,541</u>	<u>1,273,254</u>	<u>897,314</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	162,257	98,707	257,930	154,281
(d) 再評価に係る未実現(損失)/利得:				
当初認識時にFVTPLに指定された金融資産	(3,682)	165,944	(167,246)	231,204
FVTPL金融投資	(49,243)	425,093	(2,138,211)	(340,518)
FVTPL金融負債	(118,934)	621,574	(78,411)	298,186
デリバティブ	676,455	(1,457,878)	2,129,698	(505,430)
	<u>504,596</u>	<u>(245,267)</u>	<u>(254,170)</u>	<u>(316,558)</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算益	258,682	824,553	333,541	1,551,492
デリバティブに係る実現利得	36,862	392,655	230,047	476,129
賃料収入	13,681	12,931	26,622	27,385
有形固定資産処分益	765	178	1,011	729
差押資産処分(損)/益	(8,362)	(5,245)	(7,935)	9,568
投資不動産に係る公正価値調整	(29)	(33)	2,942	(209)
その他	54,956	33,686	57,904	81,319
	<u>356,555</u>	<u>1,258,725</u>	<u>644,132</u>	<u>2,146,413</u>
その他の営業収益合計	<u>2,929,142</u>	<u>2,678,922</u>	<u>4,041,359</u>	<u>4,778,762</u>

A24. その他の営業収益（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) 手数料収益:				
コミッション	282,348	244,573	552,389	505,251
サービス料及び手数料	223,466	241,841	447,435	472,702
引受手数料	-	564	-	12,442
仲介業務収益	806	473	1,225	892
貸出金及びその他の債権に係る手数料	36,747	53,976	70,480	95,459
	<u>543,367</u>	<u>541,427</u>	<u>1,071,529</u>	<u>1,086,746</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味利得	191,847	176,070	261,469	281,247
FVOCI金融投資の処分に係る正味利得	81,750	508,680	282,332	700,946
子会社の資本返還に係る超過	-	-	3,317	-
みなし支配ストラクチャード・エン ティティのストラクチャーの変更に 係る正味利得/(損失)	1,115	(180)	1,115	1,667
	<u>274,712</u>	<u>684,570</u>	<u>548,233</u>	<u>983,860</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	42,403	4,930	43,930	6,130
(d) 再評価に係る未実現(損失)/利得:				
FVTPL金融投資	(457,157)	98,944	(1,819,761)	(127,450)
FVTPL金融負債	(118,934)	621,574	(78,411)	298,186
デリバティブ	710,307	(1,301,319)	1,994,562	(480,681)
	<u>134,216</u>	<u>(580,801)</u>	<u>96,390</u>	<u>(309,945)</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算益	137,565	811,633	198,722	1,476,586
デリバティブに係る実現益	76,154	215,941	219,425	232,709
賃料収入	15,644	16,084	31,010	34,275
有形固定資産処分益/(損)	471	(132)	569	203
その他	51,341	51,960	110,216	103,075
	<u>281,175</u>	<u>1,095,486</u>	<u>559,942</u>	<u>1,846,848</u>
その他の営業収益合計	<u>1,275,873</u>	<u>1,745,612</u>	<u>2,320,024</u>	<u>3,613,639</u>

A25. 保険/タカフル事業による投資/金融に係る純損益

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
発行済保険契約/タカフル証書に係る金融 費用	1,143,278	803,355	1,000,027	995,272
保有再保険契約/再タカフル証書に係る金 融収益	(29,588)	(31,377)	(49,519)	(77,638)
保険/タカフル事業による投資/金融に係 る純損益	<u>1,113,690</u>	<u>771,978</u>	<u>950,508</u>	<u>917,634</u>

A26.一般管理費

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a)人件費				
給料手当及び賞与	1,548,772	1,676,914	3,065,088	3,355,585
社会保険費用	14,428	15,270	29,013	30,819
退職費用	195,341	208,437	384,437	411,231
ESGP費用	37,539	27,012	90,656	53,811
その他人件費関連費用	299,720	324,552	589,346	600,020
	<u>2,095,800</u>	<u>2,252,185</u>	<u>4,158,540</u>	<u>4,451,466</u>
(b)設備費				
有形固定資産の減価償却費	78,449	77,192	154,559	152,336
使用権資産の減価償却費	128,460	123,867	248,672	247,558
無形資産の償却費	70,413	61,980	141,259	124,748
土地及び建物の賃借料	3,921	4,113	8,269	7,463
有形固定資産の保守修繕費	40,287	43,205	87,215	93,458
IT費用	351,969	251,283	656,958	511,190
リース負債に係る金融費用	21,221	23,876	42,351	44,459
その他	3,743	3,337	7,379	8,155
	<u>698,463</u>	<u>588,853</u>	<u>1,346,662</u>	<u>1,189,367</u>
(c)マーケティング費用				
広告宣伝費	38,025	42,734	77,913	98,171
その他	86,199	116,370	186,674	232,461
	<u>124,224</u>	<u>159,104</u>	<u>264,587</u>	<u>330,632</u>
(d)管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	404,146	404,812	763,384	814,530
管理費	119,724	134,648	234,579	266,972
一般経費	243,927	240,111	459,401	443,387
その他	2,862	5,336	7,530	31,640
	<u>770,659</u>	<u>784,907</u>	<u>1,464,894</u>	<u>1,556,529</u>
一般管理費合計	<u>3,689,146</u>	<u>3,785,049</u>	<u>7,234,683</u>	<u>7,527,994</u>
コスト・インカム・レシオ(「CIR」) ¹	<u>49.1%</u>	<u>49.3%</u>	<u>49.5%</u>	<u>48.9%</u>

A26. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a)人件費				
給料手当及び賞与	871,861	953,097	1,688,907	1,853,965
社会保険費用	8,091	8,465	16,360	17,130
退職費用	132,914	147,280	259,698	287,005
ESGP費用	25,226	16,274	55,867	32,482
その他人件費関連費用	173,403	171,917	330,831	307,415
	<u>1,211,495</u>	<u>1,297,033</u>	<u>2,351,663</u>	<u>2,497,997</u>
(b)設備費				
有形固定資産の減価償却費	18,833	17,404	36,583	34,820
使用権資産の減価償却費	35,668	28,005	64,311	56,581
無形資産の償却費	28,846	20,465	57,476	40,623
土地及び建物の賃借料	2,540	1,618	4,995	3,225
有形固定資産の保守修繕費	27,489	27,764	55,193	58,565
IT費用	462,280	425,472	929,875	793,038
リース負債に係る金融費用	12,929	12,815	25,815	22,857
その他	4,165	3,591	8,021	7,706
	<u>592,750</u>	<u>537,134</u>	<u>1,182,269</u>	<u>1,017,415</u>
(c)マーケティング費用				
広告宣伝費	18,366	23,843	38,692	43,708
その他	58,034	87,038	128,934	175,056
	<u>76,400</u>	<u>110,881</u>	<u>167,626</u>	<u>218,764</u>
(d)管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	292,862	278,731	541,595	568,741
管理費	55,568	64,444	111,978	115,183
一般経費	92,775	100,008	174,101	177,436
その他	591	291	3,812	3,869
	<u>441,796</u>	<u>443,474</u>	<u>831,486</u>	<u>865,229</u>
(e)子会社に対する一般管理費の配賦額、 純額	<u>(454,412)</u>	<u>(508,748)</u>	<u>(986,095)</u>	<u>(1,044,389)</u>
一般管理費合計	<u>1,868,029</u>	<u>1,879,774</u>	<u>3,546,949</u>	<u>3,555,016</u>
コスト・インカム・レシオ(「CIR」)¹	<u>49.1%</u>	<u>40.5%</u>	<u>45.7%</u>	<u>32.8%</u>

¹ コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する一般管理費合計の比率として算出される。当該純営業収益は損益計算書上に開示されている純営業収益である。

A27. 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(戻入)/繰入:				
-ステージ1-12カ月ECL、純額	(226,606)	(88,952)	(382,161)	(219,312)
-ステージ2-全期間ECL(信用減損なし)、純額	74,763	219,144	353,692	350,901
-ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)、純額	664,600	467,989	1,178,469	945,648
不良債権償却額	26,769	26,456	53,841	51,680
不良債権回収額	(226,215)	(205,885)	(409,237)	(325,262)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	158	4,647	3,557	3,899
	<u>313,469</u>	<u>423,399</u>	<u>798,161</u>	<u>807,554</u>

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年	2025年	2026年	2025年
	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(戻入)/繰入:				
-ステージ1-12カ月ECL、純額	(172,033)	(60,667)	(230,816)	(143,950)
-ステージ2-全期間ECL(信用減損なし)、純額	(175,171)	136,583	(74,703)	237,654
-ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)、純額	166,596	73,463	259,085	264,261
不良債権償却額	20,470	19,304	40,675	37,840
不良債権回収額	(127,564)	(123,391)	(191,531)	(178,132)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	1,007	2,133	2,385	1,063
	<u>(286,695)</u>	<u>47,425</u>	<u>(194,905)</u>	<u>218,736</u>

A28. 金融投資に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資				
- ステージ1 - 12カ月ECL、純額	1,390	(1,823)	1,589	3,954
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損な し)、純額	(11,946)	4,248	(296,523)	1,884
純額	(10,556)	2,425	(294,934)	5,838
償却原価で測定する金融投資				
- ステージ1 - 12カ月ECL、純額	(6,775)	14,538	(2,475)	13,945
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損な し)、純額	(11,907)	10,008	(7,044)	8,278
- ステージ3 - 全期間ECL(信用減損あ り)、純額	(33,135)	16,197	(33,605)	37,172
純額	(51,817)	40,743	(43,124)	59,395
	(62,373)	43,168	(338,058)	65,233
	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資				
- ステージ1 - 12カ月ECL、純額	697	630	16	1,490
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損な し)、純額	(45)	3,925	(565)	2,416
純額	652	4,555	(549)	3,906
償却原価で測定する金融投資				
- ステージ1 - 12カ月ECL、純額	1,427	3,331	4,283	5,237
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損な し)、純額	(7,044)	9,904	(7,044)	9,399
純額	(5,617)	13,235	(2,761)	14,636
	(4,965)	17,790	(3,310)	18,542

A29. その他の資産及び子会社への投資に関する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) その他の金融資産				
現金及び短期資金				
- ステージ1 - 12ヵ月ECL、純額	(6,711)	3,143	(14,251)	5,497
純額	(6,711)	3,143	(14,251)	5,497
金融機関預け金				
- ステージ1 - 12ヵ月ECL、純額	(535)	2,118	(752)	509
純額	(535)	2,118	(752)	509
売戻条件付買入金融資産				
- ステージ1 - 12ヵ月ECL、純額	(257)	(58)	(166)	(683)
純額	(257)	(58)	(166)	(683)
保険/再保険契約資産及びタカフル/再タカフル証券資産				
- ステージ1 - 12ヵ月ECL、純額	1,258	(592)	2,058	(568)
純額	1,258	(592)	2,058	(568)
その他の資産				
- ステージ1 - 12ヵ月ECL、純額	3,428	(436)	7,422	9,829
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損なし)、純額	3	32	(2)	20
- ステージ3 - 全期間ECL(信用減損あり)、純額	376	4,434	133	14,931
純額	3,807	4,030	7,553	24,780
中央銀行への法定預け金				
- ステージ1 - 12ヵ月ECL、純額	296	(607)	197	(1,343)
純額	296	(607)	197	(1,343)
(b) その他の非金融資産				
その他の非金融資産の減損	(18,218)	-	(18,341)	-
	(20,360)	8,034	(23,702)	28,192

A29. その他の資産及び子会社への投資に関する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額(続き)

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) その他の金融資産				
現金及び短期資金				
- ステージ1-12ヵ月ECL、純額	(1,778)	3,914	(1,715)	3,258
純額	(1,778)	3,914	(1,715)	3,258
金融機関預け金				
- ステージ1-12ヵ月ECL、純額	1,097	1,576	985	301
純額	1,097	1,576	985	301
売戻条件付買入金融資産				
- ステージ1-12ヵ月ECL、純額	(270)	(353)	(76)	(464)
純額	(270)	(353)	(76)	(464)
その他の資産				
- ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)、純額	742	4,248	3,415	15,028
純額	742	4,248	3,415	15,028
(b) 子会社への投資				
子会社への投資の減損	-	150,000	-	150,000
	(209)	159,385	2,609	168,123

A30. セグメント情報

事業セグメント別状況

当行グループのオペレーティングセグメントは、グループ・地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング並びにグループ・保険及びタカフル事業部門である。当行グループでは、当行グループの取締役会及び経営者上層部に提供される情報に基づいて、オペレーティングセグメントを決定し、公表している。

当行グループは、下記の通り、当行グループ内で提供可能なサービス及び商品に基づき、3つのオペレーティングセグメントで構成されている。

(a) グループ・地域金融サービス（「CFS」）

() リテール・バンキング部門

リテール・バンキング部門は、貯蓄預金、定期預金、送金サービス、当座預金、住宅ローンや個人ローンなどの消費者向けローン、割賦金融、ユニット・トラスト、バンカシュアランス商品、クレジットカードなど、地域の個人向けのさまざまな商品及びサービスで構成されている。

() 中小企業（「SME」）向け金融部門

中小企業向け金融部門は、地域の中小企業を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

() ビジネス・バンキング部門

ビジネス・バンキング部門は、地域の事業会社を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

(b) グループ・グローバル・バンキング（「GB」）

() グループ・コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング/グローバル・マーケッツ部門

グループ・コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング/グローバル・マーケッツ部門は、コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング事業及びグローバル・マーケッツ事業で構成されている。

コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング部門は、大企業から公共部門に至るまで、地域の法人顧客に向けた、さまざまな商品及びサービスで構成されている。提供している商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、及び手数料サービスが含まれている。

グローバル・マーケッツ部門は、外国為替、マネーマーケット、デリバティブ、資本市場取引など、資金取引業務やサービスに関連したさまざまな商品及びサービスで構成されている。

A30. セグメント情報(続き)**事業セグメント別状況(続き)****(b)グループ・グローバル・バンキング(「GB」)(続き)****()グループ・投資銀行部門**

投資銀行部門は、投資銀行業務及び証券仲介業務で構成されている。このセグメントでは、主として大手法人顧客及び金融機関のビジネスニーズへの対応に注力している。顧客向けに提供している商品及びサービスには、コーポレート・アドバイザリー業務、債券発行、株式発行、シンジケート方式の買収アドバイザリー業務、債務再編アドバイザリー業務、並びに株式及び先物売買などがある。

()グループ・資産運用部門

資産運用部門は、個人、法人及び機関投資家といった顧客に対し、さまざまな従来型の投資やイスラム金融型の投資におけるソリューションを提供する、資産及びファンド運用業務を手がけている。

(c)グループ・保険及びタカフル事業部門

保険及びタカフル事業部門は、すべての種目の損害保険及び生命保険の引受業務、オフショアの投資生命保険事業、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業から構成されている。

[次へ](#)

A30. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

2026年6月30日に終了した6カ月間	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >						
	グループ・ コーポレート・ アンド・コ マーシャル・バ ンキング/ グループ・ 地域金融 サービス部門 千マレーシ ア・リンギット	グループ・ グローバル・ マーケッツ部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシ ア・リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシ ア・リンギット	グループ・ 保険及び タカフル 事業部門 千マレーシ ア・リンギット	本部及びその 他 千マレーシ ア・リンギット	合計 千マレーシ ア・リンギット
受取/(支払)利息純額							
-外部	3,540,935	2,284,522	271,510	4	805,456	(475,015)	6,427,412
-セグメント間	-	-	(81,020)	1,430	16,530	-	(63,060)
	3,540,935	2,284,522	190,490	1,434	821,986	(475,015)	6,364,352
受取利息/(支払)純額	3,540,935	2,284,522	190,490	1,434	821,986	(475,015)	6,364,352
イスラム金融業務(IFS)からの収益	3,023,870	1,152,540	26,848	-	-	274,553	4,477,811
保険/タカフル事業に係る損益	-	-	-	-	450,103	227,765	677,868
その他の営業収益	2,012,975	1,158,779	825,463	49,083	400,023	(404,964)	4,041,359
営業収益/(費用)合計	8,577,780	4,595,841	1,042,801	50,517	1,672,112	(377,661)	15,561,390
保険/タカフル事業による投資/金融に係る純損益	-	-	-	-	(950,508)	-	(950,508)
純営業収益/(費用)	8,577,780	4,595,841	1,042,801	50,517	721,604	(377,661)	14,610,882
一般管理費	(4,931,095)	(1,537,313)	(631,969)	(51,845)	(82,461)	-	(7,234,683)
減損損失前営業利益/(損失)	3,646,685	3,058,528	410,832	(1,328)	639,143	(377,661)	7,376,199
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(598,762)	(205,230)	5,798	-	33	-	(798,161)
金融投資に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	16,380	323,913	-	-	(2,235)	-	338,058
その他の資産及び関連会社への投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(571)	26,038	547	6	(2,318)	-	23,702
営業利益/(損失)	3,063,732	3,203,249	417,177	(1,322)	634,623	(377,661)	6,939,798
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益/(損失)持分	-	(8,184)	1,310	-	-	-	(6,874)
税金及びザカート前利益/(損失)	3,063,732	3,195,065	418,487	(1,322)	634,623	(377,661)	6,932,924
税金及びザカート							(1,611,764)
税金及びザカート控除後利益							5,321,160
非支配持分							(150,140)
当行株主に帰属する当期利益							5,171,020

A30. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

事業セグメント								
< グループ・グローバル・バンキング >								
グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/					グループ・ 保険及び タカフル		本部及びその 他	合計
グループ・ 地域金融 サービス部門	グループ・ グローバル・ マーケッツ部 門	グループ・ 投資銀行部門	グループ・ 資産運用部門	グループ・ 保険及び タカフル 事業部門	本部及びその 他	合計		
千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	
2026年 6 月30日に終了した 6 カ月間（続き）								
その他の営業収益の主な内 訳:								
手数料収益								
コミッション	734,415	79,383	18,588	67,092	-	(137,302)	762,176	
サービス料及び手数料	703,676	150,045	113,579	50,810	12,977	(199)	1,030,888	
引受手数料	-	-	33,417	-	-	-	33,417	
仲介業務収益	1,225	-	172,111	-	-	-	173,336	
貸出金及びその他の債権 に係る手数料	40,802	74,411	6,514	-	-	(1,331)	120,396	
IBS業務に係る手数料収 益	266,929	125,393	21,053	-	-	1,250	414,625	
一般管理費及び保険/タカ フル事業に係る損益の主 な内訳:								
有形固定資産の減価償却 費	(102,881)	(34,142)	(13,876)	(150)	(11,532)	-	(162,581)	
使用権資産の減価償却費	(167,290)	(47,944)	(26,596)	(1,833)	(8,979)	-	(252,642)	
無形資産の償却費	(103,329)	(31,270)	(3,657)	(42)	(11,424)	-	(149,722)	

A30. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

2025年6月30日に終了した6カ月間*	事業セグメント							合計
	< グループ・グローバル・バンキング >					グループ・保険及びタカフル事業部門	本部及びその他	
	グループ・コーポレート・アンド・コマース・バンキングノ	グループ・地域金融	グループ・グローバル・マーケッツ部門	グループ・投資銀行部門	グループ・資産運用部門			
	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
受取/(支払)利息純額								
-外部	3,740,003	2,191,603	260,820	8	825,980	(623,679)	6,394,735	
-セグメント間	-	-	(78,226)	1,576	17,453	59,197	-	
	3,740,003	2,191,603	182,594	1,584	843,433	(564,482)	6,394,735	
受取利息/(支払)純額	3,740,003	2,191,603	182,594	1,584	843,433	(564,482)	6,394,735	
イスラム金融業務(IFS)からの収益	2,811,526	1,186,839	29,329	-	-	247,095	4,274,789	
保険/タカフル事業に係る損益	-	-	-	-	638,747	227,181	865,928	
その他の営業収益	1,766,748	2,121,530	549,291	45,468	113,315	182,410	4,778,762	
営業収益合計	8,318,277	5,499,972	761,214	47,052	1,595,495	92,204	16,314,214	
保険/タカフル事業による投資/金融に係る純損益	-	-	-	-	(917,634)	-	(917,634)	
純営業収益	8,318,277	5,499,972	761,214	47,052	677,861	92,204	15,396,580	
一般管理費	(5,173,226)	(1,620,229)	(565,533)	(53,131)	(115,875)	-	(7,527,994)	
減損損失前営業利益/(損失)	3,145,051	3,879,743	195,681	(6,079)	561,986	92,204	7,868,586	
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(931,180)	124,397	(742)	-	(29)	-	(807,554)	
金融投資に係る減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(27)	(77,429)	-	11,500	723	-	(65,233)	
その他の資産及び関連会社への投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(642)	(24,425)	(2,781)	1	(345)	-	(28,192)	
営業利益	2,213,202	3,902,286	192,158	5,422	562,335	92,204	6,967,607	
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	136,459	1,655	-	-	-	138,114	
税金及びザカート前利益	2,213,202	4,038,745	193,813	5,422	562,335	92,204	7,105,721	
税金及びザカート							(1,760,075)	
税金及びザカート控除後利益							5,345,646	
非支配持分							(128,760)	
当行株主に帰属する当期利益							5,216,886	

* 2025年6月30日現在の数値は、事業セグメントの組織変更を受けて修正再表示されている。

A30. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

< ===== 事業セグメント ===== >
< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >

2025年6月30日に終了した 6カ月間 * (続き)	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/	グループ・ コーポレー ト・アンド・ コマーシャ ル・バンキン グ/
	グループ・ 地域金融 サービス部門 千マレーシ ア・ リンギット	グローバル・ マーケティング部 門 千マレーシ ア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシ ア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシ ア・ リンギット	グループ・ 保険及び タカフル 事業部門 千マレーシ ア・ リンギット	本部及びその 他 千マレーシ ア・ リンギット	合計 千マレーシ ア・ リンギット
その他の営業収益の主な内訳:							
手数料収益							
コミッション	742,581	64,858	24,497	28,769	-	(205,845)	654,860
サービス料及び手数料	597,803	149,618	129,423	38,629	1,646	20,101	937,220
引受手数料	-	12,415	18,936	-	-	28	31,379
仲介業務収益	892	-	144,425	-	-	-	145,317
貸出金及びその他の債権 に係る手数料	33,529	96,817	3,069	-	-	(4,879)	128,536
IBS業務に係る手数料収 益	233,955	114,614	27,600	-	-	1,732	377,901
一般管理費及び保険/タカフル事業に係る損益の主な内訳:							
有形固定資産の減価償却 費	(102,287)	(33,350)	(13,672)	(152)	(8,546)	-	(158,007)
使用権資産の減価償却費	(162,320)	(46,886)	(29,349)	(1,869)	(13,072)	-	(253,496)
無形資産の償却費	(90,049)	(28,927)	(3,227)	(50)	(11,580)	-	(133,833)

* 2025年6月30日現在の数値は、事業セグメントの組織変更を受けて修正再表示されている。

[次へ](#)

A31.再評価された資産の帳簿価額

当行グループ及び当行の有形固定資産は、減価償却累計額及び（該当する場合は）減損損失累計額控除後の取得原価で計上されている。2025年12月31日に終了した前会計年度の監査済財務書類から繰り越された固定資産の評価に変更はなかった。

A32.後発事象

注記A8()及びB6に開示された事象以外に、報告日後に生じた重要性のある後発事象はなかった。

A33.当行グループの構成の変更

2026年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループの構成に重要な変更はなかった。

A34.コミットメント及び偶発事象

通常の業務において、当行グループ及び当行はさまざまなコミットメントを行っており、顧客に対する法的リスクを伴う偶発債務を負うことがある。これらの取引の結果、重要性のある損失は予想されていない。

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク・ウェイト・エクスポージャーは以下の通りである。

	2026年6月30日現在			2025年12月31日現在		
	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*
	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
当行グループ						
偶発債務						
債務履行引受契約	11,569,171	9,029,348	5,220,322	10,634,351	9,548,894	5,613,298
特定の取引に係る偶発項目	17,876,091	8,837,753	5,235,902	17,273,271	8,419,101	4,896,332
短期の貿易関連偶発債務(自己清算型)	5,934,492	874,075	521,387	5,824,359	851,492	439,425
	35,379,754	18,741,176	10,977,611	33,731,981	18,819,487	10,949,055
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	178,306,915	21,578,181	5,165,204	177,449,636	20,220,144	5,046,818
- 1年超	71,285,529	71,182,438	29,590,928	71,933,671	68,347,791	28,234,742
	249,592,444	92,760,619	34,756,132	249,383,307	88,567,935	33,281,560
その他のコミットメント及び偶発事象	13,303,870	1,510,658	107,357	12,189,772	1,796,648	202,151
信用関連コミットメント及び偶発事象合計	298,276,068	113,012,453	45,841,100	295,305,060	109,184,070	44,432,766
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	692,808,331	8,994,153	2,828,749	660,803,712	6,167,894	1,638,165
- 1年以上5年未満	51,288,472	4,262,717	2,030,963	54,467,414	3,995,434	1,865,184
- 5年以上	5,397,965	652,909	424,438	5,159,745	463,296	225,145
	749,494,768	13,909,779	5,284,150	720,430,871	10,626,624	3,728,494
金利関連契約:						
- 1年未満	418,166,363	127,817	51,111	501,650,152	82,120	31,503
- 1年以上5年未満	411,793,056	1,940,677	635,988	417,531,483	2,207,633	831,988
- 5年以上	110,078,360	2,293,558	1,069,869	105,956,340	2,015,806	913,666
	940,037,779	4,362,052	1,756,968	1,025,137,975	4,305,559	1,777,157

A34. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク・ウェイト・エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

	2026年 6月30日現在			2025年12月31日現在		
	コミットメント合	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合	信用相当額*	リスク加重額*
	計	千マレーシア・	千マレーシア・	計	千マレーシア・	千マレーシア・
当行グループ(続き)	千マレーシア・	リンギット	リンギット	千マレーシア・	リンギット	リンギット
デリバティブ金融商品(続						
き)						
エクイティ及びコモディ						
ティ関連契約:						
- 1年未満	28,435,413	2,750,862	591,407	17,411,191	1,085,339	315,475
- 1年以上5年未満	9,333,921	859,032	165,270	10,971,579	693,554	148,272
	37,769,334	3,609,894	756,677	28,382,770	1,778,893	463,747
信用関連契約:						
- 1年未満	12,839	-	-	37,266	-	-
- 1年以上5年未満	6,964	-	-	7,146	-	-
	19,803	-	-	44,412	-	-
トレジャリー関連のコミッ						
トメント及び偶発事象合計	1,727,321,684	21,881,725	7,797,795	1,773,996,028	16,711,076	5,969,398
コミットメント及び偶発事						
象合計	2,025,597,752	134,894,178	53,638,895	2,069,301,088	125,895,146	50,402,164
	2026年 6月30日現在			2025年12月31日現在		
	コミットメント合	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合	信用相当額*	リスク加重額*
	計	千マレーシア・	千マレーシア・	計	千マレーシア・	千マレーシア・
当行	千マレーシア・	リンギット	リンギット	千マレーシア・	リンギット	リンギット
偶発債務						
債務履行引受契約	7,563,412	5,410,291	3,129,698	6,944,213	5,830,587	3,597,818
特定の取引に係る偶発項目	11,031,360	5,480,158	3,209,929	11,005,395	5,504,999	3,257,455
短期の貿易関連偶発債務(自						
己清算型)	5,000,264	665,109	410,571	4,761,669	644,919	343,264
	23,595,036	11,555,558	6,750,198	22,711,277	11,980,505	7,198,537
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	104,327,034	9,428,431	1,891,309	105,652,869	8,845,397	1,911,075
- 1年超	40,017,548	35,716,077	15,741,206	42,040,513	35,037,436	15,885,740
	144,344,582	45,144,508	17,632,515	147,693,382	43,882,833	17,796,815
その他のコミットメント及						
び偶発事象	10,122,590	1,859,613	161,558	9,535,596	2,191,837	219,234
信用関連コミットメント及						
び偶発事象合計	178,062,208	58,559,679	24,544,271	179,940,255	58,055,175	25,214,586
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	696,578,385	8,009,224	2,185,698	677,291,467	5,889,992	1,431,890
- 1年以上5年未満	52,569,398	3,900,937	1,273,288	57,998,204	3,777,689	1,386,582
- 5年以上	3,790,506	658,974	102,682	3,611,970	462,749	133,324
	752,938,289	12,569,135	3,561,668	738,901,641	10,130,430	2,951,796

A34. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク・ウェイト・エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

当行(続き)	2026年6月30日現在			2025年12月31日現在		
	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*
デリバティブ金融商品(続き)	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
金利関連契約:						
- 1年未満	418,339,896	127,023	47,120	501,759,626	81,341	29,908
- 1年以上5年未満	412,973,306	1,928,005	607,498	418,709,712	2,199,714	795,461
- 5年以上	110,031,142	2,276,167	1,057,108	105,924,118	2,009,475	910,330
	941,344,344	4,331,195	1,711,726	1,026,393,456	4,290,530	1,735,699
エクイティ及びコモディティ関連契約:						
- 1年未満	11,255,125	1,309,937	347,869	8,891,520	530,205	129,803
- 1年以上5年未満	9,333,921	859,032	165,270	10,970,289	693,554	148,272
	20,589,046	2,168,969	513,139	19,861,809	1,223,759	278,075
信用関連契約:						
- 1年未満	12,839	-	-	37,266	-	-
- 1年以上5年未満	6,964	-	-	7,146	-	-
	19,803	-	-	44,412	-	-
トレジャリー関連のコミットメント及び偶発債務合計	1,714,891,482	19,069,299	5,786,533	1,785,201,318	15,644,719	4,965,570
コミットメント及び偶発事象合計	1,892,953,690	77,628,978	30,330,804	1,965,141,573	73,699,894	30,180,156

* 信用相当額及びリスク・ウェイト額は、自己資本充実度に係る規制のため、マレーシア中央銀行が定めるクレジット・コンバージョン・ファクター（掛目）及びリスク・ウェイトをそれぞれ使用して算出されている。

() 当行グループ及び当行のデリバティブは、以下の通り、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされている。

市場リスク

デリバティブ取引における市場リスクは、エクイティ、金利、外国為替換算レート、クレジット・スプレッド、コモディティ、又はその他インデックスなどの原資産の価格変動によりこれらの契約の価値が被る潜在的損失のことである。想定元本額もしくは契約金額は、報告日における未決済の取引残高として位置付けられているものであり、リスク量を表すものではない。市場リスクはオンバランスとオフバランスのポジションが相殺されることにより軽減できる場合がある。

信用リスク

信用リスクは、当行及び特定の子会社がカウンターパーティーの債務不履行により予定の利益を回収できなくなる可能性から生じる。当行グループの信用リスクは、収益契約の再構築コストの観点から測定すると、2026年6月30日現在において21,033.0百万マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：17,640.2百万マレーシア・リンギット）であったが、この金額は契約期間にわたり主に満期日と市場レート又は価格の変動との相関により増減する。

流動性リスク

デリバティブ取引における流動性リスクとは、デリバティブ・ポジションが適時に清算できなくなることを指す。流動性リスクに係るエクスポージャーは、原資産が幅広く市場で取引されているデリバティブを締結することで低減される。

A34. コミットメント及び偶発事象(続き)

() 以下については、前会計年度末からの変更はない。

- (a) 締結したデリバティブ金融契約のタイプ、当該契約の締結に関する合理性及びこれらの契約から得られるであろう期待利益
- (b) これらのデリバティブ金融契約に伴うリスクの軽減及び抑制のためのリスク管理方針
- (c) 関連する会計方針

A35. 自己資本充実度

(a) 自己資本充実度フレームワーク

- () マレーシア中央銀行（「BNM」）は、2024年6月14日、従来型の銀行及びイスラム銀行に対し、それぞれ自己資本及び自己資本比率の計算に関する自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（資本構成）の改訂を公表した。すべての金融機関は、以下の最低所要自己資本比率を常に維持しなければならない。

普通株式等Tier1(CET1) 自己資本比率	Tier 1 自己資本比率	総自己資本比率
4.5% [*]	6.0%	8.0%

^{*} さらに、BNM（マレーシア中央銀行）はリスクアセット（以下、「RWA」という。）合計の2.5%の資本保全バッファ及びRWA合計の0%から2.5%の幅のカウンターシクリカル資本バッファを導入している。

- () リスクアセット合計は、2023年12月18日にBNM（マレーシア中央銀行）が公表した従来型の銀行向け自己資本充実度フレームワーク（パーゼル - RWA）及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（RWA）双方に従って、信用リスクに係るRWA、市場リスクに係るRWA、オペレーショナル・リスクに係るRWA及び大口エクスポージャー・リスクに係る要件の合計で算出される。

普通株式等Tier 1 自己資本、Tier 1 自己資本及び総自己資本の計算で控除されるエクスポージャーは、RWA算出における資本賦課の対象とならない。

(b) 自己資本比率の遵守と適用

当行グループ及び当行の自己資本比率は、2024年6月14日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2023年12月18日に公表された自己資本充実度フレームワーク（パーゼル - RWA）に基づいて算出されている。オペレーショナル・リスクについては、2023年12月15日に公表されたBNMの自己資本充実度フレームワーク（オペレーショナル・リスク）を参照している。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 標準的手法に従ったオペレーショナル・リスク
- (D) 大口エクスポージャー・リスクに係る要件

A35. 自己資本充実度（続き）

(b) 自己資本比率の遵守と適用（続き）

エンティティ・レベルでは、当行グループの銀行子会社の自己資本比率の計算は以下の通りである。

- () メイバンク・イスラミック・ベルハッドの自己資本比率は2024年6月14日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）のイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2023年12月18日に公表されたイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク（RWA）に基づいて算出されている。オペレーショナル・リスクについては、2023年12月15日に公表されたBNMの自己資本充実度フレームワーク（オペレーショナル・リスク）を参照している。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 標準的手法に従ったオペレーショナル・リスク
- (D) 大口エクスポージャー・リスクに係る要件

2026年12月31日に終了する当会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%である（2025年：RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%）。

- () メイバンク・インベストメント・バンク・ベルハッドの自己資本比率は、2025年6月14日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2023年12月18日に公表された自己資本充実度フレームワーク（パーゼル - RWA）に基づいて算出されている。オペレーショナル・リスクについては、2023年12月15日に公表されたBNMの自己資本充実度フレームワーク（オペレーショナル・リスク）を参照している。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 標準的手法に従ったオペレーショナル・リスク
- (D) 大口エクスポージャー・リスクに係る要件

2026年12月31日に終了する当会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%である（2025年：RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%）。

- () ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの自己資本比率の算出は、パーゼル資本規制に基づいた、現地における要件に基づいている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出される。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2026年12月31日に終了する会計年度のピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの最低自己資本要件は、RWA合計の9.0%から10.0%未満である（2025年：9.0%から10.0%未満）。

A35. 自己資本充実度（続き）

(b) 自己資本比率の遵守と適用（続き）

- () メイバンク・シンガポール・リミテッドの自己資本比率の算出は、シンガポール金融管理局（「MAS」）公表の2023年9月20日付MAS通達第637号（最新更新日は2025年10月9日）に基づいている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
 (B) 簡易的標準的手法に従った市場リスク
 (C) 標準的手法に従ったオペレーショナル・リスク
 (D) MAS通達第637号に基づき標準的手法を用いたアウトプット・フロア（資本フロア）の算出

2026年12月31日に終了する会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の6.5%、8.0%及び10.0%である（2025年：RWA合計の6.5%、8.0%及び10.0%）。

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率

2013年6月30日の発効以降、DRPにおける普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除されるべき配当予定額は、2013年5月8日（最新更新日は2020年12月9日）に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）に係る実務指針（「実務指針」）によって決定されなければならない。当該実務指針に基づく、DRPの下で配当金の一部（選択可能部分）が再投資される場合、普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除される配当予定額は、以下の場合に減少する可能性がある。

- () 配当の選択可能部分を再投資することについて、株主から取消不能な同意を書面で入手している場合、又は
 () 取消不能な同意が書面で提供されておらず、その額の対象となる直近3年間の受入率の平均が、配当の選択可能部分の合計の50%を超えない場合

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の自己資本比率を算出するにあたって、第1回シングルTier中間配当案は普通株式等Tier 1 自己資本の計算から控除されていない。

上記に基づく当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
選択可能部分控除前				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	15.657%	16.041%	15.686%	15.558%
Tier 1 自己資本比率	16.029%	16.419%	15.922%	15.787%
総自己資本比率	<u>19.413%</u>	<u>19.960%</u>	<u>19.613%</u>	<u>19.599%</u>

A35. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
普通株式等Tier 1 自己資本				
株式資本	55,045,741	54,882,333	55,045,741	54,882,333
株式払込剰余金				
利益剰余金 ¹	28,207,562	28,382,877	19,393,086	20,053,848
その他準備金 ¹	(872,781)	(71,879)	4,324,575	4,177,638
適格非支配持分	115,982	120,750	-	-
規制上の調整前の普通株式等Tier1自己資本	82,496,504	83,314,081	78,763,402	79,113,819
控除：普通株式等Tier 1 自己資本に係る規制上の調整項目：	(13,522,254)	(13,359,699)	(41,502,903)	(41,004,093)
繰延税金資産	(1,512,870)	(1,470,364)	(350,924)	(385,973)
のれん	(4,599,153)	(4,834,154)	(81,015)	(81,015)
その他の無形資産	(1,578,041)	(1,542,398)	(794,694)	(733,986)
「その他の包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類される金融商品に係る利得	(934,386)	(1,103,087)	(687,223)	(686,087)
規制準備金	(2,611,851)	(2,091,415)	(2,020,168)	(1,554,671)
非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体の普通株式への投資額 ²	(2,285,953)	(2,318,281)	(37,568,879)	(37,562,361)
普通株式等Tier 1 自己資本合計	68,974,250	69,954,382	37,260,499	38,109,726
その他Tier 1 自己資本				
資本性証券	1,560,000	1,560,000	1,560,000	1,560,000
第三者が保有する適格普通株式等Tier 1 及びその他Tier 1 資本調達手段	75,816	85,439	-	-
控除：非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体の資本調達手段への投資額	-	-	(1,000,000)	(1,000,000)
Tier 1 自己資本合計	70,610,066	71,599,821	37,820,499	38,669,726
Tier 2 自己資本				
劣後債務	13,450,000	13,950,000	13,450,000	13,950,000
第三者の保有する適格普通株式等Tier 1 並びにその他Tier 1 及びTier 2 資本調達手段	35,500	39,081	-	-
一般引当金 ³	243,312	301,671	33,621	39,114
期待損失の合計額を超える適格引当金合計の超過額	1,870,668	1,842,825	969,584	997,834
控除：非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体の資本調達手段への投資額	(691,000)	(691,000)	(5,685,523)	(5,648,257)
Tier 2 資本合計	14,908,480	15,442,577	8,767,682	9,338,691
資本合計	85,518,546	87,042,398	46,588,181	48,008,417

¹ 当行グループについて、保険及びタカフル事業からの利益剰余金及びその他準備金の額は含まない。

² 当行について、規制上の調整項目には、子会社及び関連会社への投資原価を含むが、事業、資産及び負債が当行に譲渡された、ミフィン・ベルハッドの1マレーシア・リンギットを除く。当行グループについて、規制上の調整項目には、保険/タカフル事業体における関連会社及び投資の簿価を含む。

³ 信用リスクの標準的手法に基づき決定された、信用減損をしないエクスポージャーに起因するもののうち、12カ月及び全期間の予想信用損失モデル及び規制準備金と同額で測定された損失引当金をいう。

A35. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成（続き）

当行グループの自己資本比率は、当行及び子会社の連結勘定残高から算出されるが、保険及びタカフル事業体及び関連会社への投資は含まない。

当行の自己資本比率は、当行から、子会社及び関連会社に対する投資（上記に開示されている、ミフィン・ベルハッドへの投資を除く。）を除いたものから導出されている。

(e) 当行の銀行子会社の自己資本比率は以下の通りである。

	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ベル ハッド	ビーティー・バン ク・メイバンク・ インドネシア・ ティービーケー	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド
2026年 6 月30日現在				
普通株式等Tier 1 自己 資本比率	13.773%	20.588%	-	14.831%
Tier 1 自己資本比率	14.547%	20.588%	-	14.831%
総自己資本比率	<u>17.388%</u>	<u>20.873%</u>	<u>24.320%</u>	<u>17.960%</u>
2025年12月31日現在				
普通株式等Tier 1 自己 資本比率	14.397%	18.671%	-	14.840%
Tier 1 自己資本比率	15.224%	18.671%	-	14.840%
総自己資本比率	<u>18.231%</u>	<u>19.111%</u>	<u>27.291%</u>	<u>18.193%</u>

A35.自己資本充実度（続き）

(f)主要リスク・カテゴリー別のリスクアセットの内訳は以下の通りである。

2026年6月30日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメント・ バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・ バンク・メイバン ク・インドネシア・ ティービーケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ シンガポール・リ ミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケーリング・ファクター考慮 後の内部格付手法エクスポ ージャー	54,110,276	24,803,857	4,429,528	905,889	25,552,376	10,542,027
中央清算機関に対するエク スポージャー	311,777,967	161,597,261	131,487,594	-	-	39,678,453
信用リスクのリスクアセット合 計	632,386	229,506	-	-	-	-
メイバンク及び投資口座保有者 によって吸収される信用リス クのリスクアセット合計 [*]	366,520,629	186,630,624	135,917,122	905,889	25,552,376	50,220,480
市場リスクのリスクアセット合 計	-	-	(23,379,334)	-	-	-
オペレーショナル・リスクのリ スクアセット合計	20,904,784	17,608,180	2,387,058	900,135	1,113,066	876,056
株式保有に係る大口エクスポ ージャー・リスクのリスクア セット	52,194,802	32,399,579	14,262,683	1,022,636	2,667,349	2,479,678
リスクアセット合計	906,366	903,250	-	-	-	-
	440,526,581	237,541,633	129,187,529	2,828,660	29,332,791	53,576,214

2025年12月31日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメント・ バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・ バンク・メイバン ク・インドネシア・ ティービーケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ シンガポール・リ ミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケーリング・ファクター考慮 後の内部格付手法エクスポ ージャー	54,274,492	24,892,382	3,754,067	911,059	24,894,889	10,205,333
中央清算機関に対するエク スポージャー	307,137,565	166,305,591	129,431,598	-	-	38,390,343
信用リスクのリスクアセット合 計	2,159,923	2,062,111	-	-	-	-
メイバンク及び投資口座保有者 によって吸収される信用リス クのリスクアセット合計 [*]	363,571,980	193,260,084	133,185,665	911,059	24,894,889	48,595,676
市場リスクのリスクアセット合 計	-	-	(27,648,122)	-	-	-
オペレーショナル・リスクのリ スクアセット合計	19,824,895	17,678,489	1,768,164	801,981	997,243	849,026
株式保有に係る大口エクスポ ージャー・リスクのリスクア セット	51,786,824	33,103,695	13,623,048	900,759	2,761,109	2,488,441
リスクアセット合計	907,931	905,014	-	-	-	-
	436,091,630	244,947,282	120,928,755	2,613,799	28,653,241	51,933,143

^{*} 投資口座に関するBNM（マレーシア中央銀行）の方針に従って、投資口座（制限のない投資口座と制限付投資口座）による資金に係る信用リスクのリスクアセットは、当行の自己資本比率の計算からは除外されている。

A36. デリバティブ金融商品

下表は、トレーディング目的デリバティブとヘッジ目的保有金融商品の契約金額又は元本金額を要約したものである。これらの商品の元本金額又は契約金額は、報告日現在の取引残高規模を表しており、リスク金額を表したのではない。

デリバティブ金融商品は総額ポジションで再評価され、未実現利得又は損失は「デリバティブ金融商品」の資産と負債にそれぞれ反映されている。

	当行グループ			当行		
	<-----公正価値----->			<-----公正価値----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2026年6月30日現在						
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡取引:						
- 1年未満	113,417,198	1,279,348	(771,061)	79,630,582	872,358	(570,094)
- 1年以上3年以内	3,922,691	35,571	(232,505)	3,875,668	33,990	(232,274)
- 3年超	1,422,060	5,594	(104,550)	1,450,019	5,248	(107,097)
	<u>118,761,949</u>	<u>1,320,513</u>	<u>(1,108,116)</u>	<u>84,956,269</u>	<u>911,596</u>	<u>(909,465)</u>
通貨スワップ:						
- 1年未満	519,381,701	3,716,045	(3,298,032)	555,988,913	3,733,714	(3,269,156)
- 1年以上3年以内	3,004,208	94,457	(56,116)	2,963,945	94,456	(56,116)
- 3年超	830,164	3,510	(39,213)	830,164	3,510	(39,213)
	<u>523,216,073</u>	<u>3,814,012</u>	<u>(3,393,361)</u>	<u>559,783,022</u>	<u>3,831,680</u>	<u>(3,364,485)</u>
通貨スポット:						
- 1年未満	29,774,437	7,949	(8,297)	29,734,643	7,841	(7,732)
通貨オプション:						
- 1年未満	3,683,473	50,284	(73,865)	3,785,873	53,189	(62,485)
- 1年以上3年以内	32,608	451	-	32,608	451	-
	<u>3,716,081</u>	<u>50,735</u>	<u>(73,865)</u>	<u>3,818,481</u>	<u>53,640</u>	<u>(62,485)</u>
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1年未満	26,096,583	607,687	(416,461)	26,983,435	570,211	(442,677)
- 1年以上3年以内	29,276,903	982,224	(597,095)	30,108,575	1,121,208	(745,300)
- 3年超	13,851,747	715,382	(296,124)	12,752,869	701,328	(499,707)
	<u>69,225,233</u>	<u>2,305,293</u>	<u>(1,309,680)</u>	<u>69,844,879</u>	<u>2,392,747</u>	<u>(1,687,684)</u>
金利関連契約						
金利スワップ:						
- 1年未満	412,128,953	458,514	(487,727)	412,523,189	488,201	(503,130)
- 1年以上3年以内	232,691,438	1,410,582	(1,214,888)	233,624,746	1,422,808	(1,233,556)
- 3年超	262,002,883	7,133,396	(9,159,004)	262,202,607	7,142,689	(9,163,710)
	<u>906,823,274</u>	<u>9,002,492</u>	<u>(10,861,619)</u>	<u>908,350,542</u>	<u>9,053,698</u>	<u>(10,900,396)</u>
金利先物:						
- 1年未満	4,773,850	119,017	(121,417)	4,553,147	108,691	(121,417)
- 1年以上3年以内	407,600	-	(23)	407,600	-	(23)
	<u>5,181,450</u>	<u>119,017</u>	<u>(121,440)</u>	<u>4,960,747</u>	<u>108,691</u>	<u>(121,440)</u>
金利オプション:						
- 1年以上3年以内	1,945,589	6,146	(532)	1,945,589	6,146	(532)
- 3年超	22,401,558	1,419,834	(3,796,408)	22,401,558	1,419,834	(3,796,408)
	<u>24,347,147</u>	<u>1,425,980</u>	<u>(3,796,940)</u>	<u>24,347,147</u>	<u>1,425,980</u>	<u>(3,796,940)</u>

A36. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<-----公正価値----->			<-----公正価値----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
<u>2026年6月30日現在（続き）</u>						
<u>トレーディング目的デリバティブ（続き）</u>						
<u>エクイティ関連契約</u>						
エクイティオプション:						
- 1年未満	10,189,446	730,290	(649,776)	1,230,808	120,360	(9,560)
エクイティスワップ:						
- 1年未満	11,694,129	2,701,439	(1,730,848)	3,472,479	2,179,765	(1,672,321)
<u>コモディティ関連契約</u>						
コモディティオプション:						
- 1年未満	4,993,059	206,617	(206,617)	4,993,059	206,617	(206,617)
- 1年以上3年以内	7,678,573	397,574	(397,574)	7,678,573	397,574	(397,574)
- 3年超	267,060	17,548	(17,548)	267,060	17,548	(17,548)
	12,938,692	621,739	(621,739)	12,938,692	621,739	(621,739)
コモディティスワップ:						
- 1年未満	1,558,779	123,709	(123,709)	1,558,779	123,709	(123,709)
- 1年以上3年以内	1,388,288	39,711	(39,711)	1,388,288	39,711	(39,711)
	2,947,067	163,420	(163,420)	2,947,067	163,420	(163,420)
<u>信用関連契約</u>						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1年未満	12,839	24	(5)	12,839	24	(5)
- 1年以上3年以内	6,964	599	(90)	6,964	599	(90)
	19,803	623	(95)	19,803	623	(95)
<u>ヘッジ目的デリバティブ</u>						
外国為替関連契約						
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1年未満	454,939	-	(123,530)	454,939	-	(123,530)
- 1年以上3年以内	1,405,866	80,214	(167,127)	1,405,866	80,214	(167,127)
- 3年超	2,940,190	137,757	(74,252)	2,940,190	137,757	(74,252)
	4,800,995	217,971	(364,909)	4,800,995	217,971	(364,909)
<u>金利関連契約</u>						
金利スワップ:						
- 1年未満	1,263,560	30,654	-	1,263,560	30,654	-
- 1年以上3年以内	2,422,348	10,954	(18,031)	2,422,348	10,954	(18,031)
	3,685,908	41,608	(18,031)	3,685,908	41,608	(18,031)
MFRS第132号に基づくネットイン						
グ効果	-	(1,490,052)	1,490,052	-	(1,473,400)	1,473,400
合計	1,727,321,684	21,033,029	(22,732,084)	1,714,891,482	19,657,959	(22,227,302)

A36. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<-----公正価値----->			<-----公正価値----->		
	元本額 千マレーシア・ リングgit	資産 千マレーシア・ リングgit	負債 千マレーシア・ リングgit	元本額 千マレーシア・ リングgit	資産 千マレーシア・ リングgit	負債 千マレーシア・ リングgit
2025年12月31日現在						
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡取引:						
- 1 年未満	80,738,271	445,524	(1,666,111)	49,390,951	236,993	(924,013)
- 1 年以上 3 年以内	4,601,413	49,858	(216,952)	4,575,502	49,381	(219,891)
- 3 年超	2,608,196	12,061	(135,225)	1,933,472	9,136	(135,434)
	<u>87,947,880</u>	<u>507,443</u>	<u>(2,018,288)</u>	<u>55,899,925</u>	<u>295,510</u>	<u>(1,279,338)</u>
通貨スワップ:						
- 1 年未満	539,682,547	3,050,884	(3,837,639)	586,838,565	3,478,632	(4,415,897)
- 1 年以上 3 年以内	2,468,149	30,236	(13,384)	2,610,197	30,236	(13,387)
- 3 年超	832,417	4,283	(36,642)	832,417	4,283	(36,642)
	<u>542,983,113</u>	<u>3,085,403</u>	<u>(3,887,665)</u>	<u>590,281,179</u>	<u>3,513,151</u>	<u>(4,465,926)</u>
通貨スポット:						
- 1 年未満	11,221,401	12,365	(10,788)	11,676,000	11,898	(11,186)
通貨オプション:						
- 1 年未満	2,991,245	53,339	(75,473)	3,255,575	20,527	(34,904)
- 1 年以上 3 年以内	394,194	281	(11,784)	502,901	16,369	(17,550)
	<u>3,385,439</u>	<u>53,620</u>	<u>(87,257)</u>	<u>3,758,476</u>	<u>36,896</u>	<u>(52,454)</u>
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1 年未満	25,427,175	520,117	(257,988)	25,387,303	534,290	(255,876)
- 1 年以上 3 年以内	30,884,929	699,905	(344,301)	34,006,682	760,628	(599,212)
- 3 年超	15,351,049	557,044	(177,878)	14,662,191	560,401	(229,438)
	<u>71,663,153</u>	<u>1,777,066</u>	<u>(780,167)</u>	<u>74,056,176</u>	<u>1,855,319</u>	<u>(1,084,526)</u>
金利関連契約						
金利スワップ:						
- 1 年未満	494,791,740	716,683	(685,543)	494,901,214	718,656	(686,190)
- 1 年以上 3 年以内	245,053,863	1,303,332	(1,190,510)	246,123,829	1,331,685	(1,236,000)
- 3 年超	245,046,988	7,754,856	(9,408,722)	245,123,029	7,762,682	(9,412,987)
	<u>984,892,591</u>	<u>9,774,871</u>	<u>(11,284,775)</u>	<u>986,148,072</u>	<u>9,813,023</u>	<u>(11,335,177)</u>
金利先物:						
- 1 年未満	6,643,683	182,613	(182,579)	6,643,683	182,613	(182,579)
金利オプション:						
- 1 年以上 3 年以内	4,854,248	36,490	(24,399)	4,854,248	36,490	(24,399)
- 3 年超	24,854,393	1,565,351	(4,394,532)	24,854,393	1,565,351	(4,394,532)
	<u>29,708,641</u>	<u>1,601,841</u>	<u>(4,418,931)</u>	<u>29,708,641</u>	<u>1,601,841</u>	<u>(4,418,931)</u>

A36. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<-----公正価値----->			<-----公正価値----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2025年12月31日現在（続き）						
トレーディング目的デリバティブ（続き）						
<u>エクイティ関連契約</u>						
エクイティオプション:						
- 1 年未満	6,082,837	325,792	(502,950)	904,531	78,689	(748)
エクイティスワップ:						
- 1 年未満	6,444,076	438,268	(1,478,687)	3,102,711	124,095	(1,430,936)
- 1 年以上 3 年以内	1,290	-	(8)	-	-	-
	6,445,366	438,268	(1,478,695)	3,102,711	124,095	(1,430,936)
<u>コモディティ関連契約</u>						
コモディティオプション:						
- 1 年未満	3,387,833	116,742	(116,742)	3,387,833	116,742	(116,742)
- 1 年以上 3 年以内	9,531,955	526,992	(526,992)	9,531,955	526,992	(526,992)
- 3 年超	663,808	20,693	(20,693)	663,808	20,693	(20,693)
	13,583,596	664,427	(664,427)	13,583,596	664,427	(664,427)
コモディティスワップ:						
- 1 年未満	1,496,445	30,934	(30,934)	1,496,445	30,934	(30,934)
- 1 年以上 3 年以内	774,526	26,172	(26,172)	774,526	26,172	(26,172)
	2,270,971	57,106	(57,106)	2,270,971	57,106	(57,106)
<u>信用関連契約</u>						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1 年未満	37,266	204	(21)	37,266	204	(21)
- 1 年以上 3 年以内	7,146	729	(110)	7,146	729	(110)
	44,412	933	(131)	44,412	933	(131)
ヘッジ目的デリバティブ						
<u>外国為替関連契約</u>						
クロスカレンシー金利スワップ:						
- 1 年未満	743,073	62,609	(103,287)	743,073	62,609	(103,287)
- 1 年以上 3 年以内	1,092,704	71,047	(57,487)	1,092,704	71,047	(57,487)
- 3 年超	1,394,108	104,012	(162,308)	1,394,108	104,012	(162,308)
	3,229,885	237,668	(323,082)	3,229,885	237,668	(323,082)
<u>金利関連契約</u>						
金利スワップ:						
- 1 年未満	214,729	9,911	(1,947)	214,729	9,911	(1,947)
- 1 年以上 3 年以内	3,292,773	86,264	(5,289)	3,292,773	86,264	(5,289)
- 3 年超	385,558	-	(7,162)	385,558	-	(7,162)
	3,893,060	96,175	(14,398)	3,893,060	96,175	(14,398)
MFRS第132号に基づくネットイン グ効果	-	(1,175,363)	1,175,363	-	(1,164,299)	1,164,299
合計	1,773,996,028	17,640,228	(24,535,876)	1,785,201,318	17,405,045	(24,156,646)

A37. 金融商品の公正価値測定

評価原則

金融商品全体が分類されるヒエラルキーのレベルは、開示上、ポジションの公正価値測定に重要な最も低いレベルのインプットに基づいている。

(a) レベル1：同一の資産及び負債の活発な市場における相場価格（未調整）

相場価格が、取引所から迅速かつ定期的に入手可能であり、独立第三者間で実際にかつ定期的に発生する相場価格を表す場合、活発な市場で価格を提示されたとみなされる金融商品を意味する。当該金融商品には、活発に売買される政府証券、上場デリバティブ及び取引所で売買される現物商品が含まれる。

(b) レベル2：重要なインプットがすべて観察可能な市場データである、又は観察可能な市場データに基づく評価技法

資産又は負債に対し、直接（すなわち、価格）又は間接（すなわち、価格から導かれる）的に観察可能なレベル1に含まれる相場価格以外のインプットをいう。レベル2の金融商品の例には、店頭（「OTC」）デリバティブ、社債その他国債、非流動株式、市場における同質又は類似の特性を持つ消費者ローン及び債権が含まれる。

(c) レベル3：重要なインプットが観察可能な市場データに基づかない評価技法

公正価値が重要な観察不能なインプットを使用して測定される商品を用いる。この評価技法は、レベル2と矛盾しないが当行グループ及び当行の独自の前提及びデータを取り込んでいる。レベル3商品の例には、主に内部与信評価に基づき価格付けされる非流動市場における社債、未公開株投資、貸出金及び債権が含まれる。

当行グループ及び当行の、2026年6月30日現在及び2025年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。

	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行グループ				
2026年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産:				
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定 するものとして指定された金融資産	-	12,306,721	-	12,306,721
マネーマーケット商品	-	1,195,250	-	1,195,250
上場証券	-	-	-	-
非上場証券	-	11,111,471	-	11,111,471
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	20,212,166	24,721,406	1,058,215	45,991,787
マネーマーケット商品	-	9,852,232	-	9,852,232
上場証券	20,212,166	-	-	20,212,166
非上場証券	-	14,869,174	1,058,215	15,927,389

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2026年6月30日現在及び2025年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行グループ（続き）	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2026年6月30日現在（続き）				
公正価値で測定する金融資産：（続き）				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	6,175,417	107,277,795	429,607	113,882,819
マネーマーケット商品	-	39,633,405	-	39,633,405
上場証券	6,175,417	-	-	6,175,417
非上場証券	-	67,644,390	429,607	68,073,997
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	31,609,880	31,609,880
デリバティブ資産	-	20,247,879	785,150	21,033,029
外国為替関連契約	-	7,716,473	-	7,716,473
金利関連契約	-	10,589,097	-	10,589,097
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	3,431,738	785,150	4,216,888
信用関連契約	-	623	-	623
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,490,052)	-	(1,490,052)
	26,387,583	164,553,801	33,882,852	224,824,236
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	10,576,424	-	10,576,424
仕組預金	-	3,585,764	-	3,585,764
借入金	-	6,990,660	-	6,990,660
デリバティブ負債	8,868	21,938,066	785,150	22,732,084
外国為替関連契約	-	6,258,228	-	6,258,228
金利関連契約	-	14,798,030	-	14,798,030
エクイティ及びコモディティ関連契約	8,868	2,371,765	785,150	3,165,783
信用関連契約	-	95	-	95
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,490,052)	-	(1,490,052)
	8,868	32,514,490	785,150	33,308,508

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2026年6月30日現在及び2025年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行グループ	市場の相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
2025年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産:				
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定 するものとして指定された金融資産	13,952	12,891,741	-	12,905,693
マネーマーケット商品	-	1,140,166	-	1,140,166
上場証券	13,952	-	-	13,952
非上場証券	-	11,751,575	-	11,751,575
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	22,844,527	22,163,726	1,058,226	46,066,479
マネーマーケット商品	-	12,344,115	-	12,344,115
上場証券	22,844,527	-	-	22,844,527
非上場証券	-	9,819,611	1,058,226	10,877,837
その他の包括利益を通じて公正価値で測定す る金融投資	5,811,836	110,722,829	429,569	116,964,234
マネーマーケット商品	-	45,411,041	-	45,411,041
上場証券	5,811,836	-	-	5,811,836
非上場証券	-	65,311,788	429,569	65,741,357
その他の包括利益を通じて公正価値で測定す る貸出金及びその他の債権	-	-	30,288,409	30,288,409
デリバティブ資産	-	16,918,739	721,489	17,640,228
外国為替関連契約	-	5,673,565	-	5,673,565
金利関連契約	-	11,655,500	-	11,655,500
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	764,104	721,489	1,485,593
信用関連契約	-	933	-	933
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効 果	-	(1,175,363)	-	(1,175,363)
	28,670,315	162,697,035	32,497,693	223,865,043
公正価値で測定する金融負債:				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	9,583,737	-	9,583,737
仕組預金	-	3,046,858	-	3,046,858
借入金	-	6,536,879	-	6,536,879
デリバティブ負債	-	23,814,387	721,489	24,535,876
外国為替関連契約	-	7,107,247	-	7,107,247
金利関連契約	-	15,900,683	-	15,900,683
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	1,981,689	721,489	2,703,178
信用関連契約	-	131	-	131
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効 果	-	(1,175,363)	-	(1,175,363)
	-	33,398,124	721,489	34,119,613

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2026年6月30日現在及び2025年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2026年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	3,771,048	16,547,286	832,443	21,150,777
マネーマーケット商品	-	7,782,870	-	7,782,870
上場証券	3,771,048	-	-	3,771,048
非上場証券	-	8,764,416	832,443	9,596,859
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	301,935	62,148,188	423,879	62,874,002
マネーマーケット商品	-	18,937,697	-	18,937,697
上場証券	301,935	-	-	301,935
非上場証券	-	43,210,491	423,879	43,634,370
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	35,096,550	35,096,550
デリバティブ資産	-	18,872,809	785,150	19,657,959
外国為替関連契約	-	7,415,475	-	7,415,475
金利関連契約	-	10,629,977	-	10,629,977
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	2,300,134	785,150	3,085,284
信用関連契約	-	623	-	623
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,473,400)	-	(1,473,400)
	4,072,983	97,568,283	37,138,022	138,779,288
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	7,649,669	-	7,649,669
仕組預金	-	659,009	-	659,009
借入金	-	6,990,660	-	6,990,660
デリバティブ負債	8,868	21,433,284	785,150	22,227,302
外国為替関連契約	-	6,396,760	-	6,396,760
金利関連契約	-	14,836,807	-	14,836,807
エクイティ及びコモディティ関連契約	8,868	1,673,022	785,150	2,467,040
信用関連契約	-	95	-	95
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,473,400)	-	(1,473,400)
	8,868	29,082,953	785,150	29,876,971

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2026年6月30日現在及び2025年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2025年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産:				
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	5,449,330	15,201,392	832,443	21,483,165
マネーマーケット商品	-	10,007,363	-	10,007,363
上場証券	5,449,330	-	-	5,449,330
非上場証券	-	5,194,029	832,443	6,026,472
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	371,277	64,824,791	423,778	65,619,846
マネーマーケット商品	-	22,378,231	-	22,378,231
上場証券	371,277	-	-	371,277
非上場証券	-	42,446,560	423,778	42,870,338
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	35,715,653	35,715,653
デリバティブ資産	-	16,683,556	721,489	17,405,045
外国為替関連契約	-	5,950,442	-	5,950,442
金利関連契約	-	11,693,652	-	11,693,652
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	202,828	721,489	924,317
信用関連契約	-	933	-	933
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,164,299)	-	(1,164,299)
	5,820,607	96,709,739	37,693,363	140,223,709
公正価値で測定する金融負債:				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	6,748,860	-	6,748,860
仕組預金	-	211,981	-	211,981
借入金	-	6,536,879	-	6,536,879
デリバティブ負債	-	23,435,157	721,489	24,156,646
外国為替関連契約	-	7,216,512	-	7,216,512
金利関連契約	-	15,951,085	-	15,951,085
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	1,431,728	721,489	2,153,217
信用関連契約	-	131	-	131
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,164,299)	-	(1,164,299)
	-	30,184,017	721,489	30,905,506

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

評価技法

相場価格を参照して決定（レベル１）されない金融資産、非金融資産及び金融負債に使用される評価技法は以下の通りである。

デリバティブ

当行グループ及び当行のデリバティブ金融商品の公正価値は、割引キャッシュ・フロー分析、オプション・プライシング・モデル及びベンチマーキング・モデルを使用して決定される。

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融投資及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資

これらの金融資産及び金融投資の公正価値は、外部のデータプロバイダー及び外部のブローカーの提示価格を参照して決定される。社会経済上の目的で保有される非上場の資本性証券（レベル３に分類）の公正価値は、当該企業が有する有形資産純額に基づき決定される。

純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権、並びにその他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権

これらの公正価値は、信用力が類似した新たな借手に対する類似の貸出に提示される、報告日現在適用可能な実勢レートで割り引かれた、契約上の分割弁済額の将来予想キャッシュ・フローに基づき見積もられる。

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債

純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債の公正価値は、割引キャッシュ・フローを使用して決定される。

[次へ](#)

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表

当行グループ	2026年 1月1日現在	損益計算書に 計上した その他の 利得/(損失)*	損益計算書に 計上した 未実現 利得/(損失)#	その他の包括 利益に計上し た 未実現利得	購入/発行/ 取得	売却	決済	為替換算差額	2026年 6月30日現在
	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット	千マレー シア・ リングット
2026年6月30日現在									
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	1,058,226	-	-	-	-	-	-	(11)	1,058,215
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	429,569	-	-	112	-	-	-	(74)	429,607
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	30,288,409	-	-	124,380	6,961,734	-	(5,294,510)	(470,133)	31,609,880
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ 関連契約	721,489	343,283	177,163	-	21,821	(478,606)	-	-	785,150
レベル3金融資産合計	32,497,693	343,283	177,163	124,492	6,983,555	(478,606)	(5,294,510)	(470,218)	33,882,852
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ 関連契約	(721,489)	(347,821)	(177,311)	-	(21,821)	483,292	-	-	(785,150)
レベル3金融負債合計	(721,489)	(347,821)	(177,311)	-	(21,821)	483,292	-	-	(785,150)
レベル3金融資産/(負債)純額合計	31,776,204	(4,538)	(148)	124,492	6,961,734	4,686	(5,294,510)	(470,218)	33,097,702

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行グループ	2025年 1月1日現在 千マレー シア・ リンギット	損益計算書に 計上した その他の 利得/(損失)* 千マレー シア・ リンギット	損益計算書に 計上した 未実現 利得/(損失)# 千マレー シア・ リンギット	その他の包括 利益に計上し た 未実現利得/ (損失) 千マレー シア・ リンギット	購入/発行/ 取得 千マレー シア・ リンギット	売却 千マレー シア・ リンギット	決済 千マレー シア・ リンギット	為替換算差額 千マレー シア・ リンギット	2025年 6月30日現在 千マレー シア・ リンギット
2025年6月30日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	1,005,425	-	52,838	-	-	-	-	(37)	1,058,226
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	362,880	-	-	66,895	-	(167)	-	(39)	429,569
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権									
	32,016,786	-	-	(233,229)	10,080,729	-	(10,112,070)	(1,463,807)	30,288,409
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ 関連契約	803,968	188,227	(379,553)	-	338,083	(229,236)	-	-	721,489
レベル3金融資産合計	<u>34,189,059</u>	<u>188,227</u>	<u>(326,715)</u>	<u>(166,334)</u>	<u>10,418,812</u>	<u>(229,403)</u>	<u>(10,112,070)</u>	<u>(1,463,883)</u>	<u>32,497,693</u>
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ 関連契約	(803,968)	(206,443)	380,560	-	(338,083)	246,445	-	-	(721,489)
レベル3金融負債合計	<u>(803,968)</u>	<u>(206,443)</u>	<u>380,560</u>	<u>-</u>	<u>(338,083)</u>	<u>246,445</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>(721,489)</u>
レベル3金融資産/(負債)純額合計	<u>33,385,091</u>	<u>(18,216)</u>	<u>53,845</u>	<u>(166,334)</u>	<u>10,080,729</u>	<u>17,042</u>	<u>(10,112,070)</u>	<u>(1,463,883)</u>	<u>31,776,204</u>

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金繰入、純額」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

A37.金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2026年 1月1日現在 千マレー シア・ リンギット	損益計算書に 計上した その他の 利得/(損失) * 千マレー シア・ リンギット	損益計算書に 計上した 未実現 利得/(損失) # 千マレー シア・ リンギット	その他の包括 利益に計上し た 未実現利得 千マレー シア・ リンギット	購入/発行/ 取得 千マレー シア・ リンギット	売却 千マレー シア・ リンギット	決済 千マレー シア・ リンギット	為替換算差額 千マレー シア・ リンギット	2026年 6月30日現在 千マレー シア・ リンギット
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	832,443	-	-	-	-	-	-	-	832,443
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	423,778	-	-	101	-	-	-	-	423,879
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	35,715,653	-	-	153,799	5,811,656	-	(6,121,426)	(463,132)	35,096,550
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ関連契約	721,489	343,283	177,163	-	21,821	(478,606)	-	-	785,150
レベル3金融資産合計	37,693,363	343,283	177,163	153,900	5,833,477	(478,606)	(6,121,426)	(463,132)	37,138,022
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ関連契約	(721,489)	(347,821)	(177,311)	-	(21,821)	483,292	-	-	(785,150)
レベル3金融負債合計	(721,489)	(347,821)	(177,311)	-	(21,821)	483,292	-	-	(785,150)
レベル3金融資産/(負債)純額合計	36,971,874	(4,538)	(148)	153,900	5,811,656	4,686	(6,121,426)	(463,132)	36,352,872

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

A37. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2025年 1月1日現在	損益計算書に 計上した その他の 利得/(損失) [*]	損益計算書に 計上した 未実現 利得/(損失) [#]	その他の包括 利益に計上し た 未実現利得/ (損失)	購入/発行/ 取得	売却	決済	為替換算差額	2025年 6月30日現在
	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット	千マレー シア・ リンギット
2025年6月30日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
純損益を通じて公正価値で測定 する金融投資									
非上場証券	783,340	-	49,103	-	-	-	-	-	832,443
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融投資									
非上場証券	357,022	-	-	66,756	-	-	-	-	423,778
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する貸出金及びそ 他の債権	34,662,051	-	-	(235,585)	13,698,789	-	(10,888,009)	(1,521,593)	35,715,653
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ 関連契約	803,968	188,227	(379,553)	-	338,083	(229,236)	-	-	721,489
レベル3金融資産合計	36,606,381	188,227	(330,450)	(168,829)	14,036,872	(229,236)	(10,888,009)	(1,521,593)	37,693,363
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ 関連契約	(803,968)	(206,443)	380,560	-	(338,083)	246,445	-	-	(721,489)
レベル3金融負債合計	(803,968)	(206,443)	380,560	-	(338,083)	246,445	-	-	(721,489)
レベル3金融資産/(負債)純額合 計	35,802,413	(18,216)	50,110	(168,829)	13,698,789	17,209	(10,888,009)	(1,521,593)	36,971,874

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

当行グループの会計方針では、報告期間末時点で公正価値ヒエラルキーの各レベルへの（各レベルからの）振替を認識することとしている。

2026年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行ではレベル1とレベル2の間の振替はなかった。

公正価値で測定されたレベル3金融商品の増減

2026年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行ではレベル3への振替もレベル3からの振替もなかった。

[次へ](#)

A38.関係者との信用取引から生じる信用エクスポージャー

下記に開示する信用エクスポージャーは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項の要求に基づくものである。

	当行グループ		当行	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
関係者に対する信用エクスポージャー残高 (千マレーシア・リングgit)	<u>33,368,163</u>	<u>17,430,652</u>	<u>27,610,012</u>	<u>19,387,888</u>
信用エクスポージャー合計額における関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	<u>3.2%</u>	<u>1.7%</u>	<u>5.0%</u>	<u>3.5%</u>
減損 [*] 又は債務不履行となっている関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

^{*} 減損とは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項に示されている不良債権をいう。

[次へ](#)

A39. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書

2022年4月29日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険事業、ファミリー・タカフル事業、ジェネラル・タカフル事業、損害保険及びその他の事業毎の内訳は以下の通りである。

(a) 2026年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

当行グループ	生命保険事業		ファミリー・タカフル事業		ジェネラル・タカフル事業		損害保険及びその他の事業		合計	
6月30日に終了した6か月間	2026年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2025年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2025年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2025年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2025年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2026年 6月30日 千マレー シア・ リンギット	2025年 6月30日 千マレー シア・ リンギット
受取利息	358,372	368,051	326,208	338,074	104,976	101,778	70,841	74,517	860,397	882,420
支払利息	(9,275)	(9,835)	-	-	-	-	(29,136)	(29,152)	(38,411)	(38,987)
受取利息 純額	349,097	358,216	326,208	338,074	104,976	101,778	41,705	45,365	821,986	843,433
保険/タカフル 事業に係る損 益	104,951	144,600	143,655	325,644	131,406	109,606	70,091	58,897	450,103	638,747
その他の 営業収 益	285,788	24,934	34,027	108,203	35,838	(24,742)	44,370	4,920	400,023	113,315
営業収益 合計	739,836	527,750	503,890	771,921	272,220	186,642	156,166	109,182	1,672,112	1,595,495
保険/タカフル 事業による投 資/金融 に係る 純損益	(614,598)	(381,718)	(258,676)	(493,667)	(69,631)	(36,947)	(7,603)	(5,302)	(950,508)	(917,634)
純営業収 益	125,238	146,032	245,214	278,254	202,589	149,695	148,563	103,880	721,604	677,861
一般管理 費	(55,889)	(59,568)	(5,882)	(3,546)	(6,722)	(3,296)	(10,291)	(46,009)	(78,784)	(112,419)
減損損失 前営業 利益	69,349	86,464	239,332	274,708	195,867	146,399	138,272	57,871	642,820	565,442
貸出金及 びその 他の債 権に対 する減 損損失 引当金 (繰入)/ 戻入、 純額	(56)	(130)	(2)	(1)	-	-	91	102	33	(29)

金融投資 に対する減損 損失引 当金(繰 入)/戻 入、純 額	(601)	378	(1,751)	272	(1,087)	37	1,204	36	(2,235)	723
その他の 資産に 対する 減損損 失引当 金(繰 入)/戻 入、純 額	(2,028)	(456)	(113)	(6)	-	122	(177)	(5)	(2,318)	(345)
税金及び ザカー ト前利 益	66,664	86,256	237,466	274,973	194,780	146,558	139,390	58,004	638,300	565,791
税金及び ザカー ト	(20,193)	(25,216)	(96,168)	(108,575)	(56,687)	(47,467)	(43,319)	(32,955)	(216,367)	(214,213)
当期利益	46,471	61,040	141,298	166,398	138,093	99,091	96,071	25,049	421,933	351,578

A39. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書(続き)

2022年4月29日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険事業、ファミリー・タカフル事業、ジェネラル・タカフル事業、損害保険及びその他の事業毎の内訳は以下の通りである。(続き)

(b) 2026年6月30日現在の未監査財政状態計算書

	生命保険事業		ファミリー・タカフル事業		ジェネラル・タカフル事業		損害保険及びその他の事業*		合計	
	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日	2026年 6月30日	2025年 12月31日
当行グループ	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit	千マレー シア・ リングgit
資産										
現金及び短期資金	887,272	702,199	94,815	94,501	218,377	118,045	103,717	126,960	1,304,181	1,041,705
金融機関預け金	1,128,415	884,774	1,555,038	1,206,031	823,825	1,039,866	1,231,721	516,810	4,738,999	3,647,481
売戻条件付買入金融資資産	-	-	-	-	-	-	30,356	-	30,356	-
当初認識時に純損益を通じて公正值で測定するものとして指定した金融資産	5,968,786	6,098,601	6,279,054	6,723,661	13,142	13,401	45,740	56,078	12,306,722	12,891,741
純損益を通じて公正值で測定する金融投資	11,640,092	10,864,385	2,035,801	2,165,695	274,270	349,531	551,760	510,313	14,501,923	13,889,924

その 他の 包括 利益 を通 じて 公正 価値 で測 定す る金 融投 資	8,160,781	7,505,859	7,551,918	7,514,628	4,582,396	4,342,688	1,623,145	1,662,142	21,918,240	21,025,317
償却 原価 で測 定す る金 融投 資	-	-	-	-	-	-	14,049	16,243	14,049	16,243
貸出 金及 びそ の他 の債 権	85,387	85,827	7,527	8,069	544	646	52,052	49,367	145,510	143,909
デリ バ ティ ブ資 産	18,986	71,805	-	992	-	470	-	230	18,986	73,497
保険 契約 資 産/ タカ フル 証書 資産	38,925	44,710	-	4,397	-	-	49,715	54,058	88,640	103,165
再保 険契 約資 産/ 再タ カフ ル証 書資 産	1,158,175	1,223,389	427,909	394,448	379,076	448,195	2,926,397	3,208,413	4,891,557	5,274,445
その 他の 資産	449,713	191,494	115,408	95,827	8,313	7,506	204,708	182,792	778,142	477,619
投資 不動 産	855,925	853,925	-	-	-	-	186,146	185,075	1,042,071	1,039,000
中央 銀行 への 法定 預け 金	2,856	2,841	-	-	-	-	-	-	2,856	2,841

有形 固 定 資 産	126,601	126,334	136	158	16,265	12,110	82,995	83,536	225,997	222,138
使用 権資 産	34,691	39,166	245	338	-	-	12,449	11,787	47,385	51,291
無形 資産	70,322	73,274	28,813	25,081	8,690	7,798	33,474	35,017	141,299	141,170
繰延 税金 資産	15,089	21,694	91,412	104,897	83,349	85,659	29,514	35,603	219,364	247,853
資産										
合計	30,642,016	28,790,277	18,188,076	18,338,723	6,408,247	6,425,915	7,177,938	6,734,424	62,416,277	60,289,339

A39. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書(続き)

2022年4月29日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険事業、ファミリー・タカフル事業、ジェネラル・タカフル事業、損害保険及びその他の事業毎の内訳は以下の通りである。(続き)

(b) 2026年6月30日現在の未監査財政状態計算書(続き)

	生命保険事業		ファミリー・タカフル事業		ジェネラル・タカフル事業		損害保険及びその他の事業		合計	
	2026年	2025年	2026年	2025年	2026年	2025年	2026年	2025年	2026年	2025年
	6月30日	12月31日	6月30日	12月31日	6月30日	12月31日	6月30日	12月31日	6月30日	12月31日
当行グループ(続き)	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
負債										
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	-	-	-	-	-	-	29,669	-	29,669	-
デリバティブ負債	82,214	4,633	860	-	-	-	12,870	16,289	95,944	20,922
保険契約負債/タカフル証書負債	26,178,194	24,599,031	14,631,223	14,479,940	3,721,616	3,712,807			48,523,169	47,093,930

再保										
険										
契										
約										
負										
債										
/										
再										
タ										
カ										
フ										
ル										
証										
書										
負										
債										
	(556)	24,722	-	-	-	-	10,622	8,040	10,066	32,762
その										
他										
の										
負										
債 [#]	1,778,262	1,427,678	726,975	758,129	267,171	315,125	310,028	336,930	3,082,436	2,837,862
税金										
及										
び										
ザ										
カ										
ー										
ト										
引										
当										
金	(4,383)	(67,097)	74,329	41,030	57,866	55,044	41,892	33,386	169,704	62,363
繰延										
税										
金										
負										
債	461,207	530,112	40,991	61,081	28,764	40,618	60,298	65,357	591,260	697,168
劣後										
債										
務	-	-	-	-	-	-	312,051	312,051	312,051	312,051
負債										
合	28,494,93	26,519,07	15,474,37	15,340,18	4,075,41	4,123,59			52,814,29	51,057,05
計	8	9	8	0	7	4	4,769,566	5,074,205	9	8
子会										
社										
の										
株										
主										
に										
帰										
属										
す										
る										
資										
本										
株式										
資							(1,797,257	(1,797,257		
本	1,388,122	1,388,122	100,000	100,000	970,001	970,001	)	)	660,866	660,866
その										
他										
の										
剰										
余										
金	758,956	883,076	2,613,698	2,898,543	1,362,82	1,332,32				
					9	0	4,205,629	3,457,476	8,941,112	8,571,415

				<u>2,332,83</u>	<u>2,302,32</u>					
	<u>2,147,078</u>	<u>2,271,198</u>	<u>2,713,698</u>	<u>2,998,543</u>	<u>0</u>	<u>1</u>	<u>2,408,372</u>	<u>1,660,219</u>	<u>9,601,978</u>	<u>9,232,281</u>
負債										
及										
び										
株										
主										
資										
本										
合	<u>30,642,01</u>	<u>28,790,27</u>	<u>18,188,07</u>	<u>18,338,72</u>	<u>6,408,24</u>	<u>6,425,91</u>			<u>62,416,27</u>	<u>60,289,33</u>
計	<u>6</u>	<u>7</u>	<u>6</u>	<u>3</u>	<u>7</u>	<u>5</u>	<u>7,177,938</u>	<u>6,734,424</u>	<u>7</u>	<u>9</u>

* 当行グループレベルで連結時に消去されている保険/タカフル事業体によるグループ企業間取引が含まれている。

その他の負債には、無担保の生命保険ファンド、損害保険ファンド及び投資連動型ファンドのうち、付利の対象とならず、要求払いで払戻し可能なものへの/(からの)支払額が含まれている。

[次へ](#)

A40. イスラム金融業務

A40a. 2026年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者の資金の投資から生じた収益	3,463,930	3,548,907	6,851,535	6,886,918
投資口座の資金の投資から生じた収益	390,834	366,145	765,869	727,529
イスラム金融ファンドの投資から生じた収益	212,402	206,190	430,382	423,433
その他の債権に係る減損損失引当金繰入、純額	(342,948)	(352,279)	(662,668)	(487,789)
金融投資に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	43,672	(16,142)	39,560	(15,032)
その他の資産に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	853	(814)	2	(611)
分配可能収益合計	3,768,743	3,752,007	7,424,680	7,534,448
投資口座からの利益分配	66,679	50,813	128,535	96,885
預金者に分配された利益	(1,732,447)	(1,825,330)	(3,399,588)	(3,591,962)
投資口座保有者に分配された利益	(125,251)	(128,254)	(242,546)	(252,312)
純収益合計	1,977,724	1,849,236	3,911,081	3,787,059
金融費用	(111,081)	(130,417)	(248,747)	(257,234)
一般管理費	(740,249)	(736,102)	(1,549,912)	(1,516,794)
税金及びザカート前利益	1,126,394	982,717	2,112,422	2,013,031
税金	(263,281)	(236,682)	(500,846)	(484,860)
ザカート	(14,405)	(19,304)	(26,369)	(36,673)
当期利益	848,708	726,731	1,585,207	1,491,498

従来型銀行業務との連結及び合併のため、イスラム金融業務からの純収益は、以下の項目から構成されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者の資金の投資から生じた収益	3,463,930	3,548,907	6,851,535	6,886,918
投資口座の資金の投資から生じた収益	390,834	366,145	765,869	727,529
イスラム金融ファンドの投資から生じた収益	212,402	206,190	430,382	423,433
金融資産に係る減損損失引当金及び一般管理費前収益合計	4,067,166	4,121,242	8,047,786	8,037,880
投資口座からの利益分配	66,679	50,813	128,535	96,885
預金者に分配された利益	(1,732,447)	(1,825,330)	(3,399,588)	(3,591,962)
投資口座保有者に分配された利益	(125,251)	(128,254)	(242,546)	(252,312)
	2,276,147	2,218,471	4,534,187	4,290,491
金融費用	(111,081)	(130,417)	(248,747)	(257,234)
グループ企業間収益及び費用、純額	194,236	173,118	320,891	338,271
当行が調達した投資口座からの利益分配	(66,671)	(50,737)	(128,520)	(96,739)
当行グループの損益計算書に計上されたイスラム金融業務からの収益	2,292,631	2,210,435	4,477,811	4,274,789

A40. イスラム金融業務(続き)

A40b. 2026年6月30日に終了した中間会計期間の未監査包括利益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
<u>当行グループ</u>				
当期利益	848,708	726,731	1,585,207	1,491,498
その他の包括利益/(損失):				
後に純損益に振り替えられる可能性がある項目:				
外国為替換算に係る正味(損失)/利得	(558)	2,787	(361)	3,144
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味利得/(損失)	51,396	99,031	(106,902)	123,178
- 公正価値の変動からの正味利得/(損失)	101,176	121,048	(99,560)	157,381
- 予想信用損失の変動	(25,498)	7,035	(31,237)	3,569
- 税効果	(24,282)	(29,052)	23,895	(37,772)
	50,838	101,818	(107,263)	126,322
当期のその他の包括利益/(損失)、税引後	50,838	101,818	(107,263)	126,322
当期の包括利益合計	899,546	828,549	1,477,944	1,617,820

A40. イスラム金融業務(続き)

A40c. 2026年 6 月30日現在の未監査財政状態計算書

		2026年 6 月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ	注記		
資産			
現金及び短期資金		20,480,075	18,919,885
銀行及びその他の金融機関預け金		367,063	4,668,171
売戻条件付買入金融資産		2,004,107	2,553,228
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資		1,926,942	1,685,011
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資		14,614,690	15,506,334
償却原価で測定する金融投資		17,695,809	14,348,351
その他の債権	A40e	288,430,135	275,699,184
デリバティブ資産		1,066,686	963,038
その他の資産		3,258,229	4,919,670
中央銀行への法定預け金		2,236,966	2,192,333
有形固定資産		238	277
無形資産		11,219	-
使用権資産		2,502	3,170
繰延税金資産		361,330	327,522
資産合計		352,455,991	341,786,174
負債			
顧客の資金：			
- 顧客預金	A40f	247,192,487	245,558,580
- 顧客の投資口座 ¹	A40g	35,180,407	33,909,533
金融機関預り金		37,520,471	23,356,869
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		1,566,844	1,829,680
支払手形及び銀行引受手形		112,934	54,494
デリバティブ負債		614,140	1,356,308
その他の負債		1,930,692	2,258,329
税金及びザカート引当金		36,437	92,344
期限付資金調達	A40h	5,046,013	10,575,944
劣後スクーク	A40 i	3,024,815	3,024,604
資本性証券	A40 j	1,002,087	1,002,217
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		17,184	-
負債合計		333,244,511	323,018,902
イスラム金融資本ファンド			
イスラム金融ファンド		14,688,443	14,688,443
利益剰余金		3,507,902	3,014,818
その他の準備金		1,015,135	1,064,011
		19,211,480	18,767,272
負債及びイスラム金融資本ファンド合計		352,455,991	341,786,174
当行グループが運用する制限付投資口座	A40g	43,002,790	48,309,416
当行グループが保有し運用するイスラム金融資産合計		395,458,781	390,095,590
コミットメント及び偶発事象		150,247,068	146,130,956

¹ 顧客の投資口座は、注記A40eに開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

A40. イスラム金融業務（続き）

A40d. 2026年6月30日に終了した中間会計期間の未監査イスラム金融資本ファンド変動計算書

	< ----- 分配不能部分 ----- >						
				外国為替換	持株会社か		
	イスラム金融		FVTOCI評価差	算	らの資本拠		
当行グループ	ファンド	規制準備金	額準備金	準備金	出金 ¹	分配可能な	合計
	千マレーシア・	千マレーシ	千マレーシ	千マレーシ	千マレーシ	千マレーシア・	千マレーシア・
	リングgit	ア・	ア・	ア・	ア・	リングgit	リングgit
2026年 1 月1日現在	14,688,443	525,253	533,139	3,922	1,697	3,014,818	18,767,272
当期利益	-	-	-	-	-	1,585,207	1,585,207
その他の包括損失	-	-	(106,902)	(361)	-	-	(107,263)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(361)	-	-	(361)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	(106,902)	-	-	-	(106,902)
当期の包括(損失)/利益合計	-	-	(106,902)	(361)	-	1,585,207	1,477,944
従来型銀行業務への振替	-	-	-	-	-	(10,092)	(10,092)
規制準備金への振替	-	58,387	-	-	-	(58,387)	-
支払配当金	-	-	-	-	-	(1,023,644)	(1,023,644)
2026年 6 月30日現在	14,688,443	583,640	426,237	3,561	1,697	3,507,902	19,211,480

¹ この持株会社からの資本拠出準備金は、関連する子会社と持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

A40. イスラム金融業務（続き）

A40d. 2026年6月30日に終了した中間会計期間の未監査イスラム金融資本ファンド変動計算書（続き）

< ----- 分配不能部分 ----- > -----							
当行グループ	イスラム金融 ファンド	規制準備金	FVTOCI評価 差額準備金	外国為替換 算 準備金	持株会社か らの資本拠 出金 ¹	分配可能な 利益剰余金	合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2025年1月1日現在	12,579,879	604,236	354,982	(1,459)	1,697	2,922,948	16,462,283
当期利益	-	-	-	-	-	1,491,498	1,491,498
その他の包括利益	-	-	123,178	3,144	-	-	126,322
外国為替換算に係る正 味利得	-	-	-	3,144	-	-	3,144
その他の包括利益を通 じて公正価値で測定す る金融投資に係る正味 利得	-	-	123,178	-	-	-	123,178
当期の包括利益合計	-	-	123,178	3,144	-	1,491,498	1,617,820
普通株式の発行	1,372,894	-	-	-	-	-	1,372,894
従来型銀行業務への振 替	-	-	-	-	-	(11,712)	(11,712)
規制準備金からの振替	-	(136,431)	-	-	-	136,431	-
支払配当金	-	-	-	-	-	(1,525,438)	(1,525,438)
2025年6月30日現在	13,952,773	467,805	478,160	1,685	1,697	3,013,727	17,915,847

¹ この持株会社からの資本拠出準備金は、関連する子会社と持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

[次へ](#)

A40. イスラム金融業務（続き）

A40e. その他の債権

当行グループ	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日終了 千マレーシア・ リンギット
その他の債権 [*] ：		
(A) その他の包括利益を通じて公正価値で測定するその他の債権	3,342,347	2,476,689
(B) 償却原価で測定するその他の債権	345,379,419	332,221,193
	348,721,766	334,697,882
前受収益	(56,312,728)	(55,448,879)
その他の債権総額	292,409,038	279,249,003
その他の債権に対する減損引当金		
- ステージ1：12カ月ECL	(739,730)	(778,242)
- ステージ2：全期間ECL（信用減損なし）	(1,796,597)	(1,598,131)
- ステージ3：全期間ECL（信用減損あり）	(1,442,576)	(1,173,446)
その他の債権純額	288,430,135	275,699,184

* 2026年6月30日現在、RPSIAで調達したその他の債権37,320.0百万マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：42,217.1百万マレーシア・リンギット）は、IBS業務の中でオフバランスとなっている。

2026年6月30日現在の顧客の投資口座（「IA」）による資金調達の総エクスポージャーは、35,180.4百万マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：33,909.5百万マレーシア・リンギット）であった。

[次へ](#)

A40. イスラム金融業務（続き）

A40e. その他の債権（続き）

当行グループ	バイ ¹	ムラバハ	ムシャラカ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ (AITAB) ²	イジャラ ³	その他	その他の債権 合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2026年6月30日現在							
キャッシングローン	-	8,029,408	-	-	-	1	8,029,409
タームローン：							
- 住宅ローン	8,800,609	127,517,812	1,082,353	-	-	161	137,400,935
- シンジケート							
ローン	-	4,538,810	-	-	-	-	4,538,810
- 分割払債権	-	12,919,351	-	56,744,328	-	-	69,663,679
- リース債権	-	-	-	-	3,312,404	-	3,312,404
- その他のター							
ムローン	2,426,627	102,193,005	265,109	-	-	35,628	104,920,369
貨物貸渡	-	66,950	-	-	-	-	66,950
引受為替手形求償権	-	6,883,178	-	-	-	-	6,883,178
従業員向貸出	170,602	3,494,336	4,141	110,973	-	67,071	3,847,123
クレジットカード債							
権	-	-	-	-	-	3,050,085	3,050,085
リボルビングクレ							
ジット	-	6,963,244	-	-	-	-	6,963,244
株式信用取引	-	42,946	-	-	-	-	42,946
その他の貸出：							
- 当行の取締役							
向貸出	-	2,242	-	352	-	40	2,634
	11,397,838	272,651,282	1,351,603	56,855,653	3,312,404	3,152,986	348,721,766
前受収益							(56,312,728)
その他の債権総額 ⁴							292,409,038
その他の債権に対す							
る減損引当金：							
- ステージ1 -							
12カ月ECL							(739,730)
- ステージ2 -							
全期間ECL（信							
用減損なし）							(1,796,597)
- ステージ3 -							
全期間ECL（信							
用減損あり）							(1,442,576)
その他の債権純額							288,430,135

¹ バイは、バイ・ピタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダイン・アル・シラから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、IAの原資産が含まれている。

A40. イスラム金融業務（続き）

A40e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャ ラ サンマ・ア ル・バイ							その他の債権 合計
	バイ ¹	ムラバハ	ムシャラカ 千マレーシ ア・	(AITAB) ²	イジャラ ³ 千マレーシ ア・	その他 千マレーシ ア・	千マレーシ ア・	
2025年6月30日現在	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシ ア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
キャッシングローン	-	7,978,371	-	-	-	-	-	7,978,371
タームローン：								
- 住宅ローン	9,169,779	122,921,277	1,136,509	-	-	-	-	133,227,565
- シンジケート ローン	-	2,917,239	-	-	-	-	-	2,917,239
- 分割払債権	-	10,671,358	-	58,319,627	-	-	-	68,990,985
- リース債権	-	-	-	-	3,304,942	-	-	3,304,942
- その他のター ムローン	2,815,691	93,814,688	296,560	-	-	64,409	-	96,991,348
貨物貸渡	-	134,731	-	-	-	-	-	134,731
引受為替手形求償権	-	7,483,030	-	-	-	-	-	7,483,030
従業員向貸出	181,530	3,446,662	4,441	125,502	-	68,000	-	3,826,135
クレジットカード債 権	-	-	-	-	-	2,942,192	-	2,942,192
リボルビングクレ ジット	-	6,852,663	-	-	-	-	-	6,852,663
株式信用取引	-	46,117	-	-	-	-	-	46,117
その他の貸出：								
- 当行の取締役 向貸出	-	2,347	-	152	-	65	-	2,564
	12,167,000	256,268,483	1,437,510	58,445,281	3,304,942	3,074,666	-	334,697,882
前受収益								(55,448,879)
その他の債権総額 ⁴								279,249,003
その他の債権に対す る減損引当金：								
- ステージ1 - 12カ月ECL								(778,242)
- ステージ2 - 全期間ECL（信 用減損なし）								(1,598,131)
- ステージ3 - 全期間ECL（信 用減損あり）								(1,173,446)
その他の債権純額								275,699,184

¹ バイは、バイ・ピタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダイン・アル・シラから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、IAの原資産が含まれている。

[次へ](#)

A40. イスラム金融業務（続き）

A40e. その他の債権（続き）

（ ）減損したその他の債権（「減損債権」）の変動は以下の通りである。

	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
1月1日現在	3,695,441	2,863,158
当期中の新規減損債権	1,322,019	2,496,670
非減損債権への分類変更	(256,554)	(264,870)
回収額	(286,563)	(519,880)
貸倒償却額	(408,237)	(879,637)
2026年6月30日/2025年12月31日現在の減損したその他の債権総額	4,066,106	3,695,441
控除：ステージ3 - 全期間ECL - 信用減損あり	(1,442,576)	(1,173,446)
2026年6月30日/2025年12月31日現在の減損したその他の債権純額	2,623,530	2,521,995
減損債権純額（IA債権を除く）の比率計算：		
減損したその他の債権総額	4,066,106	3,695,441
控除：ステージ3 - 全期間ECL - 信用減損あり	(1,442,576)	(1,173,446)
減損したその他の債権純額	2,623,530	2,521,995
その他の債権総額	257,228,631	245,339,470
控除：償却原価で測定する減損したその他の債権及びFVOCIで測定する減損したその他の債権に対する引当金	(4,267,204)	(3,868,870)
その他の債権純額	252,961,427	241,470,600
減損したその他の債権の比率	1.04%	1.04%

A40. イスラム金融業務（続き）

A40e. その他の債権（続き）

（ ）その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リングット	リングット	リングット	リングット
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	4,591	31,203	283,257	319,051
引当金の再測定純額	(566)	-	(3,034)	(3,600)
新たに組成又は購入した金融資産	4,418	-	-	4,418
認識が中止された金融資産	-	(31,203)	-	(31,203)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(367)	-	-	(367)
為替換算差額	2	-	-	2
2026年 6 月30日現在	8,078	-	280,223	288,301

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リングット	リングット	リングット	リングット
2025年12月31日現在				
2025年 1 月 1 日現在	6,258	25,775	-	32,033
引当金の再測定純額	662	30	283,257	283,949
新たに組成又は購入した金融資産	4,418	13,302	-	17,720
認識が中止された金融資産	(5,476)	(229)	-	(5,705)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(1,239)	(7,658)	-	(8,897)
為替換算差額	(32)	(17)	-	(49)
2025年12月31日現在	4,591	31,203	283,257	319,051

償却原価で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リングット	リングット	リングット	リングット
2026年 6 月30日現在				
2026年 1 月 1 日現在	778,242	1,598,131	1,173,446	3,549,819
ステージ 1 への移動	140,163	(133,561)	(6,602)	-
ステージ 2 への移動	(22,475)	81,481	(59,006)	-
ステージ 3 への移動	(4,911)	(95,854)	100,765	-
引当金の再測定純額	(174,343)	368,079	681,062	874,798
新たに組成又は購入した金融資産	122,366	40,302	-	162,668
認識が中止された金融資産	(66,001)	(39,387)	-	(105,388)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(31,746)	(22,074)	(38,195)	(92,015)
貸倒償却額	-	-	(408,237)	(408,237)
為替換算差額	(1,565)	(520)	(657)	(2,742)
2026年 6 月30日現在	739,730	1,796,597	1,442,576	3,978,903

A40. イスラム金融業務（続き）

A40e. その他の債権（続き）

（ ）その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

償却原価で測定（続き）

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2025年12月31日現在				
2025年1月1日現在	545,845	1,737,715	1,305,982	3,589,542
ステージ1への移動	166,903	(147,628)	(19,275)	-
ステージ2への移動	(33,714)	93,007	(59,293)	-
ステージ3への移動	(10,098)	(114,219)	124,317	-
引当金の再測定純額	39,535	17,330	701,081	757,946
新たに組成又は購入した金融資産	157,773	89,711	-	247,484
認識が中止された金融資産	(67,603)	(104,507)	-	(172,110)
モデル/リスク・パラメーターの 変動	(19,739)	27,193	(41)	7,413
貸倒償却額	-	-	(879,637)	(879,637)
為替換算差額	(660)	(471)	312	(819)
2025年12月31日現在	778,242	1,598,131	1,173,446	3,549,819

A40f. 顧客預金

	2026年 6月30日	2025年 12月31日
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット
貯蓄預金		
ムラバハ	30,564,116	29,411,430
カルド	1,547,335	1,458,225
	32,111,451	30,869,655
要求払預金		
ムラバハ	44,296,728	41,670,889
カルド	5,407,581	3,767,704
	49,704,309	45,438,593
定期預金		
コモディティ・ムラバハ		
ムラバハ	164,050,759	168,397,850
カルド	1,325,968	852,482
	165,376,727	169,250,332
顧客預金合計	247,192,487	245,558,580

A40. イスラム金融業務（続き）

A40g. 投資口座

	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
<u>当行グループ</u>		
顧客の投資口座		
- 制限のない投資口座	35,180,407	33,909,533
当行グループが運用する制限付投資口座 ¹	43,002,790	48,309,416

当行グループの財政状態計算書に計上されているとおり、制限のない投資口座の残高（グループ企業間債権債務残高控除後）は、2026年6月30日現在、33,600.3百万マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：32,783.0百万マレーシア・リンギット）であった。

（ ）投資口座の顧客種類別構成は以下の通りである。

	制限のない投資口座 ムダラバ 千マレーシア・ リンギット	当行グループが運用する 制限付投資口座 ¹ ムダラバ 千マレーシア・ リンギット
<u>当行グループ</u>		
2026年6月30日現在		
事業会社	17,992,340	-
個人	12,860,000	-
政府及び特殊法人	589,150	-
認可銀行	-	42,996,333
その他	3,738,917	6,457
	35,180,407	43,002,790
2025年12月31日現在		
事業会社	17,398,739	-
個人	12,074,122	-
政府及び特殊法人	700,310	-
認可銀行	-	48,307,667
その他	3,736,362	1,749
	33,909,533	48,309,416

A40. イスラム金融業務（続き）

A40g. 投資口座（続き）

（ ）投資口座の満期構成は以下の通りである。

当行グループ	当行グループが運用する	
	制限のない投資口座 ムダラバ 千マレーシア・ リンギット	制限付投資口座 ¹ ムダラバ 千マレーシア・ リンギット
2026年6月30日現在		
- 満期の定めなし	29,756,622	-
- 満期の定めあり		
6カ月以内	4,001,563	11,261,361
6カ月超1年以内	1,413,682	2,375,795
1年超3年以内	7,271	9,669,307
3年超5年以内	1,269	19,696,327
	5,423,785	43,002,790
顧客の投資口座合計	35,180,407	43,002,790
2025年12月31日現在		
- 満期の定めなし	29,201,228	-
- 満期の定めあり		
6カ月以内	3,664,210	13,584,543
6カ月超1年以内	1,033,400	585,926
1年超3年以内	9,508	10,153,114
3年超5年以内	1,187	23,985,833
	4,708,305	48,309,416
顧客の投資口座合計	33,909,533	48,309,416

A40. イスラム金融業務（続き）

A40g. 投資口座（続き）

（ ）投資資産の配分は以下の通りである。

当行グループ	当行グループが運用する	
	制限のない投資口座 ムダラバ 千マレーシア・ リンギット	制限付投資口座 ¹ ムダラバ 千マレーシア・ リンギット
2026年6月30日現在		
リテール貸出金	33,555,407	-
非リテール貸出金	1,625,000	37,319,979
企業スクーク	-	5,682,811
	<u>35,180,407</u>	<u>43,002,790</u>
2025年12月31日現在		
リテール貸出金	32,159,533	-
非リテール貸出金	1,750,000	42,217,085
企業スクーク	-	6,092,331
	<u>33,909,533</u>	<u>48,309,416</u>

（ ）利益分配率及び利回りは以下の通りである。

当行グループ	投資口座保有者(「IAH」)	
	平均利益分配率 (%)	平均利回り (%)
2026年6月30日現在		
顧客の投資口座		
- 制限のない投資口座		
- ムダラバ	34.19	1.41
当行グループが運用する制限付投資口座 ¹	<u>88.10</u>	<u>3.81</u>
2025年12月31日現在		
顧客の投資口座		
- 制限のない投資口座		
- ムダラバ	35.49	1.53
当行グループが運用する制限付投資口座 ¹	<u>85.47</u>	<u>4.13</u>

¹ 当行グループが運用する制限付投資口座には、MIBと当行及びMIBと第三者との間の取決めが含まれており、ここではMIBが運用代理人として、それぞれ42,996.3百万マレーシア・リンギット及び6.5百万マレーシア・リンギット（2025年12月31日現在：48,307.7百万マレーシア・リンギット及び1.7百万マレーシア・リンギット）の制限付投資口座の運用と管理を行っている。MIBが運用する制限付投資口座は、制限付投資口座で調達した原金融資産に対して求められる減損損失引当金控除後の金額で開示されている。

A40. イスラム金融業務（続き）

A40h. 期限付資金調達

	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
無担保期限付資金調達		
() コマーシャル・ペーパー		
- 1年未満	-	7,472,452
() ミディアム・ターム・ノート		
- 1年超	5,046,013	2,003,796
() 期限付資金調達		
- 1年超（注記（a））	-	1,099,696
期限付資金調達合計	5,046,013	10,575,944

注記(a)： 期限付資金調達は、COVID-19のパンデミックへの対応として導入された政府支援策の一環である政府融資制度に基づき、当行グループが受領した資金に関連するものである。当該資金は、適格な中小企業への優遇金利による融資及びCOVID-19関連の救済措置を目的として提供された。当該融資枠の満期は6年であり、満期日である2026年6月17日に全額返済された。

A40i. 劣後スクーク

	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
償還期限2031年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	-	1,011,044
償還期限2034年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	1,009,566	1,009,677
償還期限2035年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	1,004,088	1,003,883
償還期限2036年の1.0十億マレーシア・リンギットのイスラム劣後スクーク・ムラバハ	1,011,161	-
	3,024,815	3,024,604

A40j. 資本性証券

	2026年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2025年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
発行額1.0十億マレーシア・リンギット、利益率が4.76%のその他Tier 1 スクーク・ワカラ	1,002,087	1,002,217

[次へ](#)

パートB: プルサ・マレーシア証券取引所の上場要件に係る付属書類 9Bに関する注記**B1. 業績評価****() 前年同期と比較した当期の業績**

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の、当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後利益は5,171.0百万マレーシア・リングgitとなり、前年同期の2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間に比べ45.9百万マレーシア・リングgit、率にして0.9%減少した。

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、前年同期の2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間に比べ172.6百万マレーシア・リングgit、率にして1.6%増加し、10,842.2百万マレーシア・リングgitとなった。

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの保険/タカフル事業に係る純損益は、前年同期の2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間に比べ188.1百万マレーシア・リングgit、率にして21.7%減少し、677.9百万マレーシア・リングgitとなった。

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間における当行グループのその他の営業収益は4,041.4百万マレーシア・リングgitとなり、前年同期の2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の4,778.8百万マレーシア・リングgitから737.4百万マレーシア・リングgit、率にして15.4%減少した。この減少は主に、FVTPL金融投資の再評価に係る未実現時価評価損失が1,797.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、外国為替差益が1,218.0百万マレーシア・リングgit減少したこと、及びFVOCI金融投資の処分に係る利得が413.7百万マレーシア・リングgit減少したことによる。その他の要因として、2025年6月30日に終了した前年同期の6カ月間の会計期間には、当初認識時にFVTPLとして指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価利得を231.2百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には未実現時価評価損失を167.2百万マレーシア・リングgit計上したこと、さらには、FVTPL金融負債の再評価に関連して、2025年6月30日に終了した前年同期の6カ月間の会計期間には未実現時価評価利得を298.2百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には未実現時価評価損失を78.4百万マレーシア・リングgit計上したことも挙げられる。しかしながら、この減少は、前年同期の2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にはデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損失が505.4百万マレーシア・リングgit計上されたのに対し、2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には2,129.7百万マレーシア・リングgitのデリバティブの再評価に係る未実現時価評価利得が計上されたこと、また、FVTPL金融資産の処分に係る利得が793.7百万マレーシア・リングgit増加したことによって軽減されている。

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの一般管理費は、2025年6月30日に終了した前年同期に比べ293.3百万マレーシア・リングgit、率にして3.9%減少し、7,234.7百万マレーシア・リングgitとなった。この一般管理費の減少は主として、人件費が156.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、マーケティング費用が34.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに管理費及び一般経費が14.2百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、この減少は、設備費が109.6百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額(純額)は、前年同期の2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間に比べ、9.4百万マレーシア・リングgit、率にして1.2%改善し、798.2百万マレーシア・リングgitとなった。

当行グループの金融投資に対する減損損失引当金(純額)は、前年同期である2025年6月30日に終了した6カ月間の会計期間では65.2百万マレーシア・リングgitの繰入(純額)であったのに対し、2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には338.1百万マレーシア・リングgitの戻入(純額)となった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当期の業績（続き）**

前年同期である2025年6月30日に終了した会計期間と比較した、2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間における当行グループの税金及びザカート前利益に関する当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同期の2,213.2百万マレーシア・リングgitから850.5百万マレーシア・リングgit増加し、3,063.7百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入（純額）が332.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、その他の営業収益が246.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに一般管理費が242.1百万マレーシア・リングgit減少したことに加え、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同期には0.7百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、15.8百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったこと、そして、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が13.3百万マレーシア・リングgit増加したことが主な要因である。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング/グローバル・マーケッツ部門**

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング/グローバル・マーケッツ部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同期の4,038.7百万マレーシア・リングgitから843.7百万マレーシア・リングgit減少し、3,195.1百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は、その他の営業収益が962.8百万マレーシア・リングgit減少したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金が、前年同期には124.4百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）であったのに対し、205.2百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）となったこと、並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が144.6百万マレーシア・リングgit減少したことが主な要因である。しかしながら、この減少は、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同期には101.9百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、350.0百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったこと、一般管理費が82.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が58.6百万マレーシア・リングgit増加したことにより軽減されている。

b) グループ・投資銀行部門

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・投資銀行部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同期の193.8百万マレーシア・リングgitから224.7百万マレーシア・リングgit増加し、418.5百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が276.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金が、前年同期には0.7百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、5.8百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったこと、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が5.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びにその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同期には2.8百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、0.5百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったことによる。しかしながら、この増加は、一般管理費が66.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が0.3百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部相殺されている。

c) グループ・資産運用部門

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・資産運用部門は、2025年6月30日に終了した前年同期には税金及びザカート前利益5.4百万マレーシア・リングgitを計上していたのに対し、2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には税金及びザカート前損失1.3百万マレーシア・リングgitを計上した。この減少は主に、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金戻入（純額）が11.5百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに受取利息純額が0.2百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、この減少は、その他の営業収益が3.6百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び一般管理費が1.3百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部軽減されている。

B1. 業績評価(続き)

() 前年同期と比較した当期の業績(続き)

グループ・保険及びタカフル事業部門

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同期の562.3百万マレーシア・リングgitから72.3百万マレーシア・リングgit増加し、634.6百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が286.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び一般管理費が33.4百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、これらは、保険/タカフル事業に係る損益が188.6百万マレーシア・リングgit減少したこと、保険/タカフル事業による投資/金融に係る純損益が32.9百万マレーシア・リングgit増加したこと、受取利息純額が21.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同期には0.4百万マレーシア・リングgitの戻入(純額)であったのに対し、4.6百万マレーシア・リングgitの繰入(純額)となったことにより一部相殺されている。

() 前年同期と比較した当四半期の業績

2026年6月30日に終了した四半期の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後利益は2,690.4百万マレーシア・リングgitとなり、2025年6月30日に終了した前年同四半期に比べ62.3百万マレーシア・リングgit、率にして2.4%増加した。

当行グループの2026年6月30日に終了した四半期の受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期に比べ5.0百万マレーシア・リングgit、率にして0.1%増加して5,387.9百万マレーシア・リングgitとなった。

2026年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険/タカフル事業に係る損益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期に比べ86.5百万マレーシア・リングgit減少し、308.0百万マレーシア・リングgitとなった。

当行グループの2026年6月30日に終了した四半期のその他の営業収益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期に比べ250.2百万マレーシア・リングgit増加し、2,929.1百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、2025年6月30日に終了した前年同四半期にはデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損失を1,457.9百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2026年6月30日に終了した四半期には未実現時価評価利得を2,134.3百万マレーシア・リングgit計上したこと、及びFVTPL金融資産の処分に係る利得が630.4百万マレーシア・リングgit増加したことによる。しかしながら、この増加は、2025年6月30日に終了した前年同四半期にはFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価利得を621.6百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2026年6月30日に終了した四半期には未実現時価評価損失を118.9百万マレーシア・リングgit計上したこと、外国為替差益が565.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、2025年6月30日に終了した前年同四半期にはFVTPL金融投資の再評価に係る未実現時価評価利得を425.1百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2026年6月30日に終了した四半期には未実現時価評価損失を49.2百万マレーシア・リングgit計上したこと、FVOCI金融投資の処分に係る正味利得が433.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、及びデリバティブに係る実現利得が355.8百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部相殺されている。

当行グループの2026年6月30日に終了した四半期の一般管理費は、2025年6月30日に終了した前年同四半期に比べ95.9百万マレーシア・リングgit、率にして2.5%減少し、3,689.1百万マレーシア・リングgitとなった。この一般管理費の減少は主に、人件費が156.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、マーケティング費用が34.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに管理費及び一般経費が14.2百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、この減少は、設備費が109.6百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

当行グループが計上した貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額(純額)は、2025年6月30日に終了した前年同半期に比べ109.9百万マレーシア・リングgit減少した。

当行グループが計上した金融投資に対する減損損失引当金は、2025年6月30日に終了した前年同四半期には43.2百万マレーシア・リングgitの繰入(純額)であったのに対し、2026年6月30日に終了した四半期には62.4百万マレーシア・リングgitの戻入(純額)となった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した四半期の業績（続き）**

当行グループの2026年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益を、2025年6月30日に終了した前年同四半期と比較した結果については、以下のとおり当行グループの事業セグメントごとに分析している。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2026年6月30日に終了した四半期のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期の985.4百万マレーシア・リングgitから246.9百万マレーシア・リングgit増加し、1,232.2百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が197.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が113.2百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同四半期には0.1百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、15.9百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったことによる。しかしながら、この増加は、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が45.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金が33.6百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）となったことにより一部相殺されている。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング/グローバル・マーケッツ部門**

2026年6月30日に終了した四半期のグループ・コーポレート・アンド・コマーシャル・バンキング/グローバル・マーケッツ部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期の2,122.2百万マレーシア・リングgitから288.0百万マレーシア・リングgit減少し、1,834.2百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、その他の営業収益が503.8百万マレーシア・リングgit減少したこと、関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が35.6百万マレーシア・リングgit減少したこと、並びに受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が15.4百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、この減少は、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同四半期には62.2百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、65.8百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金が117.4百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったこと、及び一般管理費が21.3百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部相殺されている。

b) グループ・投資銀行部門

2026年6月30日に終了した四半期のグループ・投資銀行部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期の113.0百万マレーシア・リングgitから187.5百万マレーシア・リングgit増加し、300.5百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が182.8百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金が、前年同四半期には0.6百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、25.2百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったこと、受取利息純額及びイスラム金融業務（IBS）からの収益が23.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が、前年同四半期には1.0百万マレーシア・リングgitの繰入（純額）であったのに対し、0.1百万マレーシア・リングgitの戻入（純額）となったことによる。しかしながら、この増加は、一般管理費が45.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が0.2百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部相殺されている。

c) グループ・資産運用部門

2026年6月30日に終了した四半期のグループ・資産運用部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期の5.3百万マレーシア・リングgitから4.0百万マレーシア・リングgit減少し、1.3百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金戻入（純額）が11.5百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、この減少は、その他の営業収益が7.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び一般管理費が0.3百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部軽減されている。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した四半期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2026年6月30日に終了した四半期のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2025年6月30日に終了した前年同四半期の297.3百万マレーシア・リングgitから66.0百万マレーシア・リングgit増加し、363.4百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が483.8百万マレーシア・リングgit増加したこと、及び一般管理費が6.1百万マレーシア・リングgit減少したことによる。しかしながら、この増加は、保険/タカフル事業による投資/金融に係る純損益が341.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、保険/タカフル事業に係る損益が79.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が3.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金が0.3百万マレーシア・リングgitの戻入(純額)となったこと、並びに金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金が0.2百万マレーシア・リングgitの戻入(純額)となったことにより一部相殺されている。

B2. 四半期実績の前四半期からの変動

2026年6月30日に終了した四半期の株主に帰属する当行グループの税金及びザカート控除後利益は、2026年3月31日に終了した前年同四半期の2,480.7百万マレーシア・リングgitから209.7百万マレーシア・リングgit増加し、2,690.4百万マレーシア・リングgitとなった。

2026年6月30日に終了した四半期の当行グループの受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益は、2026年3月31日に終了した前年同四半期の5,454.3百万マレーシア・リングgitから66.3百万マレーシア・リングgit減少し、5,387.9百万マレーシア・リングgitとなった。

2026年6月30日に終了した四半期の保険/タカフル事業に係る損益は、2026年3月31日に終了した前年同四半期の369.9百万マレーシア・リングgitから61.8百万マレーシア・リングgit減少し、308.0百万マレーシア・リングgitとなった。

2026年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2026年3月31日に終了した前年同四半期の1,112.2百万マレーシア・リングgitから1,816.9百万マレーシア・リングgit増加し、2,929.1百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、FVTPL金融投資の再評価に係る未実現時価評価損失が2,039.7百万マレーシア・リングgit減少したこと、及びFVTPL金融資産の処分に係る正味利得が464.2百万マレーシア・リングgit増加したことによる。しかしながら、この増加は、デリバティブの再評価に係る未実現時価評価利得が776.8百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部相殺されている。

2026年6月30日に終了した四半期の当行グループの一般管理費は、2026年3月31日に終了した前年同四半期の3,545.5百万マレーシア・リングgitから143.6百万マレーシア・リングgit増加し、3,689.1百万マレーシア・リングgitとなった。この一般管理費の増加は主に、管理費及び一般経費が76.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、設備費が50.3百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに人件費が33.1百万マレーシア・リングgit増加したことによる。しかしながら、この増加は、マーケティング費用が16.1百万マレーシア・リングgit減少したことにより一部軽減されている。

当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額(純額)は、2026年3月31日に終了した前年同四半期に比べ171.2百万マレーシア・リングgit改善し、313.5百万マレーシア・リングgitとなった。

当行グループの金融投資に対する減損損失引当金戻入額(純額)は、2026年3月31日に終了した前年同四半期に比べ213.3百万マレーシア・リングgit減少し、62.4百万マレーシア・リングgitとなった。

B3. 見通し

2026年の世界のGDP成長率は3.1%（2025年：3.4%）に減速すると見込まれる。これは、2026年の中国の成長率が4.7%（2025年：5.0%）に鈍化することに加え、ユーロ圏及び日本などその他主要経済圏の相対的な低成長が継続することを反映したものである。ASEAN 6カ国のGDP成長率は、域内各国政府が実施する内需強化及びコスト抑制に向けた緩和措置に加え、AI主導の技術サイクルの拡大及び地政学的要因による貿易転換効果・投資移転の継続的な流れに支えられ、2026年も堅調に5.0%（2025年：5.0%）を維持すると予想される。

こうした環境の下、マレーシア経済の先行きは引き続き良好であり、2026年通年のGDP成長率は5.3%（2025年：5.2%）になると予測される。AI主導の世界的な技術サイクルを背景とした技術・貿易分野の追い風の恩恵を受けると見込まれるほか、中東情勢を受けた物価上昇に伴うエネルギー輸出の増加により交易条件も改善すると予想される。マレーシア国立銀行は年内残り期間において翌日物政策金利(OPR)を2.75%に維持すると見込まれる一方、インフレ率は2.0%（2025年：1.4%）と引き続き緩やかな水準に留まると予測される。

シンガポールのGDP成長率は、AI関連需要、建設需要及び低金利環境に支えられ、中東紛争の影響を緩和することから、2026年は5.2%（2025年：5.0%）へ上昇すると見込まれる。3カ月物シンガポール翌日物平均金利(SORA)は、安全資産への資金流入を背景とした貸出金対預金比率(LDR)の緩やかな上昇及び貸出需要の拡大によ

り、2026年以内に1.20%まで上昇すると予想される。インフレ率は1.7%（2025年：0.9%）へ上昇すると見込まれる。

インドネシアのGDP成長率は、2026年に5.3%（2025年：5.1%）へ上方修正されている。成長は、政府による社会支出の拡大や継続的な投資活動に支えられる見込みであり、これにはダナンタラ(Danantara)による設備投資、工業化の推進及びインフラ開発が含まれる。中東紛争に起因する供給混乱はインフレ率を押し上げるとともに、財政収支及び経常収支に下押し圧力を与える可能性がある。しかしながら、堅調なコモディティ輸出が経済を下支えすると見込まれる。インドネシア中央銀行は2026年内に政策金利をさらに25ベース・ポイント引き上げ、6.00%とする見込みであり、インフレ率は3.5%（2025年：1.9%）に上昇すると予測される

ROAR30戦略を基盤として、当行グループは引き続き主要市場における中核事業を強化するとともに、地域全体で顧客へのサービス提供を強化するため、地域ネットワークのさらなる統合を進める。

当行グループの成長戦略は、イスラム金融、ウェルスマネジメント、トランザクション・バンキング及び決済業務、並びにコーポレート・バンキング及び投資銀行業務における拡張性の高い地域事業の拡大に引き続き重点を置いている。同時に、技術、データ及びAIへの投資を継続するとともに、人材能力、生産性及び資本効率の向上を通じて経営基盤を強化していく。

当行グループのバリュー・ベースのアプローチは、引き続き重要な戦略的差別化要因である。「Humanising Financial Services（人間らしい金融サービスを）」という存在意義の下、顧客に有意義な成果を提供し、実体経済を支援し、社会の発展に貢献するとともに、持続可能な株主価値を創出することに取り組んでいる。

当行グループは引き続き慎重ながらも楽観的な見方を維持しており、資産の質、資本及び流動性を適切に管理しながら責任ある成長を追求していく。中東紛争による直接的な影響は和らいでいるものの、商品価格、インフレ率及び外需への波及効果は引き続き地域の事業環境に影響を及ぼす可能性があり、当行グループは今後の世界情勢の変化を引き続き注視していく。

B4. 利益予測又は利益保証

当行グループ及び当行は、2026年6月30日に終了した中間会計期間に関する利益予測も利益保証も一切行っていない。

B5. 税金及びザカート

2026年6月30日に終了した中間会計期間における税金費用は以下の通りである。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
マレーシア法人税	767,440	771,416	1,238,107	1,425,699
外国法人税	140,610	148,903	295,579	261,613
減算：二重課税控除	<u>(28,301)</u>	<u>(68,378)</u>	<u>(77,238)</u>	<u>(83,133)</u>
	879,749	851,941	1,456,448	1,604,179
前期に関する過少/(超過)引当：				
マレーシア法人税	-	-	1,041	36,223
外国法人税	<u>331</u>	<u>955</u>	<u>3,900</u>	<u>(4,020)</u>
	880,080	852,896	1,461,389	1,636,382
繰延税金				
- 一時差異の当期発生及び解消関連	<u>(34,281)</u>	<u>(70,925)</u>	<u>94,830</u>	<u>67,556</u>
当期税金費用	845,799	781,971	1,556,219	1,703,938
ザカート	<u>23,447</u>	<u>27,335</u>	<u>55,545</u>	<u>56,137</u>
	<u>869,246</u>	<u>809,306</u>	<u>1,611,764</u>	<u>1,760,075</u>

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間における当行グループの実効税率は、他の税務管轄区域における税率がより低いこと、及び一部の収益が非課税であることの影響により、法定税率を下回った。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2026年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2025年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
マレーシア法人税	337,414	425,748	452,154	762,791
外国法人税	32,798	79,371	86,155	98,933
減算：二重課税控除	<u>(28,301)</u>	<u>(68,378)</u>	<u>(77,238)</u>	<u>(83,133)</u>
	341,911	436,741	461,071	778,591
繰延税金				
- 一時差異の発生及び解消関連	<u>(20,501)</u>	<u>(40,183)</u>	<u>127,333</u>	<u>56,816</u>
当期税金費用	321,410	396,558	588,404	835,407
ザカート	<u>2,279</u>	<u>418</u>	<u>2,279</u>	<u>418</u>
	<u>323,689</u>	<u>396,976</u>	<u>590,683</u>	<u>835,825</u>

2026年6月30日に終了した6カ月間の会計期間における当行の実効税率は、一部の収益が非課税であることの影響により、法定税率を下回った。

当行グループ及び当行の国内法人税は、当期の課税所得の見積額に対する、マレーシアの法定税率である24%に基づいて算定されている。他の法域の海外事業体の税金額は法域ごとの実勢税率で算定される。

B6. 発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルの状況

2026年8月3日にブルサ・マレーシアのウェブサイトで公表したとおり、メイバンクは、アジアス・インシュアランス・インターナショナル・エヌバイ(以下「アジアス」)との間で、アジアスが保有するメイバンク・アジアス・ホールディングス・バーハッド(以下「MAHB」)の普通株式78,001,229株に相当する持分30.95%を、完全子会社であるエティカ・インターナショナル・ホールディングス・スンディリアン・ベルハッド(以下「EIHSB」)を通じて買収するための実施契約(Implementation Agreement)を締結した。当該買収の対価は4.83十億マレーシア・リングットであるが、買収完了日にMAHBが支払う予定の配当金800百万マレーシア・リングット(うち、アジアスの受取分は248百万マレーシア・リングット)を調整後の金額である(以下「本買収」)。

本買収の完了後、MAHBはメイバンクの完全子会社となる。また、本買収の完了に伴い、メイバンクの完全子会社であるEIHSBは、MAHBが完了日に支払う予定の配当金のうち552百万マレーシア・リングットを受領する。

本取得は、(i)メイバンク及び(ii)本買収に関連するメイバンクの全ての主要株主に対するマレーシア国立銀行(BNM)の事前の書面による承認を取得することを条件としている。

B7. コーポレートプロポーザルにより調達した資金の使用状況

借入、劣後債務及び資本性証券の発行による資金は、予定通り、運転資本、一般的な銀行業務目的及びその他の企業目的のために使用されている。

B8. 顧客預金、顧客の投資口座、金融機関預り金及び負債証券

注記A14、A15、A16、A17及びA40gを参照のこと。

B9. デリバティブ金融商品

注記A36を参照のこと。

B10. 重要な訴訟の帰趨

2026年6月30日に終了した中間会計期間には、重要性のある訴訟はない。

B11. 配当金

取締役会は、2026年12月31日に終了する会計年度に係る第1回シングルTier中間配当として、普通株式一株当たり31.0マレーシア・セン(2025年6月30日:30.0マレーシア・セン)を宣言した。

ブルサ・マレーシア証券取引所の主要上場要件第8.26項に準拠して、中間配当は配当宣言日から3カ月以内に支払われる。

取締役会はまた、配当再投資計画(Dividend Reinvestment Plan)を当該第1回シングルTier中間配当に適用することを決定した。当該配当のうち、普通株式一株当たり5.0マレーシア・センについては新たな普通株式への再投資を選択することができ、残りの普通株式一株当たり26.0マレーシア・センについては現金で支払われる。

権利確定日は当行により後日公表される予定である。

B12. 一株当たり利益（「EPS」）

基本EPS

当行グループの基本EPSは、当行株主に帰属する当会計期間の純利益を当会計期間の加重平均発行済普通株式数で除して計算されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2026年 6月30日終了	2025年 6月30日終了	2026年 6月30日終了	2025年 6月30日終了
当行株主に帰属する当会計期間 の純利益（千マレーシア・リンギット）	<u>2,690,362</u>	<u>2,628,029</u>	<u>5,171,020</u>	<u>5,216,886</u>
加重平均発行済普通株式数（千株）	<u>12,095,327</u>	<u>12,080,843</u>	<u>12,088,216</u>	<u>12,076,169</u>
基本一株当たり利益 （マレーシア・セン）	<u>22.24</u>	<u>21.75</u>	<u>42.78</u>	<u>43.20</u>

希薄化後EPS

希薄化潜在的普通株式が存在しないため、当行グループの当会計期間及び前会計期間における普通株式一株当たり利益の希薄化はない。

取締役会の命令による。

ヴァン・マルティミン・ヴァン・ムハンマド

LS0009924

カンパニーセクレタリー

2026年8月27日

2【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

当該半期中において、2026年 6 月26日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

(2) 後発事象

該当事項なし。

3【MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

本書記載の中間財務書類は、マレーシア財務報告基準（MFRS）及び国際財務報告基準（IFRS）に基づいて作成されている。MFRS及びIFRSと、日本で一般に公正妥当と認められている会計原則（以下「日本基準」という。）は、一部の点で相違する。主な相違点の要約は下記の通りである。

項目	マレーシア財務報告基準（MFRS） 及び国際財務報告基準（IFRS）	日本基準 （日本で一般に公正妥当と 認められる会計原則）
(1) 表示が求められる会計期間	財務諸表で報告されるすべての金額について、最低過去1会計期間分の比較情報を開示しなければならない。	前連結会計年度及び当連結会計年度の財務諸表を比較のため併記する。
(2) 財政状態計算書（貸借対照表）と包括利益計算書（損益計算書）の様式	下記の財務諸表(注1、2)の作成を求めている。 ・ 財政状態計算書 ・ 包括利益計算書（1計算書方式）（注3）、又は損益計算書とその他の包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）（注4） ・ 持分変動計算書 ・ キャッシュ・フロー計算書 ・ 会計方針及び注記 (注1)各計算書の名称については他のものを使用することも可 (注2)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合には、上記財務諸表に加えて、比較のため、開示される最も古い比較年度の期首財政状態計算書の作成も求められる (注3)純損益及びその他の包括利益計算書（1計算書方式）をいう (注4)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可	下記の財務諸表(注1)の作成を求めている。 ・ 連結貸借対照表 ・ 連結損益及び包括利益計算書（1計算書方式）（注2）、又は連結損益計算書と連結包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）（注3） ・ 連結株主資本等変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 連結附属明細表 (注1)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合でも、開示される最も古い比較年度の期首貸借対照表の追加作成は不要 (注2)1計算書方式の様式については連結財務諸表規則ガイドラインの別紙を参照 (注3)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可
(3) 特別（異常）損益の表示	収益又は費用のいかなる項目も、特別項目として、包括利益計算書若しくは損益計算書（表示されている場合）又は注記のいずれにも表示してはならない。	特別損益に属するものはその内容を示す名称を付した科目をもって表示する。

(4) 連結の範囲	連結の対象範囲は適用される支配の概念による。 投資者は、投資者が次の各要素をすべて有している場合にのみ、投資先を支配している。 (a)投資先に対するパワー (b)投資先への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャー又は権利 (c)投資者のリターンの額に影響を及ぼすように投資先に対するパワーを用いる能力 支配の判定に際し、投資者は自らの潜在的議決権と他の者が保有している潜在的議決権とを考慮して、自らがパワーを有しているかどうかを決定する。 投資者は、投資先の議決権の過半数を有していなくても、パワーを有するに十分な権利（いわゆる「事実上の支配」(de facto control)）を有する可能性がある。	連結の対象範囲は適用される支配力の概念による。 親会社、他の企業の財務及び営業又は事業の方針を決定する機関（意思決定機関）を支配している場合、当該他の企業に対する支配が存在する。 日本基準には、支配の有無の判断にあたり、潜在的議決権の影響や、意思決定権の行使が本人と代理人のいずれの立場として行われているかを考慮することを明示的に求める規定は存在しない。 議決権の過半数を有していなくても、当該他の企業の取締役会の構成、資金調達の状況及び当該他の企業の方針の決定を支配する契約の存在等を考慮した上で、緊密な関係があることにより自己の意思と同一の内容の議決権を行使すると認められる者及び自己の意思と同一の内容の議決権を行使することに同意している者が所有している議決権とを合わせて支配の有無の判断を行うことを求める規定が存在する。
(5) 連結の範囲（例外規定）	すべての子会社を連結することを要するが、投資企業については以下の例外がある。 一定の条件を満たす企業は投資企業に該当し、子会社を連結することが禁止され、子会社に対する投資をMFRS第9号にしたがって純損益を通じて公正価値で測定しなければならない。 ただし、投資企業の投資活動に関連するサービスを提供する子会社は連結しなければならない。 投資企業の親会社自身が投資企業でない場合、当該親会社はその連結財務諸表において当該投資企業の会計処理を引き継ぐことができない。	以下に該当する子会社は連結の範囲に含めないものとされる。 ・ 支配が一時的であると認められる企業 ・ 連結の範囲に含めることにより利害関係人の判断を著しく誤らせるおそれがあると認められる企業
(6) 特別目的事業体及びストラクチャード・エンティティー	投資者が支配しているストラクチャード・エンティティーは連結しなければならない。	一定の条件を満たす一定の特別目的会社は子会社に該当しないものと推定する。投資事業組合の連結の範囲は、基本的に業務執行権限の有無に基づいて判断される。

(7) 共同支配の取決め	共同支配事業(joint operation)に該当する共同支配の取決め(joint arrangement)の場合、共同支配事業者は共同支配事業における自らの資産、負債、収益及び費用並びに／又は共同支配事業における共同支配に係る資産、負債、収益及び費用の持分相当額を認識する。 共同支配企業(joint venture)の場合、持分法が適用される。	被共同支配企業の会計処理には持分法を適用する。
(8) 企業結合の会計処理	取得法(acquisition method)を適用して企業結合を会計処理する。 MFRS第3号は、共同支配企業(joint venture)の設立及び共通支配下の企業又は事業の統合等には適用されない。	共同支配企業の形成及び共通支配下の取引以外の企業結合には、パーチェス法が適用される。
(9) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法	企業結合ごとに、非支配持分の測定方法について、取得企業が以下のいずれかを選択できる。 1) 非支配持分も含めた被取得企業全体を公正価値で測定し、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する方法(いわゆる全部のれんアプローチ)。 2) 非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する取得企業の持分相当額によって測定し、のれんは取得企業の持分相当額についてのみ認識する方法(いわゆる購入のれんアプローチ)。	のれんは、被取得企業又は取得した事業の取得原価のうち、取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を超過する額として算定される(のれんの算定に認められているのは、購入のれんアプローチのみ)。 子会社の資産及び負債のすべてを支配獲得日の時価により評価する(いわゆる全面時価評価法)。 * IFRSで選択できるような、非支配持分自体を支配獲得日の時価で評価する会計処理は認められていない。
(10) のれんの取扱い	規則的な償却は行わず、減損の兆候が無くても各報告期間において、さらに減損の兆候がある場合には追加で、減損テストに付される。	原則としてその計上後20年以内に、定額法その他合理的な方法により償却しなければならない。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。 のれんに減損の兆候がある場合には、減損損失を認識するかどうか判定する。

(11) 有形固定資産 解体及び除却費用並 びに原状回復費用等	MFRS第116号に従い、引当金の認識要件を満たす解体及び除却費用並びに原状回復費用等は、有形固定資産の取得原価に含める。MFRS第137号の引当金には、法的債務及び推定的債務が含まれる。 割引率の事後的な変更についても引当金を再測定し、（原価モデルの場合は）取得原価に加減する。 割引の定期的な振戻しに関連する費用は、金融費用として費用計上する。 日本基準にある敷金に関する例外処理は、MFRSでは認められない。	資産除去債務計上額を関連する有形固定資産の帳簿価額に加える。資産除去債務は、有形固定資産の除去に関して法令又は契約で要求される法律上の義務及びそれに準ずるものを計上する。 資産除去債務の割引率は負債計上時に決定し、通常はその後の変更は行わない（ただし、将来のキャッシュ・フローの見積額が増加した場合は、その時点の割引率に変更し、減少した場合は負債計上時の割引率を用いる。）。 割引の振戻しに伴う時の経過による資産除去債務の調整額は、損益計算書上、当該資産除去債務に関連する有形固定資産の減価償却費と同じ区分に含めて計上する。 敷金が資産計上されている場合、簡便な評価方法で、敷金の回収が見込めないと認められる金額を合理的に見積り、当期に配分される金額を費用に計上することができる。
(12) 固定資産の事後測定	原価モデル又は再評価モデルのどちらかを会計方針として選択し、同一種類のすべての有形固定資産に適用しなければならない。 再評価モデルを選択した場合、帳簿価額が報告期間の期末日における公正価値と大きく相違しないよう、再評価を定期的の実施しなければならない。	取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額で計上される。（再評価は認められていない。）
(13) 投資不動産 当初認識後の測定	原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。当該方針はあらゆる投資不動産に対して適用される。	（注記においてのみ開示される。特に明示された基準はない。）原価モデルのみ利用可能。
(14) 投資不動産 公正価値モデルでの測定	公正価値モデルを選択する企業は、公正価値が信頼性をもって測定できない例外的な場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で評価しなければならない。	該当する基準はない。
(15) 減損レビュー・プロセス （非金融資産）	1段階アプローチ 減損の兆候が存在する場合に、資産の帳簿価額がその回収可能価額を上回る金額を減損損失として算定する。 回収可能価額は処分費用控除後の公正価値と使用価値のいずれが高い金額となる。	2段階アプローチ 最初に回収可能性テスト（資産の帳簿価額を、資産の使用及び最終的処分を通じて発生する割引前将来キャッシュ・フローの総額と比較する。）を行う。その結果、資産の帳簿価額が割引前キャッシュ・フローの総額よりも大きい場合、回収不能と判断された場合、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額するように減損損失を認識する。

(16) 減損損失の戻入れ（非金融資産）	のれんについては減損損失の戻入れは禁止されるが、他の資産については、毎報告期間末に、過去の期間に認識された減損損失がもはや存在しない又は減少している兆候があるのかどうかについて検討しなければならない。かかる兆候が存在する場合は、過去の期間に認識された減損損失を戻し入れる。ただし、過年度において当該資産について減損損失が認識されていなかったとした場合の帳簿価額（償却分控除後）を超えないものとする。	あらゆる資産について禁止される。
(17) 当初測定（初日利得）	金融資産及び負債が活発な市場で取引されておらず、価格評価モデルへの入力値が市場において観察できない場合、当初認識時に純利得を認識することはできず、かかる利得は繰り延べられる。	初日利得の測定に関する具体的規定が存在しないため、非上場デリバティブについて、合理的に算定された時価が評価額として使用され、結果的に初日利得が計上されうる。
(18) 公正価値測定の範囲	公表価格がなく公正価値が信頼性をもって測定できない場合に関するMFRS第139号における公正価値測定の例外規定は廃止された。すべての場合において、必ず公正価値で測定する必要がある。	企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」は、IFRS第13号と整合的な内容となっているが、適用範囲を金融商品及びトレーディング目的で保有する棚卸資産とし、これまで行われてきた実務等に配慮し、財務諸表間の比較可能性を大きく損なわせない範囲で、個別項目に対するその他の取扱いを定めている。主な項目は、市場価格のない株式等について、従来の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づき時価評価は行わず、取得原価をもって貸借対照表価額とする取扱いや、投資信託について、市場における取引価格が存在せず解約等に重要な制限がある場合に一定の要件を満たせば基準価格を時価とみなすことができる取扱い等がある。
(19) 金融資産の認識の中止	リスク経済価値アプローチに基づき、金融資産の認識を中止する。 金融資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんどすべてを移転したわけでも、ほとんどすべてを保持しているわけでもない場合は、「支配」の有無を検討する。引続き支配を保持している場合は、継続的関与の範囲内で認識を継続する。	財務構成要素アプローチに基づき、金融資産の消滅を認識する。

(20) 金融資産の区分	・ 負債性金融商品(債券・債権等) 「事業モデル・テスト」及び「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」に従い、以下の3つに区分される。 ・ 償却原価 契約上のキャッシュ・フローの回収を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI) (リサイクルあり) 契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ 純損益を通じて公正価値で測定(FVPL) 上記のいずれにも該当しないもの 償却原価又はFVOCIに分類可能な場合であっても、当初認識時にFVPLに分類できる。 ・ 資本性金融商品(株式等) トレーディング目的の保有ではなく、当初認識時に企業が指定した場合のみ、その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI)(リサイクルなし)される。上記指定が行われない金融商品は、以後FVPLで測定される。	有価証券については以下の通り区分される。 ・ 売買目的有価証券 ・ 満期保有目的の債券 ・ 子会社株式及び関連会社株式 ・ その他有価証券
(21) 売却可能投資 / 有価証券の事後測定	「売却可能金融投資」の区分は廃止された。当初認識時にFVOCIと指定された適格な資本性金融商品については、受取配当金のみ純損益に計上される。それ以外の変動(為替レートの変動を含む。)はすべてその他の包括利益に計上され、その後の純損益への振替は行われない。	時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は税効果を考慮のうえ、以下のいずれかの方法により処理する。 ・ 合計額を直接純資産の部に計上 ・ 時価が取得原価を上回る銘柄に係る評価差額は純資産の部に計上、時価が取得原価を下回る銘柄に係る評価差額は当期の損失として処理 時価が著しく下落し、かつ、回復可能性が認められない場合又は実質価額が著しく低下した場合には、減損損失を認識し、帳簿価額と時価又は実質価額の差額を純損益に振り替える。減損の戻入は禁止される。

(22) 償却原価法と実効金利法	金融資産又は金融負債の償却原価の計算は実効金利法による。 実効金利には、実効金利の不可分の一部である契約当事者間で授受されるすべての手数料、取引費用、並びにその他のプレミアム及びディスカントを考慮する。	償却原価法は原則として利息法によるが、継続適用を条件として、簡便法として定額法を採用することも認められる。 満期保有目的の債券は、金利調整差額のみを対象とする償却原価法を適用する。
(23) 減損(有価証券)	・ 負債性金融商品の場合 購入又は組成した信用減損資産(不良債権等)を除き、損失引当金の認識規定の対象資産(償却原価で測定する負債性金融商品を含む。)は、すべて12ヶ月予想信用損失(ECL: Expected Credit Losses)が引き当てられる(ステージ1)。 当初認識後に信用リスクの著しい増加がある場合には、引当額が12ヶ月ECLから全期間ECLに切り替わる(ステージ2)。 (利息収益の認識) 減損の客観的な証拠が生じるまでは、利息収益は、帳簿価額総額に実効金利(EIR)を適用して算定される。減損の客観的な証拠がある場合(ステージ3)には、帳簿価額純額(すなわち、減損引当額を控除した後の帳簿価額の総額)にEIRを適用して算定される。 ・ 資本性金融商品の場合 非デリバティブ資本性金融商品は、すべてFVPL又はFVOCI(リサイクルなし)で測定されるため、減損という手続自体がなくなっている(公正価値測定が用いられる。)。	時価のある有価証券について、時価が著しく下落したときは、回復する見込みがあると認められる場合を除き、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理する。 市場価格のない株式等について、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行い、評価差額は当期の損失として処理する。
(24) 貸出金及びその他の債権に対する減損引当金	以下の金融商品については、以下のとおり、簡便法の適用が強制又は会計方針の選択により認められる。なお、簡便法の適用とは、常に全期間ECLで測定することを意味する。 ・ 重要な財務要素を含まない営業債権又は契約資産...簡便法の適用が強制 ・ 重要な財務要素を含む営業債権又は契約資産、及びリース債権(1年超を含む。)であって、会計方針として全期間ECLでの測定が選択されたもの...会計方針の選択により、簡便法を適用	区分に応じ、債権の貸倒見積高を以下の通り算定する。 ・ 一般債権：過去の貸倒実績率等、合理的な基準により算定 ・ 貸倒懸念債権：債権の状況に応じ、次のいずれかの方法を継続適用する。 - 債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定する方法 - 将来キャッシュ・フローの現在価値と債権の帳簿価額との差額を貸倒見積高とする方法 ・ 破産更生債権等：債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額を貸倒見積高とする。
(25) 金融資産減損の戻入れ	負債性金融商品については、過年度に損失引当金が計上されたが、当初認識後に信用度が改善して信用リスクの著しい増大がない場合、戻し入れなければならない。	売買目的有価証券は、減損後引続き時価評価されるが、満期保有目的の債券及びその他有価証券について減損の戻し入れは行われない。

(26) 外貨建金融商品	外貨建の貨幣性資産及び負債に係る為替レートの変動による利得又は損失は、純損益に計上しなければならない。FVOCIに分類された外貨建資本性金融商品に係る為替変動はOCIで認識する。	外貨建その他有価証券について、原則として帳簿価額の変動のすべてが純資産の部に計上されるが、為替要因に基づく変動を区分し、純損益に計上することもできる。
(27) 金融負債の評価	純損益を通じて公正価値で評価される金融負債等を除き、実効金利法を用いた償却原価で測定しなければならない。 公正価値で測定される金融負債については、当該負債の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動の金額をその他の包括利益において認識し、計上しなければならない。 当該負債の公正価値の変動の残りの金額は、純損益に計上しなければならない。	債務額をもって貸借対照表価額とする。ただし、収入に基づく金額と債務額とが異なる場合には、償却原価法で測定しなければならない。
(28) 金融負債と資本の区分	MFRS第132号にて、金融負債と資本の区分に関する包括的な規定が設けられており、金融商品の契約の実質並びに金融負債及び資本の定義に基づき区分しなければならない。	金融負債と資本の区分に関する包括的な規定は存在しない。
(29) 組込デリバティブの会計処理	組込デリバティブは以下のすべての条件を満たしたとき、主契約との区分処理が必要となる。 ・ 組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが主契約のそれらと密接に関連していない。 ・ 組込デリバティブと同一条件の独立した金融商品ならばデリバティブの要件を充足する。 ・ デリバティブが組み込まれた複合(合成)金融商品が、公正価値で測定され公正価値の変動を純損益に認識するものではない。	次のすべての要件を満たした場合、区分処理が必要となる。 ・ 組込デリバティブのリスクが現物の金融資産又は金融負債に及ぶ可能性があること ・ 組込デリバティブと同一条件の独立した金融商品が、デリバティブの特徴を満たすこと ・ 時価の変動による評価差額が当期の損益に反映されないこと ただし、管理上組込デリバティブが区分され、一定要件を満たす場合、区分処理を行うことができる。
(30) ヘッジ会計の手法	次の3種類のヘッジ会計が認められている。 ・ 公正価値ヘッジ:ヘッジ対象に関連する特定のリスクに係る公正価値の変動及びヘッジ手段の公正価値の変動はともに純損益に計上する。 ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ:ヘッジ手段の公正価値の変動のうち、有効部分をその他の包括利益に計上する。 ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ:キャッシュ・フロー・ヘッジと同様の方法で会計処理される。	原則として、ヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、税効果を考慮のうえ、純資産の部において繰り延べる。ただし、時価ヘッジ(ヘッジ対象に係る相場変動等を損益に反映させるもの)も認められる。

(31) ヘッジ非有効部分の処理	ヘッジ手段に係る利得又は損失のうち非有効部分は、純損益として認識しなければならない。(キャッシュ・フロー・ヘッジの場合、公正価値の変動に対するヘッジ有効部分のみがその他の包括利益で認識される。)	ヘッジ全体が有効と判定され、ヘッジ会計の要件が満たされている場合には、ヘッジ手段に生じた損益のうち結果的に非有効となった部分についても繰延処理することができる。 非有効部分を特定し、合理的に区分できる場合には、当期の損益に計上することができる。
(32) 金利スワップの特例処理	該当する基準はなく、金利スワップに係る特例処理は認められない。	一定の条件を満たす場合には、金利スワップを時価評価せず、金利スワップに係る利息を直接、金融資産・負債に係る利息に加減して処理することが認められる。
(33) 未払有給休暇	累積的性格を有するものについて、計上することが求められる。	該当する基準はない。
(34) リース	MFRS第16号「リース」に基づき、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の使用権モデルに基づいて、原則として、すべてのリースについて使用権資産とリース負債を財政状態計算書で認識(オンバランス)し、以降、使用権資産は減価償却され、リース負債に係る支払利息は実効金利法を用いて損益計算書に認識される。また、使用権資産については、MFRS第136号「資産の減損」を適用して、使用権資産が減損しているかどうかを判定する。例外として、一定の短期リース及び少額資産のリースについては、免除規定(オフバランス)を選択できる。	日本では、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額(リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース)又は短期(1年以内)のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。 また、オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。
(35) 確定給付制度 - 確定給付制度債務の期間配分方法	原則として予測単位積増方式(発生給付評価方式)を用いる。 ただし、後期の年度の勤務が初期の年度より著しく高い水準の給付を生じさせる場合、定額法を用いる。	次のいずれかの方法の選択適用 ・ 期間定額基準 ・ 給付算定式基準(当該制度の給付算定式に従って各勤務期間に帰属させた給付見込額を、各期の発生額とする。)

(36) 確定給付制度 - 年金資産	積立超過である場合には、確定給付資産が以下の金額の合計を超えないように制限される。 ・ 未認識数理計算上の差損の純額及び過去勤務費用 ・ 制度からの返還又は制度への将来の掛金減少という形で利用可能な経済的便益の現在価値(資産上限額)	年金資産の額が退職給付債務を超える場合、当該超過額を資産として計上する(ただし、個別財務諸表に関しては「退職給付に関する会計基準」第39項(1)において別段の定めが設けられている。)。
(37) 確定給付制度 - 数理計算上の差異	企業は、確定給付負債(資産)の純額を財政状態計算書に認識しなければならない。 数理計算上の差異を含む確定給付負債(資産)の純額の再測定はその他の包括利益で認識される。 (その他の包括利益で認識された確定給付負債(資産)の純額の再測定は、事後的に純損益に振り替えてはならない。)	数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理する。 また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益として純資産の部に計上する。 その他の包括利益累計額に計上されている未認識数理計算上の差異のうち、当期に損益に再分類された部分については、その他の包括利益の調整(組替調整)を行う。 未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異の費用処理には平均残存勤務期間以内の一定の年数のほか一定割合を用いることができる。また、数理計算上の差異の償却は翌期から行うことができる。 過去勤務費用と数理計算上の差異の償却年数はそれぞれ別個に設定することができる。
(38) 保険契約	MFRS第17号は、以下のものに適用しなければならない。 (a) 当該企業が発行する保険契約(再保険契約を含む) (b) 当該企業が保有する再保険契約 (c) 当該企業が発行する裁量権付有配当投資契約(企業が保険契約も発行する場合) MFRS第17号における「保険契約」とは、「一方の当事者(発行者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重大な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。	日本においては、MFRS第17号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。

(39) 保険契約における保険契約の測定	MFRS第17号では、一般測定モデル、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入している。 (a) 一般測定モデル MFRS第17号では、保険契約の評価に関する一般的なアプローチを定めており、当初認識時に、保険契約グループを下記の合計額で測定しなければならない。 () 履行キャッシュ・フロー（以下で構成される） ・将来キャッシュ・フローの見積り ・貨幣の時間価値及び将来キャッシュ・フローに係る金融リスク（当該金融リスクが将来キャッシュ・フローの見積りに反映されていない範囲で）を反映するための調整 ・非金融リスクに係るリスク調整 () 契約上のサービス・マージン (b) 保険料配分アプローチ グループの契約開始時において、下記のいずれかに該当する場合に、かつ、その場合にのみ、保険契約グループの測定を単純化することができる。 () 単純化による当該グループの残存カバーに係る負債の測定が、一般アプローチにおける要求事項を適用した場合の測定と重要性がある差異がないと企業が合理的に予想している場合、又は () 当該グループの中の各契約のカバー期間が1年以内である場合 (c) 変動手数料アプローチ 一般測定モデルに一定の調整を加えたアプローチであり、直接連動有配当保険契約に関して適用される。	日本においては、このようなアプローチでの概念を扱った基準はなく、保険契約は保険業法に基づき、保険料及び責任準備金の算出方法書に記載された方法に従って計算し、積み立てられている。
-----------------------------	--	---

第7【外国為替相場の推移】

財務書類の表示に用いられた通貨（マレーシア・リンギット）と本邦通貨との間の為替相場が国内において時事に関する事項を掲載する2以上の日刊新聞にて当該半期中において掲載されているため、本項の記載は省略する。

第8【提出会社の参考情報】

2026年1月1日以降、本半期報告書提出日までの間に、当行は下記の書類を関東財務局長に提出した。

- (1) 発行登録書(募集)及び添付書類(2026年6月8日提出)
- (2) 発行登録書(売出)及び添付書類(2026年6月8日提出)
- (3) 有価証券報告書及び添付書類(2026年6月26日提出)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。